

仙台市博物館年報

第 46 号

平成 30 年度

目 次

ごあいさつ

1. 展示	2
常設展示／国指定文化財の公開／企画展・特別展	
2. 資料の収集保管	48
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／指定文化財一覧／収蔵資料一覧	
3. 教育・普及	53
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携(SMMA)／ 生涯学習施設との連携(歴ネット)／広報／刊行物・グッズ等	
4. 調査・研究	69
5. 仙台市史活用推進事業	73
6. ボランティア	76
7. 友の会	80
8. 組織・予算・運営	81
博物館組織図／事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会	
9. 利用状況	84
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況・レファレンス対応表等／ 【参考】館外実施分含む博物館利用状況／視察対応状況	
10. 条例・規則・要綱等	87
博物館条例／博物館条例施行規則／仙台市博物館資料取扱要綱／ キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
仙台市博物館のあゆみ	96

ごあいさつ

平成30年度の展覧会は、まず企画展「宮城県民芸協会設立50周年記念 日本民藝館所蔵品による 手仕事の日本―柳宗悦のまなざし―」として、日本民藝館に伝わった味わいのある民芸品に焦点をあてた展覧会を宮城県民芸協会と共同で開催いたしました。夏にはペルー共和国およびボリビア多民族国から貴重な資料を多数借用して、特別展「古代アンデス文明展」を開催いたしました。会期中、南米の伝統楽器による演奏会や八木山動物公園とのコラボレーションイベントなども行われ、広い年齢層に楽しんでいただけたのではないかと思います。また平成30年は明治150年および戊辰戦争150年にあたることから、当館では特別展「戊辰戦争150年」を開催いたしました。この展覧会は福島県立博物館と新潟県立歴史博物館との共同開催による巡回展で、3館それぞれが位置する地域の特徴が展示に反映されたものとなりました。当館では仙台藩が戊辰戦争をめぐるどのような立場であったか、また戦後はどうであったかなどを、多くの歴史資料により検証を試みる展覧会となりました。戊辰戦争を東北地方の視点からとらえ直すという点でも注目され、多くの方々に観覧いただきました。

教育普及事業につきましては、学習プログラムや出前授業を多数実施するとともに、各教育研究会への協力、仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）との連携や歴ネット事業など、多方面にわたる学びの機会の充実に努めました。大学向けのキャンパスメンバーズ制度では授業での活用など利用数も年々増えているところです。

仙台市史活用推進事業としては、市史講座や図書館連携講座、毎回好評のくずし字講座などを開催しています。市史関連の出版物としては、定期刊行してきた「市史せんだい」と、「『仙台市史』活用資料集 太白区の歴史探し―東部―」および「『仙台市史』活用資料集 青葉区の歴史探し―西部―」を引き続き発行いたしました。

今後ますますの活動の充実を目指すとともに、皆様の一層のご指導とご支援のほどをお願い申し上げます。

仙台市博物館

館長 高橋 泰

1. 展示

常設展示

(1) 展示概要と使用展示室

常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成される。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示している。既存のテーマ展示室Ⅰ・Ⅱが特別展会場となる場合には、その代替施設として仙台藩の武具や国宝「慶長遣欧使節関係資料」が展示されたが、それ以外の期間には、大画面をもち、他の展示室では展示の制約を受ける屏風絵の展示を行った。

2室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示、「慶長遣欧使節」と題されたⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」を展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

2つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 平成30年度の常設展示

現在、9万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、春夏秋冬と年4回の展示替えを実施した。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。

本年度の展示で特筆するべきものとして、3つのコーナーで特別展「戊辰戦争150年」と連動した展示を行ったことが挙げられる。これは特別展には展示しきれない資料を展示することによって、特別展を補完し、戊辰戦争へのより深い理解を促すことを企図したものであった。

また、特集展示室において5月～7月に実施した「おもしろいもの、見つけた」は、「小さいもの」「長いもの」をキーワードに資料を展示したり、おぼけや動物に関わる資料を展示したりして、普段とは異なる視点で収蔵資料を取り上げ、子どもたちにも楽しめる内容となった。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示資料目録(抄録)」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、当館では以下のような取り組みを行っている。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英・中・韓3カ国語パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

(4) 今後の課題等

「常設展」という呼称は、展示内容が変わらない、という印象を与えがちである。各コーナーのテーマや資料が入れ替わりながら、全体としては常に仙台の歴史と文化を概観できる、という当館の常設展の特色を伝えるために、今年度からツイッターでこまめに情報発信をするようにしてきたが、次年度も引き続き広報につとめていきたい。

表1 平成30年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	旬の常設展2018春「戊辰戦争150年 特集—幕末の仙台藩の動向—」ほか (3/31-6/10)	旬の常設展2018夏「仙台藩四代藩主 伊達綱村—没後300年—」ほか (6/12-9/9)	旬の常設展2018秋「戊辰戦争150年 特集—戊辰戦争に関わった仙台 ゆかりの人々—」ほか (9/11-12/2)	旬の常設展2018冬「仙台藩五代藩主・ 伊達吉村」ほか (12/4-2019.3/10)
総合 展示室	1 むかしの 仙台	1 仙台のあけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか
		2 縄文人のくらし	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町鍛冶沢遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町下別当遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町下別当遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町鍛冶沢遺跡出土土器)
		3 稲作の始まりと有力者の出現	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか
		4 中央政権の進出	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか
		5 陸奥国分寺	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型
		6 武士の右頭	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料
		7 神仏への祈り	陸奥国分寺の仏像1	信仰の中の金工資料1	信仰の中の金工資料2	陸奥国分寺の仏像2
	2 伊達政宗、仙台へ	伊達氏、仙台への道	伊達氏、戦国の世へ	伊達氏、戦国の世へ	奥羽の戦国大名	
	9 仙台藩主、伊達政宗	3/31-5/13 複製政宗具足 5/15-5/27 重文政宗具足	5/29-7/29 複製政宗具足	7/31-8/26 重文政宗具足	8/28-12/2 複製政宗具足・政宗文書	12/4-3/10 複製政宗具足
	3 城	10 仙台城のすがた	遺品に見る仙台城図	5/29-9/2 伊達政宗と城	9/4-11/25 伊達政宗と城	11/27-3/3 城を建てる、城をなす
		11 藩主と大人たち	歴代仙台藩主 伊達忠宗	仙台藩四代藩主 伊達綱村—没後300年	歴代仙台藩主 伊達綱宗	歴代仙台藩主 伊達吉村
		12 武家のくらし	武家の服飾	女乗物	武家の服飾	12/4-2/3 食のうつわ
	4 藩	13 仙台藩のようす	仙台藩の郡と村	街道を歩く	仙台藩の狩り	仙台藩の災害
		14 仙台藩の家出たち	仙台藩の軍と行列	寛文事件	仙台藩の要書	歴史史料にみる仙台藩の武器武具
	5 町	15 城下町仙台	仙台北城下の寺社	仙台北城下絵図と村絵図	幕末の仙台北城下の風景	仙台北城下の町並み
		16 町のくらし	3/31-5/27春を楽しむ	5/29-9/2 仙台藩の七夕	9/4-11/25 東照宮祭礼	11/27-3/3 城下の職人・商人「御大工」
		17 教育と文化	仙台藩の学問と思想家(養賢堂/林子平)	仙台藩の学問と思想家(天文学/林子平)	仙台藩の文化人と思想家(乙二・日人他/林子平)	仙台藩の学問と思想家(医学教育/林子平)
		18 新たな時代へ	戊辰戦争150年特集 幕末の仙台藩の動向	戊辰戦争150年特集 仙台藩政の揺らぎ	-12/16 戊辰戦争150年特集 関わった仙台ゆかりの人々	戊辰戦争にそれぞれの戦後
		19 近代都市へのあゆみ	戊辰戦争と明治維新	戊辰戦争150年特集 幕末の仙台藩の動向	戊辰戦争150年特集 仙台藩政の揺らぎ	-12/16 戊辰戦争150年特集 関わった仙台ゆかりの人々
	20 近代都市仙台	仙台の産業と経済	戊辰戦争後の仙台と「東北」	-12/16 戊辰戦争150年特集 関わった仙台ゆかりの人々	戊辰戦争に	12/18- 仙台の自由民権運動
特集 展示室	東側・中央ケース	3/31-5/27 屏風絵	5/29-7/8 おもしろいもの、見つけた	7/10-12/16 国宝「慶長遣欧使節関係資料」	12/18-1/20 平家物語 描かれた松島と塩	1/22-3/3 3/5-24 屏風絵鑑
	西側ケース			7/10-12/16 仙台藩の武器・武具(7/10-9/9 伊達綱村没後300年特別展示)		
コレク ション I	北側ケース(陶磁器)	3/31-6/17 埴城と切込埴	6/19-9/2 盆石	9/4-11/25 埋木細工	11/27-3/3 陶磁器(伊万甲焼)	
	中央ケース	3/31-6/17 埴城と切込埴	6/19-9/2 盆石	9/4-11/25 江戸時代の蒔絵・風景と物語	11/27-3/3 年中行事と東北の古人形	
	奥室	3/31-6/17 三人形と埴人形	6/19-9/2 花巻人形と埴人形	9/4-11/25 芝居と東北の古人形	11/27-3/3 蕎麦猪口	
	L	3/31-6/17 埴城と切込埴	6/19-9/2 朝鮮の陶磁器	9/4-11/25 漆手板	11/27-3/3 年中行事と東北の古人形	
	S(茶道具)	3/31-6/17 茶道具	6/19-9/2 夏の茶道具	9/4-11/25 茶道具	11/27-3/3 冬の茶道具	
	浮世絵	3/31-6/10 歌川国芳特集	6/12-9/9 お化け・妖怪特集	9/11-12/16 月岡芳年特集	12/18-3/10 豊原国周特集	
	企画 展示室		4/20-6/3 企画展「手仕事の日本」			
テーマ I	仙台藩の武器武具 前室	3/31-5/27 仙台藩の武器・武具	5/29-7/8 仙台藩の武器・武具	閉室 10/1-10/25	12/18-3/24 仙台藩の武器武具	
	仙台藩の武器武具 奥室	3/31-5/27 仙台藩の武器・武具	5/29-7/8 仙台藩の武器・武具・伊達綱村没後300年特別展示	閉室 10/1-10/25	12/18-3/24 仙台藩の武器武具	
テーマ II	慶長遣欧使節 前室	3/31-5/27 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など	5/29-7/8 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など	閉室 10/1-10/25	12/18-3/3 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など	
	慶長遣欧使節 奥室					
コレク ション II		3/31-7/8 民芸関連展示 所蔵品による仙台・宮城の伝統工芸		閉室 10/1-10/25	12/18-3/3 遠藤日人特集	
プレイ ミュージ ヌム		3/31-4/22 挑戦しよう! 投扇舞!	4/20-6/3 ミニ人形に絵付けしよう 4/21-6/3 企画展関連イベント「ミニ屏風をつくろう」	7/3-8/19短冊に願いを 7/27-9/30 プラ板でアンデスキャラ!	10/13 変身タイム 10/26-12/9 袖章・小旗をつくろう	1/5-1/27 とべとべ! するめてんばた

常設展示展示資料目録（抄録）

1. 表記のうち重文は重要文化財
2. コレクション名については一部略記した。
3. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料=館蔵 伊達家奇贈文化財=伊文
 斎藤報恩会寄贈資料=報恩会、
 仙台市教育委員会=仙台市教委、コレクション=C、
 世紀=C

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2018.3/31~2019.3/10

1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 4点 仙台市教委
8. 両面加工の石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
9. へら形石器 野川遺跡 縄文草創期 2点 仙台市教委
10. 土器の破片 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人の暮らし

2018.3/31~2019.3/10

1. 縄文土器・深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器・浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器・注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
4. 縄文土器・革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 縄文土器 高柳遺跡 縄文中期中葉 6点 仙台市教委
6. 狩りの道具・石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
7. 狩りの道具・石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 2点 仙台市教委

8. 狩りの道具・石鎌 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
9. 漁の道具・鹿角製鈎 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
10. 漁の道具・土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
11. 漁の道具・軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
12. 打製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
13. 磨製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
14. 凹石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
15. 石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
16. 土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 13点 仙台市教委
17. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 4点 仙台市教委
18. 蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶 縄文晩期 1点 片倉家資料



18. 鍛冶沢遺跡出土土偶

19. 人面付き双口土器 宮城県蔵王町下別当遺跡 縄文晩期 1点 片倉家資料
- ※No.17は9/26~2019.3/10まで3点のみ展示。No.18は2018.3/31~6/10、12/4~2019.3/10展示、No.19は6/12~12/2展示

稲作のはじまりと有力者の出現

2018.3/31~2019.3/10

1. 弥生土器・高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
2. 弥生土器・甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
3. 弥生土器・壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
4. 竪杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
5. 竪杵未製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
6. 石包丁 高田B遺跡 弥生 7点 仙台市教委
7. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
9. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
10. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点 仙台市教委
11. 手づくね土器 遠見塚古墳 4C末 5点 仙台市教委
12. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点 仙台市教委

13. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点 仙台市教委
 14. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡(26次) 5C後半 1点 仙台市教委
 15. 円筒埴輪 大野田1号墳 6C 1点 仙台市教委

中央政権の進出

2018.3/31~2019.3/10

1. 材木列(外堀)のクリ材 郡山遺跡 7C後半~8C前半 2点 仙台市教委
 2. 土師器・坏(在地) 郡山遺跡 8C初頭 1点 仙台市教委
 3. 土師器・坏(畿内産) 郡山遺跡 7C末~8C前半 1点 仙台市教委
 4. 土師器・坏(関東系) 郡山遺跡 7C中葉 1点 仙台市教委
 5. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 6. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 7. 土師器・坏(関東系) 長町駅東遺跡 7~8C前半 2点 仙台市教委
 8. 土師器・坏(在地) 長町駅東遺跡 7~8C前半 2点 仙台市教委
 9. 須恵器・長頸瓶 茂ヶ崎横穴墓群1号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 10. 須恵器・大甕 茂ヶ崎横穴墓群3号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 11. 須恵器・平瓶 茂ヶ崎横穴墓群20号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 12. 勾玉(ガラス) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 13. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
 14. ガラス小玉(大) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 4点 仙台市教委
 15. ガラス小玉(中) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
 16. ガラス小玉(小) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 40点 仙台市教委
 17. 切子玉(水晶) 茂ヶ崎横穴墓群8号墓 7C後半~8C前半 2点 仙台市教委
 18. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
 19. 切子玉(琥珀) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 20. 丸玉(蛇紋岩) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 21. 白玉 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 4点 仙台市教委

22. 陸奥国分寺創建瓦(重弁蓮華文軒丸瓦) 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
 23. 陸奥国分寺創建瓦(偏行唐草文軒平瓦) 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
 24. 陸奥国分寺修復瓦(宝相華文軒丸瓦) 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
 25. 陸奥国分寺修復瓦(連珠文軒平瓦) 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
 26. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 仙台市教委
 27. 獣面文鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 仙台市教委
 28. 刻印文字瓦「丸」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 29. 刻印文字瓦「占」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 30. 刻印文字瓦「伊」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 31. 刻印文字瓦「物」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 32. 七重塔水煙片 陸奥国分寺跡 奈良~平安 1点 東北大学文学部
 33. 七重塔九輪 陸奥国分寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委

武士の台頭

2018.3/31~2019.3/10

1. 大甕(常滑) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 2. 小壺(在地) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 3. 片口鉢(在地) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 4. 合子(古瀬戸) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 5. 仏花瓶(古瀬戸) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 6. 天目茶碗(瀬戸美濃) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 7. 青磁・碗(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 8. 青磁・皿(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 9. 青白磁・合子(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 10. 青白磁・梅瓶(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 11. 白磁・四耳壺(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 12. 白磁・壺(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 13. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 11点 仙台市教委
 14. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 15点 仙台市教委
 15. 短刀(拵付) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 16. 短刀 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 17. 鏃 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 18. 馬具(轡) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 19. 板碑 洞ノ口遺跡 延慶3年 1点 仙台市教委
 20. 板碑 洞ノ口遺跡 応長2年 1点 仙台市教委
 21. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 22. 呪符木簡 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 23. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 24. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委

25. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 26. 永樂通寶 洞ノ口遺跡 中世 7点 仙台市教委
 27. 錢種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 28. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 2点 仙台市教委

神仏への祈り

「陸奥国分寺の仏像」 2018.3/31~6/10

1. 木造不動明王立像 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
 2. 木造毘沙門天立像 鎌倉 1軀 陸奥国分寺

「熊野那智神社の懸仏 信仰の中の金工資料」 6/12~9/9

1. 重要文化財 懸仏 鎌倉 10面 熊野那智神社

「羽黒山・出羽神社の銅鏡（羽黒鏡）信仰の中の金工資料」

9/11~12/2

1. 重要文化財 銅鏡 羽黒山御手洗池出土 平安~鎌倉 10面 出羽三山神社

「陸奥国分寺の仏像」 12/4~2019.3.10

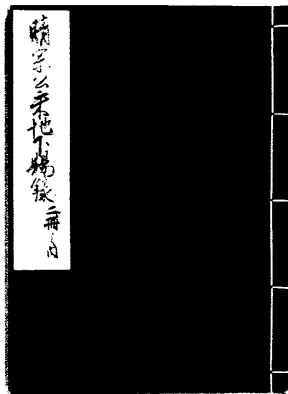
1. 木造十二神将立像 子神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
 2. 木造十二神将立像 辰神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
 3. 木造十二神将立像 未神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
 4. 木造十二神将立像 亥神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺

2 伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「伊達氏、仙台への道」 2018.3/31~6/10

1. 伊達植宗画像（伊達家歴代画真） 長谷川養辰 享保9年 1面 伊文
 2. 塵芥集（佐藤彦兵衛献上本） 天文5年4月14日 1冊 伊文
 4. 伊達晴宗画像（伊達家歴代画真） 長谷川養辰 享保9年 1面 伊文
 5. 晴宗公采地下賜録 天文22年 1冊 伊文



5. 晴宗公采地下賜録

6. 伊達輝宗画像（伊達家歴代画真） 長谷川養辰 享保9年 1面 伊文
 7. 織田信長書状 伊達殿（輝宗）宛（天正元年） 12月28日 1通 伊文
 8. 伊達政宗書状（白筆） 伊達政宗 宛所欠（天正18年） 6月14日 1幅 伊文
 9. 貞山公治家記録巻20下（慶長5年12月24日条） 元禄16年 1冊 伊文
 10. 伊達政宗甲冑像 狩野探幽 江戸初期 1幅 伊文
 11. 伊達政宗甲冑像（複製）（原本は狩野探幽）（原本は江戸初期） 1幅 館蔵

「伊達氏の家臣たち」 6/12~9/9

1. 下郡山長綱等連署川銭免除状 天文24年10月12日 1通 伊文
 2. 桑島仲綱馬術免許状 平山玄蕃頭宛 永禄10年8月吉日 1幅 館蔵
 3. 留守政景書下 余日伊勢守・同三郎太郎宛 永禄13年6月3日 1通 個人蔵
 4. 雪斎（留守政景）書状 宛所欠（天正15年）5月11日 1通 館蔵
 5. 伊達政宗書状 五郎殿（伊達成実）宛（天正17年） 5月14日 1通 伊文
 6. 伊達成実画像 江戸（17~19C） 1幅 館蔵
 7. 片倉景綱書状 平田惣右衛門宛（天正17年） 6月9日 1幅 個人蔵
 8. 片倉景綱肖像 猪野謙山筆 明治（19~20C） 1幅 片倉家資料

「伊達氏、戦国の世へ」 9/11~12/2

1. 伊達朝宗画像 江戸 1幅 伊文
 2. 伊達宗遠一揆契状 小沢伊賀守宛 永和2年8月28日 1通 伊文
 3. 伊達政宗一揆契状 余目三河守（持家）宛 永和3年10月10日 1通 伊文
 4. 伊達政宗画像（伊達家歴代画真のうち） 長谷川養辰筆 享保9年 1面5伊文
 5. 伊達持宗施行状 国分筑後（基信）宛 文安2年10月17日 1通 国分家資料
 6. 伊達成宗上洛日記写 文明15年 1冊 伊文
 7. 伊達成宗画像（伊達家歴代画真のうち） 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 8. 「当系系図」（天正系図） 江戸前期頃 1巻 伊文

「奥羽の戦国大名」 12/4~2019.3/10

1. 重要文化財 塵芥集（村田本） 天文5年4月14日 1冊 伊文
 2. 塵芥集（伊達吉村旧蔵本） 天文5年4月14日 1冊 小林宏氏寄贈

3. 留守景宗判物 遠藤弥左衛門尉宛 天文14年12月16日
1幅 佐藤勝五郎氏寄贈
4. 蘆名止々斎(盛氏)起請文 伊達殿(輝宗)宛
永禄9年正月10日 1通 伊文
5. 松井友閑書状 伊達左京大夫(輝宗)宛 (天正3年)
10月25日 1通 伊文
6. 織田信長書状 遠藤内匠助(基信)宛 (天正3年)
10月25日 1通 報恩会
7. 祖先行軍之図 江戸 1幅 館蔵
8. 伊達政宗甲冑像 ※複製(原本は狩野探幽)
(原本は江戸初期) 1幅 館蔵
9. 伊達政宗朱印書出 長江播磨守(勝景)宛
(天正16年)4月15日 1通 伊文
10. 徳川家康書状 伊達左京大夫(政宗)宛 (天正19年)
正月12日 1通 伊文
11. 徳川家康書状 片倉小十郎(景綱)宛 (天正19年)
正月12日 1幅 片倉家資料

仙台藩主、伊達政宗

2018.3/31~5/13

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用 原資料は桃山
1領 館蔵

5/15~5/27

1. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山
1領 伊文

5/29~7/29

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用 原資料は桃山
1領 館蔵

7/31~8/26

1. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山
1領 伊文

8/28~12/2

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用 原資料は桃山
1領 館蔵
2. 伊達政宗伝馬黒印状 慶長15年正月15日 1通 片倉家資料
3. 伊達政宗書状 金雲州(金森出雲守重頼)宛
(寛永3年)8月16日 1幅 伊文

12/4~2019.3/10

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用 原資料は桃山
1領 館蔵

3 城

仙台城のすがた

「遺品に見る仙台城」 2018.3/30~5/27

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵
2. 金箔軒丸瓦 江戸前期 1点 仙台市教委
3. 菊唐草文飾金具 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点 仙台市教委
4. 菊花菱文飾金具 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点 仙台市教委
5. 青花金彩鳳凰合子片 明末~清初 1件 仙台市教委
6. 仙台城絵図 江戸中期 1幅 館蔵
7. 竹岡屏風 江戸前期 2曲1隻 館蔵
8. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
10. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
11. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
12. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚 伊達貞宗氏寄贈
13. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
14. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
15. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
16. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
17. 金製ブローチ 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈

「伊達政宗と城」 5/29~9/2

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 江戸前期
1幅 伊文
2. 岩出山城絵図 江戸前期 1鋪 伊文
3. 奥州仙台城絵図(複製) 原本は正保2年 1幅 館蔵(原本は報恩会)
4. 金箔軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
5. 菊唐草文飾金具 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点 仙台市教委
6. 菊花菱文飾金具 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点 仙台市教委
7. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土 明末~清初
1件 仙台市教委
8. 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 江戸時代 1巻 千田家資料
9. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
10. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
11. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
12. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈

13. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
14. えんびつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
15. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈

「伊達政宗と城」 9/4~11/25

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
2. 伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
3. 重要美術品 萩に鹿図屏風 寛永5年 4曲1双 伊文
4. 重要美術品 菊花図屏風 伊達政宗書 寛永5年 2曲1隻 伊文
5. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振
伊達貞宗氏寄贈
6. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
7. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
8. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
9. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
10. えんびつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
11. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
12. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
13. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
※No.1は9/4~10/24展示、No.2は10/25~12/2展示、No.3
は9/4~10/14展示、No.4は10/16~11/25展示

「城を建てる、城をなおす」 11/27~2019.3/3

1. 伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
2. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 1幅 伊文
3. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
4. 国分千代御城之事 江戸 1通 千田文彦氏蔵
5. 仙台城普請何絵図 元文4年7月 1幅 報恩会
6. 花菱文軒平瓦(滴水瓦) 若林城跡出土 17C前半 1点
仙台市教委
7. 御修復帳(若林御菜園部分) 江戸中期 1冊
東北大学大学院工学研究科蔵
8. 伊達政宗書状 馬場出雲守親成宛(寛永7年カ)13日
1幅 伊澤家C
9. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
10. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
11. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
12. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
13. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
14. 鉛筆(複製) 2点 館蔵

15. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
16. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
17. 硯 瑞鳳殿出土資料 1点 伊達貞宗氏寄贈
※No.1は11/27~12/2展示、No.2は12/4~2019.3/3展示

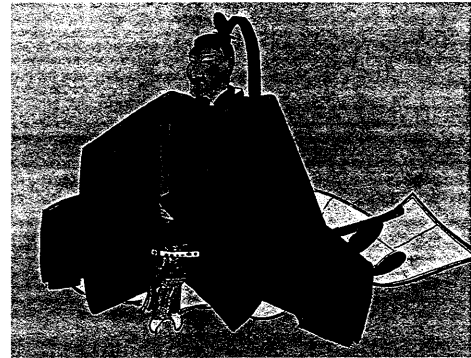
藩主と夫人たち

「歴代仙台藩主 伊達忠宗」 2018.3/31~6/10

1. 伊達忠宗画像(伊達家歴代真画のうち) 長谷川養辰筆
享保9年 1面 伊文
2. 伊達忠宗像 鵬雲東博賛 1幅 亀川C
3. 伊達忠宗書状 巳之助(伊達綱宗)宛(年未詳)
8月5日 1幅 伊文
4. 伊達忠宗和歌戯筆 里とをき 伊達忠宗筆
江戸前期(17C) 1幅 伊文
5. 義山公治家記録 卷之八 慶安5年2月24日条
元禄16年 1冊 伊文
6. 伊達政宗書状 伊達忠宗宛 寛永2年10月25日 1通 伊文
7. 伊達忠宗書出写 日付衆宛 寛永19年4月13日 1通 伊文

「仙台藩四代藩主 伊達綱村」 6/12~9/9

1. 伊達綱村画像 1幅 伊文



1. 伊達綱村画像

2. 伊達綱村自画像「富士図」 伊達綱村筆(江戸中期)
1幅 伊文
3. 伊達綱村書「茶第一義」 伊達綱村筆(江戸中期)
1幅 伊文
4. 稲葉美濃守正則意見状 稲葉美濃守正則
(延宝5)年6月19日 1通 伊文
5. 伊達出自正統世次考 元禄16年 35冊のうち3冊 伊文
6. 伊達治家記録 元禄16年編さん 696冊のうち1冊 伊文
7. 如幻三昧集 侍臣等編(伊達綱村) 江戸中期
12冊の内1冊 伊文
8. 東門集 江戸中期 6冊 伊文
9. 稲葉美濃守正則書状 稲葉正則(延宝3年)
12月23日 1通 伊文

「歴代藩主・伊達綱宗」 9/11~12/2

1. 伊達家歴代画真 19世綱宗 享保9年 1点 伊文
2. 牡丹図・菊図 伊達綱宗 2幅1対 伊澤家C
3. 伊達綱宗書状 伊達綱村宛 1幅 伊文
4. 大条宗頼他十三名連署状案 立花飛騨守(忠茂)・伊達兵部太輔(宗勝)宛 万治3年7月9日 1通 伊文
5. 伊達綱宗書状 伊達綱村宛 (寛文9年) 4月26日 1通 伊文
6. 能組書覚 (伊達綱宗) (年未詳) 9月7日 1通 伊文
7. 能番組 (伊達綱宗) 1枚 伊文

「仙台藩五代藩主・伊達吉村」 12/4~2019.3/10

1. 伊達吉村自画像 伊達吉村筆 1幅 伊文
 2. 周茂叔愛蓮図 伊達吉村筆 1幅 伊文
 3. 石山寺の紫式部図 伊達吉村筆 1幅 伊澤家C
 4. 伊達吉村挨拶書控 伊達吉村 1通 伊文
 5. 伊達吉村覚書(百姓条目) 伊達吉村 享保4年2月 1通 伊文
 6. 石巻鑄銭場図巻 写 (原本享保13年1月5日) 1点 三原良吉C
 7. 隣松集(春夏・秋冬) 2冊 伊文
- ※No.2は12/4~2019.2/3、No.3は2/5~3/10展示

武家のくらし

「武家の服飾」 2018.3/31~6/10

1. 石帯 江戸 2条 伊文
 2. 紺霞地草花文様緋平緒 江戸後期 1組 伊文
 3. 金箔押風折烏帽子 江戸 1頭 伊文
 4. 緋羅紗地波文様火事羽織 江戸後期 1組
ナンシー・チェコ大山氏寄贈
 5. 納戸緋地桜貝桶文様被衣 江戸後期 1領 館蔵
 6. 黒呉紗地竹に雀紋火事装束 伝伊達周宗所用 江戸後期 1組 館蔵
 7. 白麻地松竹梅車に唐団扇文様帷子 江戸後期 1領 個人蔵
- ※No.2は5/14に展示替、No.4~5は3/31~5/13展示、No.6~7は5/15~6/11展示

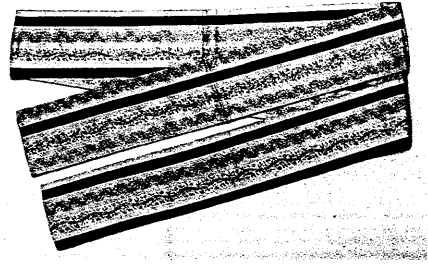
「女乗物」 6/12~9/9

1. 葵紋菊蒔絵耳籠 六代藩主伊達宗村夫人利根姫所用 江戸中期 1具 伊文
2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物 十代藩主伊達斉宗夫人踏姫所用 江戸中期 1挺 伊文

「武家の服飾」 9/11~12/2

1. 緑絹地九曜紋に唐草文様袴 伝三沢初子所用 江戸前期 1腰 伊文
2. 黒絹地白葵紋頭巾 江戸後期 1頭 館蔵
3. 白綾地竜胆立涌文様水干・長袴 江戸中期 1領・1腰 伊文

4. 重要文化財 白縮子地雪輪に春草文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
5. 重要文化財 段風通地寿字木賊等文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
6. 重要文化財 薄浅葱縮子地桔梗文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
7. 重要文化財 縞モール地花鳥文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文



7. 縞モール地花鳥文様帯

8. 重要文化財 浅葱縮子地梅に額文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
 9. 重要文化財 白縮子地桔梗文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
 10. 末広 西王母図・子の日図 江戸後期 2握 伊文
 11. 紅蜀江文錦錯直垂・袴 江戸後期 1領・1腰 館蔵
- ※No.1~3は9/11~10/29展示、No.4~6は10/30~11/18展示、No.7~9は11/20~12/2展示、No.10~11は10/30~12/2展示

「食のうつわ」 12/4~2019.2/3

1. 竹に雀・折敷に三文字紋稲穂に雀図指樽 江戸中期 1口 館蔵
 2. 青磁鮑形皿 伊万里(有田) 江戸中期 5枚 伊文
 3. 染付唐草文輪花皿 伊万里(有田) 江戸中期 4枚 伊文
 4. 若松竹橋文懸盤碗類 中西喜太郎作 安政4年 1式 館蔵
- 4 藩

仙台藩のようす

「仙台藩の郡と村」 2018.3/31~6/10

1. 仙台藩領村分絵図(元禄15年頃カ) 1幅 館蔵
2. 名取郡北方山田邑絵図 絵図師彙蔵 文政4年 1鋪 館蔵
3. 栗原郡絵図 1鋪 伊文
4. 仙台領二十一郡切絵図 江戸後期(19C) 20枚のうち 報恩会
5. 御分領中貫高記 小寄元治写 嘉永5年写 1冊 報恩会

「街道を歩く」 6/12~9/9

1. 諸国順覧懐宝道中図鑑 嘉永6年 1帖 尚文館C
2. 諸国道中金の草鞋 仙台 文化13年 館蔵

3. 塩竈詣 燕石斎薄墨著 文政8年 1冊 尚文館C
4. 金華山詣 燕石斎薄墨著 文政8年 1冊 尚文館C
5. 松島画紀行・松島日記(写本) 原本は谷文鳥筆
江戸後期 1冊 館蔵
6. 奥州松島塩竈図 仙台国分町本屋次郎兵衛刊
宝永4年2月 1点 館蔵
7. 仙台鎮地名所和歌 正徳2年編 山形みつ氏寄贈
8. 仙台道中記 江戸中後期(18~19C) 1冊 館蔵
9. 多賀城碑拓本 1幅 武田公寛氏寄贈
10. 金華山真景図菅井梅閣筆 江戸後期 1幅 館蔵
11. 松島・塩竈図 菊田栄羽筆 江戸中期 双幅 館蔵

「仙台藩の狩り」 9/11~12/2

1. 伊達政宗書状 菅野勝三郎宛 江戸前期(17C) 1幅
菅野家資料
2. 伊達政宗鷹場等覚書 伊達忠宗宛(寛永2年) 5月
1巻 伊文
3. 鷲鳥図 狩野古信筆 江戸中期 1幅 伊文
4. 鴨猟之図 伊達吉村筆 江戸中期 1幅 館蔵
5. 鷹狩図 伊達吉村筆 江戸中期 1巻 伊文
6. 安政四年御野初行列図巻 安政4年 2巻のうち1巻 伊文
7. 獲方手控 江戸後期 1冊 館蔵

「仙台藩の災害」 12/4~2019.3/10

1. 仙台藩領内洪水被害口上覚書写 寛永15年4月21日
1通 伊文
2. 備荒草木図 建部清庵著 天保4年刊 1冊 館蔵
3. 民間備荒録 建部清庵著 明和8年 1冊 個人蔵
4. 享和壬戌洪水記(写本) 原本鈴木三伯筆
原本は享和2年 1帖 館蔵
5. 安政二年八月三日地震被害調写 治三郎宛
安政2年8月8日 1綴 伊文
6. 安政三年七月二十三日本吉北方津波状況調
石森幸左衛門筆(安政3年)11月 1通 伊文
7. 天明飢死図集 鈴木三伯筆 天明5年 1冊 館蔵

仙台藩の家臣たち

「仙台藩の軍と行列」 2018.3/31~6/10

1. 御軍役御定 享保12年正月 1冊 伊文
2. 御備立惣御人数委細之書付ほか 享保12年正月
5冊のうち1冊 伊文
3. 伊達斉邦江戸登城行列図写 原本武藤弘毅筆
明治31年 1巻 石原謙太郎氏寄贈
4. 嘉永四年練兵行軍之図 江戸後期 1冊 館蔵
5. 白石城の図 小関雲陽筆 明治41年 1幅 片倉家資料
6. 毛槍(白鳥毛)の鞘 江戸(17~19C) 1点
橋本信次郎氏寄贈

「寛文事件」 6/12~9/9

1. 伊達亀千代書「村雨」 伊達亀千代 寛文4年 1幅 伊文
2. 伊達宗重画像(三忠臣像のうち) 江戸後期(18~19C)
3幅のうち1幅 松川マサ氏寄贈
3. 伊達兵部・田村右京連署血判起請文 立花飛騨守(忠茂)
万治3年11月21日 1通 伊文
4. 伊達亀千代領知黒印状 角懸四郎兵衛宛 寛
文元年11月16日 1通 角懸幸氏寄贈
5. 伊達宗勝領知黒印状 吉村数馬宛 寛文元年11月15日
1通 加藤芳明・則子氏寄贈
6. 伊達兵部・田村右京連署条目 奉行宛
寛文3年11月26日 1巻 伊文
7. 伊達兵部処罰罪人書付写 寛文11年3月4日 1冊 伊文
8. 浮世絵「当間鬼貫・仁木弾正・山名宗全・
渡辺外記左エ門・細川勝元」 三代歌川豊国画
弘化4年~嘉永5年 大判3枚続 大宮司C
9. 浮世絵「伽羅先代萩」 歌川国芳画 嘉永元年~嘉永6年
大判3枚続 大宮司C

※No.8は6/11~7/30展示、No.9は7/31~9/9展示

「仙台藩の要害」 9/11~12/2

1. 伊具金山要害屋敷普請奉願候絵図 延享4年12月
1鋪 仙台銀行寄贈
2. 伊具金山要害屋敷普請奉願候覚 中島采女
宝暦9年8月 1通 仙台銀行寄贈
3. 金山城絵図 貞享元年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
4. 金山城絵図 貞享元年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
5. 金山城絵図 貞享元年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
6. 名取郡岩沼私要害屋敷普請奉願候絵図 古内能登
享保9年 1鋪 個人蔵
7. 奉行連署状 柴田中務宗意ほか3名筆
貞享5年4月1日 1通 個人蔵

「歴史資料にみる仙台藩の武器・武具」 12/4~2019.3/10

1. 白地黒獅子図旗(青木家伝来) 江戸 1旗 青木和子氏寄贈
2. 濱田氏大馬印・小馬印・指小旗・幕紋の図
天保5年1月20日 1枚 濱田善雄氏寄贈
3. 惣上三百石以上指小旗・幕之図 四 江戸 1巻
後藤愛氏寄贈
4. 伊達家軍器図巻 江戸中期 2巻のうち1巻 伊文
5. 伊達家御鎗御刀之内調書 江戸後期 1冊 報恩会

5 町

城下町仙台

「仙台城下の寺社」 2018.3/31~6/10

1. 蓮図 伊達綱村筆 江戸中期 1幅 伊文
2. 山号・寺号「両足山大年禪寺」 伊達綱村筆
元禄10年2月18日 1幅 猪苗代翁・弼氏寄贈

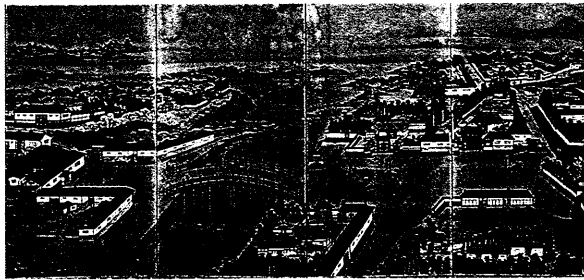
3. 伊達綱村書状 牛老和尚宛 元禄10年間 2月22日 1幅 館蔵
4. 兩足山志 呂峰海晴筆 享保19年 1冊 館蔵
5. 「所々寺院御絵図」のうち万寿寺 江戸後期 1帖 伊文
6. 定禪寺御用留 嘉永元年～3年 1冊 報恩会
7. 荒町毘沙門堂縁起 江戸中期 1通 伊文
8. 「二十四輩巡拝図会後篇卷之四」より称念寺
了貞著 竹原春泉斎画 文化6年刊 1冊 個人蔵
9. 称念寺寺請証文 宝暦4年8月 1通 片倉家資料
10. 寺社領御寄附御牒一 延宝8年 1冊 尚文館C
11. 仙台北城下絵図 宝暦8～12年頃 1鋪 飯介晴武氏寄贈

「仙台北城下絵図と村絵図」 6/12～9/9

1. 仙台橋の擬宝珠 慶長6年 1基 報恩会
2. 仙台北城下絵図 寛政元年頃 1鋪 片倉家資料
3. 名取郡北方四郎丸村絵図 文政年間 1鋪 館蔵
5. 名取郡北方鉤取村絵図 文政4年11月 1鋪 館蔵
4. 名取郡北方湯本村絵図 文政年間 1鋪 館蔵

「幕末の仙台北城下の風景」 9/11～12/2

1. 仙台橋の擬宝珠 慶長6年 1基 報恩会
2. 仙台北城下図屏風 吉成東温筆 慶応元年 6曲1隻 三原良吉C



2. 仙台北城下図屏風（部分）

3. 外人屋の平面図 西山隆景写 嘉永3年 1鋪 館蔵
4. 仙岳院の平面図 江戸後期 1帖 館蔵
5. 二軒茶屋『釣奇一覽』 安政年間 1冊 報恩会
6. 養賢堂・医学館『仙台中行事絵巻』 江戸後期 1巻 三原良吉C
7. 寒風沢『陸奥国塩竈松島図』 佐久間洞巖画 享保13年刊 1冊 館蔵
8. 『塩竈詣』 仙台書林 裳華房 伊勢屋半右衛門版 文政8年2月 1冊 報恩会
9. 明治元年現状仙台北城市之図 明治 1面 館蔵

「城下の町並み」 12/4～2019.3/10

1. 仙台橋の擬宝珠 慶長6年 1基 報恩会
2. 文久二年仙台北城下絵図 文久2年 1幅 報恩会
3. 伊達政宗白筆書状 山岡重長宛（元和6年） 1幅 個人蔵
4. 木村宇右衛門覚書下巻 木村宇右衛門著 江戸前期 1冊 伊文

5. 奥州仙台名所尽集 芭蕉の辻 江戸後期 1巻 大宮司C
6. 仙台北城下敷定 占内志摩・柴田中務宛 御屋敷奉行中 寛文12年3月26日 1巻 菊田定郷C
7. 片倉家仙台北城下敷御家作之絵図 江戸末期 1鋪 片倉家資料
8. 只野作左衛門仙台北城下敷之図 宝暦～明和年間 1鋪 個人蔵
9. 家相図 文久元年 1枚 河川家資料

町のくらし

「春を楽しむ」 2018.3/31～5/27

1. 榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1隻 阿部次郎C
2. 徳利付蒔絵野弁当 江戸末期 1組 甲川C
3. 枇杷文指樽 江戸後期 1対 増子征氏寄贈

「仙台北藩の七夕」 5/29～9/2

1. 伊達政宗和歌詠草 伊達政宗筆 元和4年秋 1幅 館蔵
2. 濱田氏年中行事 文久2年 1冊 個人蔵
3. 仙府年中往来 燕石斎薄墨著 江戸後期 1冊 阿部次郎C
4. 参詣記 佐助筆 江戸後期 1冊 報恩会
5. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
6. 七夕飾り 大正 7点 菅野邦夫氏寄贈
7. 七夕の絵葉書「仙台 肴町七夕祭ノ光景」（パネル）大正 1点 館蔵
8. 七夕の絵葉書「仙台名物 五彩の短冊美しき。七夕祭りの豪華版 東一番町」（パネル）昭和11年8月6日撮影 1点 館蔵
9. 七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」（パネル）昭和20年代 1点 館蔵

「東照宮祭礼」 9/4～11/25

1. 東照宮祭礼渡物絵図 源氏若紫之體 北目町相原屋太兵衛 江戸後期 1枚 三原良吉C
2. 東照宮祭礼渡物絵図 舜帝より禹王珠玉錫（賜）り音楽を奏する躰 大町四丁目小西屋 江戸後期 1枚 三原良吉C
3. 東照宮祭礼渡物絵図 八幡太郎義家安倍貞任を見顕し給ふ躰 川原町沢口安左衛門 江戸後期 1枚 三原良吉C
4. 東照宮祭礼渡物絵図 坂上田村麿鷹野に出給ふ躰 国分町伏見屋長兵衛 江戸後期 1枚 三原良吉C
5. 仙台北東照宮祭礼小絵図 江戸中期～後期 3枚 館蔵
6. 東照宮御祭礼渡物行列帳 嘉永3年 1冊 三原良吉C
7. 渡物札 江戸後期 2枚 三原良吉C
8. 得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案 浅井忠内宛 文政11年6月 1通 三原良吉C
9. 勝相撲 遠藤日人筆 江戸後期 1幅 館蔵
10. 『仙台北藩法禁下』より「芝居見物難成由之事」 江戸後期 1冊 阿部次郎C
11. 嘉永三年相撲番付 嘉永3年 1枚 三原良吉C

城下の職人・商人「御大工」 11/27~2019.3/3

1. 知行目録 和田因幡・山田内記・奥山大学助・冨塚内蔵頭 大工利兵衛宛 寛永21年8月14日 1通
千田家資料
2. 勤功之覚 千田理兵衛提出 寛保元年正月 1冊
千田家資料
3. 朴沢庄藏養子願書 丹下ほか4名 文政9年11月14日
1通 朴沢家資料
4. 御名乗ノ事 沙門快現筆 朴沢十四郎直春宛
文政11年7月 1通 千葉氏寄贈朴沢家資料
5. 朴沢十四郎藤原直春門人改帳 文政11年~安政7年 1冊
千葉氏寄贈朴沢家資料
6. 御大工五組名前帳 天保9年5月改(~天保11年) 1冊
千田家資料
7. 唯一神道垂加流番匠方祭礼行事式秘伝口訳集
佐藤右斎藤原鎮定 千田左覚紀伯・千田理兵衛紀勝宛
寛保2年12月・安永4年9月19日 1冊 千田家資料
8. 仙台藩江戸上屋敷絵図 江戸時代(18C) 1幅
千葉氏寄贈朴沢家資料
9. 薬師堂隅木修理図 文化12年2月 1枚 朴沢家資料
10. 岡分寺薬師堂御入料達留 棟梁方・御積り方
天保12年10月 1冊 千田家資料
12. 貞明院様急御下りニ付伊達藤三郎様御屋敷借受御用立候に
付諸式控 御積り千田氏 安政3年正月 1冊 千田家資料

教育と文化

「仙台藩の学問と思想家」 2018.3/31~6/10

仙台藩の藩校 養賢堂

1. 養賢堂全図 江戸後期 1幅 館蔵
2. 論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊 尚文館C
3. 書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊 安倍謙一氏寄贈
4. 論語 天保15年手写カ 1冊 阿部次郎C
5. 水滴 江戸後期 3点 館蔵
6. 大槻平泉肖像 東東葉原画・高橋松亭模写 近代 1幅
佐藤暉雄氏寄贈

林子平の人生と思想

7. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C
8. 漢土加留多 18C 6枚 藤塚家資料
9. 阿蘭陀加留多 18C 2枚 藤塚家資料
10. 世界之図 林子平筆写 安永4年 1冊 中村C
11. 蝦夷錦の袖口 江戸 1点 藤塚家資料
12. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代弼氏寄贈
13. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵
14. 林子平辞世拓本 江戸後期 1幅 中村C

「仙台藩の学問と思想家」 6/12~9/9

仙台藩の天文学

1. 獅山公治家記録 正徳四年二月七日条(遠藤盛俊入門)
田辺希文・児玉秀基編 宝暦8年 1冊 伊文
2. 伊達世臣家譜(戸板氏) 田辺希元撰 寛政4年12月
1冊 伊文
3. 潮汐図説 高野立斎著 寛延2年 1冊 尚文館C
4. 天文図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵

「林子平の人生と思想」

5. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
6. 儀式考 林良通(笠翁)筆 江戸中期(18C) 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
7. 坪碑 林子平著・程赤城跋 安永7年頃 1巻
中村C
8. 長崎出島蘭館銅牌拓本 18C 1幅 藤塚家資料
9. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
10. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵

「仙台藩の文化人と思想家」 9/11~12/2

仙台藩ゆかりの文化人

1. 俳人百家撰 緑亭川柳編・歌川国輝画 嘉永8年
1冊 尚文館C
2. 松窓句集 松窓乙二著 文政6年 1冊 尚文館C
3. 俳諧三十六句仙 足了庵不月尼序 嘉永6年 1冊
阿部次郎C
4. 釣奇一覽 千柳亭序 安政3年 1冊 阿部次郎C
5. 宿場の図 遠藤曰人筆 文政11年 1幅 館蔵
6. 蛙相撲図 遠藤曰人筆 天保4年 1幅 館蔵
7. 仙台領高名競 角力見立 一騎作 仙台昔話会復刻
文政12年発行・昭和15年復刻 1枚 三原良吉C

林子平の人生と交友

8. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代弼氏寄贈
9. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵
10. 藤塚家家譜 藤塚式部筆 安永4年 1冊 藤塚家資料
11. アイヌの矢 江戸中期(18C) 3点 藤塚家資料
12. 報賽歌 林子平筆 寛政3年 1幅 藤塚家資料
13. 林子平謹慎白守ノ図 1幅 館蔵

「仙台藩の学問と思想家」 12/4~2019.3/10

仙台藩の医学教育

1. 仙台年中行事絵巻(複製) 原資料・江戸後期(19C)
1枚 三原良吉C
2. 六物新志 大槻玄沢著 天明8年 1冊 館蔵
3. 瘍医新書 大槻玄沢訳・杉田玄白起業 文政8年刊
1冊 館蔵

4. 解体新書 杉田玄白ら訳 安永3年 1冊 館蔵
 5. 存真図版 佐々木中沢著・畠山仙江画 文政5年 1帖
 山形敏一氏寄贈
 6. 芝蘭堂新元会図(印刷) 原資料・市川岳山筆
 近代(原資料・寛政6年) 1幅 鶴飼新一氏寄贈

林子平の人生と思想

7. 林子平肖像 牧五秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
 8. 奥地同名訳 林子平筆写 安永6年 1冊 藤塚家資料
 9. 和蘭地理書ゼオガラヒー 林子平筆写 安永7年
 1冊 藤塚家資料
 10. 和蘭人宴会図 林子平筆 江戸後期 1面 館蔵
 11. 仙台城下絵図 林子平筆 江戸中期～後期 1冊
 中村C
 12. 仏語訳 三國通覧図説 クラブオート訳 1832年刊
 1冊 館蔵
 13. 海国兵談 林子平著 天明7年10月跋 1冊 館蔵
 14. 林子平辞世拓本 江戸後期 1幅 中村C

新たな時代へ

「戊辰戦争150年特集1 幕末の仙台藩の動向①」

2018.3/31～6/10

1. 瓦版 ベリー浦賀入港の図 嘉永7年 1枚 阿部次郎C
 2. 瓦版 蒸気船之図 嘉永7年 1枚 館蔵
 3. 横浜本町景港崎街新廓 橋本貞秀画 万延元年 3枚続
 大宮司C
 4. 伊達慶邦意見書控 (嘉永6年)7月 1綴 伊文
 5. 烏津齊彬書状 伊達慶邦宛 (嘉永6年)6月29日 1通
 伊文
 6. 孝明天皇勅答書写 (安政5年)3月20日 1通 伊文
 7. 安政五ヶ国条約 安政6年6月 5冊 個人蔵

「戊辰戦争150年特集2 仙台藩政の揺らぎ①」 6/12～7/8

1. 伊達慶邦画像 明治 1面 伊文



1. 伊達慶邦画像

2. 伊木十佐書状写 (文久2年)7月18日 1冊 伊文
 3. 濟美館漫筆七 桜田良佐筆 文久2年 1冊 報恩会

4. 楽山公治家記録 文久3年1月28日条 1冊 伊文
 5. 山水図 三好清房筆 江戸末期 1幅 大久保C
 6. 伊達慶邦書状案 仙台 上杉齊憲宛 (文久3年)3月24日
 1通 伊文
 7. 松崎顕敏他四名連署上書 安田竹之輔・今泉孫四郎・
 真田喜平太・大立目徳衛・松崎仲太夫 (伊達慶邦宛)
 文久3年3月24日 1通 伊文

7/10～9/9

1. 伊達慶邦画像 明治 1面 伊文
 2. 伊木十佐書状写 (文久2年)7月18日 1冊 伊文
 3. 濟美館漫筆七 桜田良佐筆 文久2年 1冊 報恩会
 4. 楽山公治家記録 文久3年1月28日条 1冊 伊文
 5. 加茂・石清水行幸行列 (文久3年4月) 1冊 館蔵
 6. 伊達慶邦書状控 大内縫殿(義房)宛 (文久3年ヵ)
 8月8日 1通 伊文
 7. 眺斎百狂どふけ百万遍 河鍋晩斎画 元治元年 3枚続
 阿部次郎C

「戊辰戦争150年特集3 戊辰戦争に関わった仙台ゆかりの人々①」

9/11～12/16

1. 伊達慶邦布告控 慶応4年5月 1通 伊文
 2. 玉虫左太夫書状 潔宛 (慶応4年)11月28日 1通
 玉蟲誼氏寄贈資料
 3. 仙台藩戊辰史拾遺五 下飯坂秀治編・大槻文彦校
 明治35年 1冊 尚文館C
 4. 若生文十郎略歴 近代 1通 館蔵
 5. 武器献上願(控) 大竹徳治 松倉良輔宛 慶応4年7月
 1通 個人蔵
 6. 仙台藩戊辰史三 下飯坂秀治編・大槻文彦校 明治35年
 1冊 尚文館C

「戊辰戦争150年特集4 それぞれの戦後①」 12/18～2019.3/3

1. 太政官制札 慶応4年3月 1枚 庄司恭氏寄贈
 2. 浅葱平絹地風呂敷 江戸後期 1枚 武田家資料
 3. 通達書 県庁 武田奎宛 (明治4年)7月25日 1通
 武田家資料
 4. 大槻弊漢書状 おえつ宛 (明治元年11～12月) 1幅 館蔵
 5. 胆振国幌別御支配所出張萬記録 公用方本沢浩斎
 明治2年10月9日～3年1月 1冊 館蔵
 6. 奥羽盛衰見聞誌後編 武藤弘毅編 明治 1冊 館蔵
 7. 只野家家中掃農土着者名前並持高調書上
 家老菅野又右衛門 仙台藩留守居菅野武蔵宛
 明治2年4月 1冊 個人蔵

6 近代都市への歩み

戊辰戦争と明治維新

「戊辰戦争150年特集1 幕末の仙台藩の動向②」

2018.3.31~6.10

1. 伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控 (安政3年7月) 1通
伊文
 2. 登米練兵手段書 安政5年10月 1綴
伊文
 3. 嘉永4年以來免許状授与者名簿 嘉永4年~文久4年
1通
個人蔵
 4. 孝明天皇御内勅書写 (伊達慶邦宛) (文久2年) 12月
1通
伊文
 5. 開成丸の旗 江戸末期 1旗
亀田兵治C
 6. 開成丸調練掃帆図 三浦乾也画 安政5年 1幅
菊田定郷C
- 参考 開成丸模型 現代 1点
吉田耕平氏寄贈

「戊辰戦争150年特集2 仙台藩政の揺らぎ②」 6/12~7/8

1. 加茂・石清水行幸行列 (文久3年4月) 1冊
片倉家資料
 2. 伊達慶邦書状控 大内縫殿宛 (文久3年ヵ) 8月8日
1通
伊文
 3. 晚斎百狂 どふけ百万遍 河鍋晚斎画 元治元年
大判3枚続
阿部次郎C
 4. 江戸幕府老中口上書写 (伊達慶邦宛) (元治元年4月)
1通
伊文
 5. 伊達慶邦藩政改革覚書 慶応2~3年頃 1冊
伊文
 6. 履歴之大略 (増田繁幸) 近代 1通
増田繁幸関係資料
- 7/10~9/9
1. スタールカービン銃 19C 1挺
個人蔵
 2. 木砲 江戸末期 1門
個人蔵
 3. 陶製砲弾 慶応4年 19点
庄司博氏寄贈
 4. 夏の夜虫合戦 慶応4年5月 2枚続
館蔵
 5. 子供あそび百ものがたり (慶応4年・明治元年)
2枚続
和泉C
 6. 四天王鬼賊退治 江戸末期 2枚続
館蔵

「戊辰戦争150年特集3 戊辰戦争に関わった仙台ゆかりの人々②」

9/11~12/16

1. スタールカービン銃 19C 1挺
個人蔵
 2. 木砲 江戸末期 1門
個人蔵
 3. 陶製砲弾 慶応4年 19点
庄司博氏寄贈
 4. むつの花 子供の戯 歌重 明治元年 大判3枚続
館蔵
- ※No.4は10/26~12/16展示

「戊辰戦争150年特集4 それぞれの戦後②」 12/18~2019.3/3

1. スタールカービン銃 19C 1挺
個人蔵
2. 木砲 江戸末期 1門
個人蔵

3. 陶製砲弾 慶応4年 19点

庄司博氏寄贈

近代都市仙台

「仙台の産業と経済」 2018.3/31~6/10

1. 宮城紡績会社定款 明治 1冊
安久津家資料
2. 建設中の三居沢発電所 (パネル) 明治40年頃 1点
東北電力提供写真よりパネル作成
3. 流木岡 奥山栄五郎筆 大正8年 1点
館蔵
4. 切込焼絵葉書 大正~昭和 7点
三原良吉C
5. 仙台市商工業連合広告 大正 1枚
三原良吉C
6. せんだい 宮城県物産陳列所出品協会 大正5年
2冊
尚文館C
7. 仙台市写真帖 仙台市役所 大正14年 1冊
館蔵
8. 東北産業博覧会全図 昭和3年 1枚
館蔵
9. 会津溜塗・簡易七宝・仙台堆朱 昭和 1点
東北工業技術試験所寄贈
10. 照明器具 昭和 1点
東北工業技術試験所寄贈

「戊辰戦争後の仙台と『東北』」 6/12~9/9

1. 大日本磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後国郡沿革色分輿地全図
景山致恭図 福住金麟堂板 (慶応4年) 1枚
三原良吉C
 2. 奥羽人民告諭 明治2年 1巻
中村徳重郎C
 3. 御巡幸御行列之図式 明治9年頃 1枚
購入資料
 4. 『明治二年己巳歳日記』 小野莊五郎筆 明治2年
1冊
小野家資料
 5. 講習余誌出版願 明治10年 1紙
小野家資料
 6. 『東北新報』 明治14年 1冊
尚文館C
 7. 『東北之少年』 明治26年 1冊
安久津家資料
 8. 仙台第二師団全部之図 楊齋延一画 明治25年
3枚続
大宮司C
 9. 招魂祭略図 明治23年 2枚続
三原良吉C
- ※No.4~7は6/12~7/8展示

「戊辰戦争150年特集3 戊辰戦争に関わった仙台ゆかりの人々③」
9/11~12/16

1. 営業鑑札御書換願 仙台市長 遠藤庸治 明治25年 1紙
館蔵
2. 郡長の指令書 宮城部長 菅克復 根白石村戸長 明治14年
1紙
館蔵
3. 御礼状・御見舞状 梅澤道治 板橋次郎 (大正9年)
1通
館蔵
4. 預金金利引き下げ願 七十七銀行頭取 遠藤敬止
仙台市長 里見良顕 明治32年 1冊
館蔵
5. 建設中の三居沢発電所 (パネル) 明治40年代
東北電力提供写真よりパネル作成
6. 七言絶句「登高手把菊花觴」 岡千仞筆 明治23年 1幅
7. 無題論考 佐藤時彦 明治10年代 1綴
安久津家資料
8. 額縁「愛敬二而一」 新井奥達筆 明治・大正期 1点
館蔵
9. 講習余誌 小野莊五郎編 明治10年代 3冊
小野家資料

10. 七言絶句「資生無病老存射」 佐々木巴溪筆 昭和3年 1幅 伊澤家C
11. 塩竈神社図 遠藤速雄筆 明治42年 1幅 甘柿舎C
12. 仙台藩士戊辰戦没之碑 輪王寺宮能久親王筆 明治23年 1幅 伊文

「仙台の自由民権運動」 12/18~2019.3 10

特集1 西南戦争と仙台

1. 江藤新平漢詩 京洛寒光 江藤新平 明治7年頃 1幅 大久保良雄C
2. 鹿児島戦争記 楊洲斎周延画 明治10年 3枚続 大宮司C
3. 鹿児島戦闘記 楊洲斎周延画 明治10年 3枚続 大宮司C
4. 警視各隊へ賜酒者の図 月岡芳年画 明治10年 3枚続 大宮司C
5. 西郷城山戦死図 楊洲斎周延画 明治10年 3枚続 大宮司C
6. 板垣退助書 縦横無計説諸侯 板垣退助 明治 1幅 大久保C
- (参考パネル) 宮城集治監写真 明治 館蔵

特集2 仙台の民権運動に影響を与えた人々

7. 民約論 ルソー著 服部徳訳 明治10年 1冊 安久津家資料
8. 雑記 小野莊五郎 明治4年 1冊 小野家資料
9. 講習余誌 明治10年 3冊 小野家資料
10. 国会開設哀願書 若生精一郎 明治13年 1綴 逸見順子氏寄贈資料
11. 本立社日記 草稿 明治10年代 1綴 逸見順子氏寄贈資料
12. 進取雑誌 明治14年 1冊 安久津家資料
13. 東北改進黨盟約 明治15年 1冊 安久津家資料
14. 無題論考 佐藤時彦 明治10年代 1綴 佐藤家文書
15. 嘆願書の草稿 佐藤時彦 明治29年 1綴 佐藤家文書
16. 対物宮城の穴 菅野長平 明治15年 1紙 三原良吉C
17. 仙台演説家評判記 菅野長平 明治16年 1冊 三原良吉C
6. 善悪思の案内 落合芳幾画 慶応元年1点 大宮司C
7. 玉づくし 歌川芳艶画 嘉永期 1点 大宮司C
8. 有卦絵 国盛画 弘化4年 1点 和泉幸一郎C
9. 七福即生開運出生奇樹金のなる木 歌川芳虎画 嘉永期 1点 大宮司C
10. 独楽 江戸後期(18~19C) 伊文
11. オランダ図版画(司馬江漢画) 1点 藤塚知義氏寄贈
12. 机頭小圃・黒窓小品 竹林哲編・豊原善作編 明治13年刊行 4冊 尚文館C
13. 歴代仙台藩主所用印(獅子彫摘) 1顆 伊文
14. 歴代藩主所用印(亀彫摘) 1顆 伊文
15. 歴代藩主所用印(獅子彫摘) 伊文
16. 伊達重村所用印(兎彫摘) 江戸後期 伊文
17. 勝軍地藏菩薩坐像 伝濱田景隆所用 桃山(16C) 1軀 濱田善雄氏寄贈
18. 都鳥香合 三浦乾也作 江戸後期(19C) 1点 新井III C
19. 茶道具揃い 三浦乾也作 江戸後期(19C) 1組 新井III C
20. 仙台釣竿 へら鮎竿 田村政孝作 1具 田村政孝氏寄贈
21. 仙台釣竿 たなご竿 1具 田村政孝氏寄贈
22. 栗山公行列図巻 武藤弘毅筆 近代(19C) 11巻のうち2巻 伊文
23. 反射式覗き眼鏡・西洋眼鏡絵バリ・ボンヌフ橋よりの景観 江戸後期(18~19C) 1基・1枚 館蔵
24. 西洋眼鏡絵 バリ・ボンヌフ橋よりの景観 1枚 館蔵
25. 燭台(近代・19C) 1点 平間晃氏寄贈
26. 双鹿図 東東菜筆 江戸後期(19C) 1幅 伊文
27. 蛙相撲 遠藤日人筆 江戸後期(18~19C) 1幅 館蔵
28. 猿猴図 森狙仙筆 寛政12年 1幅 伊澤家C
29. 狸図 田中訥言筆 江戸後期(18~19C) 1幅 伊澤家C
30. 虎図 菊田伊洲筆 江戸後期(18~19C) 1幅 亀田兵治C
31. 象図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 新津宗助C
32. 駱駝図 菊田伊徳筆 文政7年 1面 伊文
33. 動物図スケッチ 遠藤速雄筆 明治~大正(19~20C) 1巻 阿部次郎C
34. 妖怪画本 原本李冠光賢筆、鍋田玉英写 明治16年 1冊 阿部次郎C

特集展示室

「屏風絵」 2018.3/31~5/27

1. 源氏物語図屏風 江戸前期 6曲1双 館蔵
2. 孔雀図屏風 小池曲江筆 享和3年 6曲1双 館蔵
3. 桜に錦鶏図屏風 桃山 2曲1隻 館蔵
4. 吉野・竜田図屏風 松原探水筆 江戸中期 6曲1双 伊文

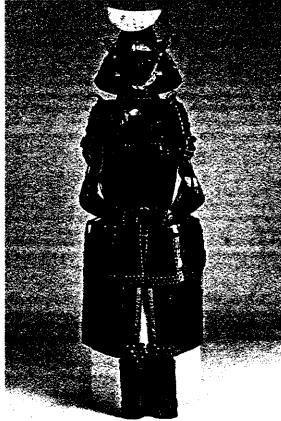
「おもしろいもの見つけた」 5/29~7/8

1. 新略画(略画早指南) 葛飾北斎画 文化11年刊 1冊 阿部次郎C
2. 略画早指南 葛飾北斎画 文化9年 1冊 阿部次郎C
3. 百人一首富士之図 東園筆 享和3年 1幅 館蔵
4. 福内鬼外図 東東洋筆 天保5年 1幅 伊文
5. 河童相伝胡瓜遺魯文筆 明治5年 2冊 阿部次郎C
40. 源頼光の四天王土蜘蛛退治之図 歌川国芳画 天保期 1点 館蔵
41. 即興かけぼしづくし 塩引きけの魚・茶がま 歌川広重画 天保11~13年 1点 館蔵
42. 青物づくし はんじもの 重宣画 弘化4年~嘉永5年 1点 館蔵

43. 錦絵 大阪御陣雪中大合戦組上五枚続 歌川国政画
明治27年 1点 館蔵
44. 秋保温泉上り双六 松井哲太郎作 大正5年 1点
三原良吉C
45. 大織冠図屏風 江戸中期～後期(18～19C) 6曲1双
高橋徳太郎氏寄贈

「仙台藩の武器武具 伊達綱村没後300年特別展示」
7/9～9/9

1. 鉄錆地五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵



1. 鉄錆地五枚胴具足

2. 黒漆五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
3. 長巻 朱漆銘「伝言武蔵坊者之肩尖刀也蔵于武軍也
亦久矣因記」 「三尺晴雪利用防君子身(花押)」
室町後期 1口 伊文
4. 金塗軍配団扇 箱共 室町(箱・袋は江戸前期) 1握 伊文
5. 赤羅紗地折敷に三文字紋陣羽織 江戸後期 1領
武市家資料
6. 赤羅紗地北斗七星模様陣羽織 江戸後期 1領
佐藤正人氏寄贈

※No.5は7/9～7/29展示、No.6は7/31～9/9展示

「国宝 慶長遣欧使節関係資料」 7/10～12/16

1. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
2. 支倉常長像(1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
4. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
5. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
6. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛 原本は元和4年
1幅 館蔵
7. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書(複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

8. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
9. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃
1面 館蔵
10. ローマ教皇謁見図(『伊達政宗遣欧使節記』ドイツ語版)
1617年刊 1枚 館蔵
11. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
12. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
13. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616～17年頃
1枚 館蔵
14. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年頃 1枚 館蔵
15. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
16. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
17. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
18. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
19. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
20. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
21. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
22. 国宝 ディスチブリナ 17C 1口 館蔵
23. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
24. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
25. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵

「仙台藩の武器武具」 9/11～12/16

1. 紺糸威胴丸具足 伊達慶邦所用 元治2年 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 伊達茂村所用 江戸末期 1領 伊文
3. 金梨地竹に雀九曜紋刀掛 江戸初期 1架 館蔵
4. 朱漆雪薄紋鞍鍔
伝伊達政宗所用 江戸初期 1具 館蔵
5. 仙人図象嵌火繩銃 銘「仙台住早坂清則」 江戸後期
1挺 館蔵
6. 紫背板地五色水玉模様陣羽織 江戸中期 1領 伊文
7. 赤羅紗地梅鉢紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野壽雄氏寄贈
- ※No.1～2は10/16～12/16展示、No.6は9/11～10/28まで展
示、No.7は10/30～12/16展示

「平家物語図屏風特集」 12/18～2019.1/20

1. 平家物語図屏風 江戸 6曲1双 館蔵
2. 牟礼高松図屏風 狩野梅笑筆 江戸後期 2曲1隻
星名四郎氏寄贈
3. 平家物語図屏風 江戸初期 6曲1双 館蔵

「描かれた松島と塩竈」 2019.1/22～3/3

1. 松島塩竈図屏風 長谷川宗園筆 江戸初期 6曲1双 館蔵
2. 松島雨霽図 谷文晁筆 寛政7年 1幅 館蔵
3. 松島眺望図 長谷川雪旦筆 江戸後期 1幅 館蔵
4. 勝画楼望月・五大堂観日図 菅井梅閑筆 江戸後期
双幅 伊澤家C



2. 松島雨霽図

5. 昇龍図 菅井梅閑筆 天保6年 1幅 館蔵
6. 塩竈松島凶屏風 原在照筆 江戸末期 2曲1隻 伊文
7. 宮城十二景 遠藤速雄筆 大正 6曲1双 伊澤家C
8. 塩竈松島図巻 江戸後期 1巻 館蔵
9. 松島画紀行・松島日記(写本) 原本:谷文晁筆
江戸後期 1冊 館蔵
10. 松島真景図巻 谷文晁画 天明7年刊 1巻 館蔵
11. 仙台領分名所手鑑 伊達宗村書・狩野典信画 江戸中期
1帖 中嶋成夫氏寄贈
12. 御領内名所図会 佐久間六所・晴岳筆 江戸末期 1巻
報恩会
13. 塩竈松島図巻 小池曲江筆 文化7年 1巻 館蔵

「屏風絵」 3/5~3/24

1. 源氏物語図屏風 江戸前期 6曲1双 館蔵
2. 孔雀図屏風 小池曲江筆 享和3年 6曲1双 館蔵
3. 桜に錦鶏図屏風 桃山 2曲1隻 館蔵
4. 吉野・竜田図屏風 松原探水筆 江戸中期 6曲1双 伊文

テーマ展示室 I

「仙台藩の武器武具」 2018.3/31~5/27

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用・菅野重成拝領
桃山-江戸初期 1領 菅野壽雄氏寄贈
2. 朱敷漆紫糸素懸威六枚胴具足 三荒荒神形兜付
伝上杉謙信所用 室町末期 1領 伊文
3. 黒漆鳩胸五枚胴具足 6代伊達宗村所用 江戸中期
1領 伊文
4. 十文字槍 奥州仙台住藤原国包 江戸中期 1口 伊文
5. 槍 奥州住国包作 江戸中期 1口 甲田C
6. 薙刀 河内守藤原国次 江戸前期 1口 伊文
7. 矢の根形九曜透槍 奥州名取住河内守藤原国次
江戸前期 1口 伊文
8. 矢の根形菱透槍 奥州名取住河内守藤原国次 江戸前期
1口 伊文
9. 矢羽根 江戸 3枚 伊文
10. 矢 江戸時代 3本 伊文
11. ゆがけ 江戸時代 3対 伊文
12. 鶴蒔絵鞍轡 江戸後期 1組 伊文

13. 仙人図象嵌火繩銃 江戸後期 1口 館蔵
14. 萌葱綾地松喰い立ち鶴紋陣羽織 江戸末期 1領 個人蔵
15. 重要文化財 山形文様陣羽織 伊達政宗所用 江戸初期
1領 伊文

※No.15は5/15~5/27展示

「仙台藩の武器武具 伊達綱村没後300年特別展示」

5/29~7/8

1. 鉄錆地五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵
2. 黒漆五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
3. 黒漆瓦札萌葱糸威胴丸具足 仙姫所用 江戸前期
1領 伊文
4. 短刀 銘「藤原国包」 江戸前期 1口 藤崎三郎助氏寄贈
5. 長巻 朱漆銘「伝言武蔵坊者之肩尖刀也蔵于武軍也
亦久矣因記」「三尺晴雪利用防君子身(花押)」 室町後期
1口 伊文
6. 金塗軍配団扇 箱・袋共 室町時代(箱・袋は江戸前期)
1握 伊文
7. 菊桐紋蒔絵刀掛 江戸前期 1架 伊文
8. 白猪毛鞆 江戸後期 1具 伊文
9. 金梨地花鳥蒔絵鞍轡 江戸後期 1具 伊文
10. 火繩銃「東雲」 銘「仙台住木田市郎右衛門尉定幸
極上之鍛」 江戸後期 1挺 館蔵
11. 赤呉呂地金束菖蒲紋陣羽織 江戸後期 菅野家資料
12. 赤羅紗地折敷に三文字紋陣羽織 江戸後期 武市家資料

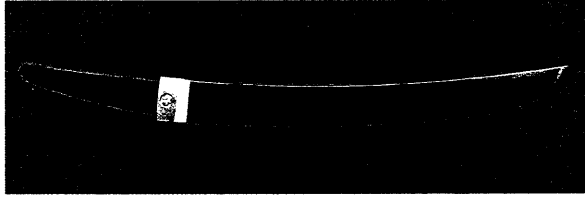
「仙台藩の武器武具」 2018.12/18~2019.1/27

1. 鉄錆地五枚胴具足 江戸中期 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 12代伊達齊邦所用 江戸後期 1領 伊文
3. 黒漆五枚胴具足 菅野正左衛門所用 安政6年 1領
菅野壽雄氏寄贈
4. 太刀 銘宝寿 銘「宝寿」「慶二年八月日」南北朝
1口 志村修氏寄贈
5. 刀 無銘 伝出羽月山 室町末期 1口 佐藤敬二郎氏寄贈
6. 剣 国包 銘「山城大掾藤原国包/寛永十八年七月
吉日」「山城子源次郎国包」 寛永18年 1口
館蔵(赤羽刀)
7. 金梨子地菊桐文蒔絵刀掛 江戸前期 1架 伊文
8. 黒漆地金口の丸軍配団扇 江戸前期 1握 館蔵
9. 茶猪毛鞆 江戸中期 1合 伊文
10. 亀甲蟹牡丹紋鞍轡 江戸後期 1組 伊文
11. 火繩銃「東雲」 銘「仙台住木田市郎右衛門尉定幸
極上之鍛」 江戸後期 1挺 館蔵
12. 浅葱変綾地波濤模様具足下 江戸後期 1領 館蔵
13. 緋羅紗地三巴紋陣羽織 江戸後期 1領 新田貴一氏寄贈

「仙台藩の武器武具」 2019.1/29~3/24

1. 黒漆五枚胴具足 2代伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 11代伊達齊義所用 江戸後期 1領 伊文

3. 黒漆五枚胴具足 青木寛太夫所用 江戸後期 1領
青木和子氏寄贈
4. 脇差 銘奥州仙台住藤原国包 慶安5年 1口
館蔵(赤羽刀)
5. 脇差 東照宮奉納 金梨地拵共 江戸前期 1口 伊文



5. 脇差 東照宮奉納

6. 金梨子地竹雀九曜紋透刀掛 江戸初期 1架 伊文
 7. 北斗七尾文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
 8. 白猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
 9. 孔雀蒔絵鞍籠 江戸中期 1組 伊文
 10. 火繩銃「東雲」銃筒木田定幸作 江戸 1挺 伊文
 12. 羅紗地九曜紋火事装束(羽織・頭巾・胸当)
巨理石見所用 江戸時代中～後期 1組 大山勝義氏寄贈
 13. 赤羅紗地松喰鶴紋陣羽織 江戸後期 1領 個人蔵
- ※No.4～7は1/29～3/17展示、No.12は1/29～3/3展示、
No.13は3/5～3/24展示

テーマ展示室Ⅱ

国宝「慶長遣欧使節関係資料」など 2018.3.31～5/27

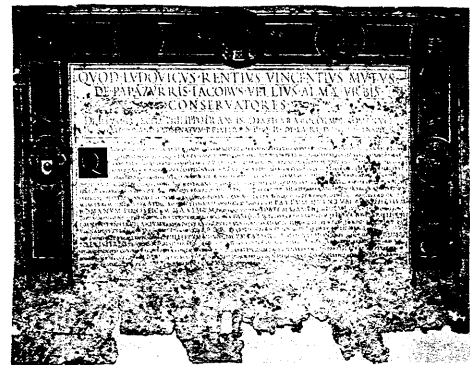
1. 支倉常長像(1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵



1. 支倉常長像(高田力蔵氏模写)

2. 支倉家家譜書出 支倉右伸筆 安永2年 1帖
支倉哲男氏寄贈
3. 仙台藩奉行知行割目録 支倉六右衛門宛 慶長13年
1面 支倉家資料
4. 伊達政宗書状(茂庭石見宛) 慶長17～18年頃 1幅 館蔵
5. 坤輿万国全図 江戸後期 6冊1隻 個人蔵
6. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵

7. セベリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
8. ローマ市街図 16C木刊 1面 館蔵
9. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
10. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
11. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616～17年頃
1枚 館蔵
12. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年頃 1枚 館蔵
13. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
14. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
15. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛 原本は元和4年
1幅 館蔵
16. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
17. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
18. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
19. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
20. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
21. 国宝 ロザリオ17C 5連 館蔵
22. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
23. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
24. 国宝 ディスチブリナ 17C 1口 館蔵
25. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
26. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
27. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
28. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書
支倉六右衛門宛 1615年11月20日 1面 館蔵



28. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書

29. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウル五世像
1615年頃 1面 館蔵
30. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃
1面 館蔵
31. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
32. 国宝 鏡 17C 1双・1隻 館蔵
33. 国宝 マント及びズボン 17C 2点1具 館蔵
34. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵

国宝「慶長遣欧使節関係資料」など 5/29~7/8

1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
4. ローマ市街図 16C木刊 1面 館蔵
5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
7. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616~17年頃
1枚 館蔵
8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
11. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛 原本は元和4年
1幅 館蔵
12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃
1面 館蔵
20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書(複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

国宝「慶長遣欧使節関係資料」など 12/18~2019.3/24

1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
4. ローマ市街図 16C木刊 1面 館蔵
5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
7. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616~17年頃
1枚 館蔵
8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵

10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
11. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛 原本は元和4年
1幅 館蔵
12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像
1615年頃 1面 館蔵
20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書(複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

コレクション展示室I

やきもの

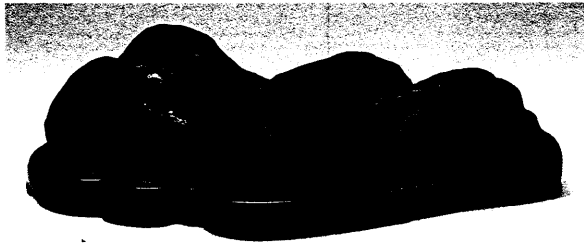
「堤焼と切込焼」 2018.3/31~6/17

1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 19C 1口
伊澤家C
2. 松に唐子図徳利 切込焼 1口 鈴木孚氏寄贈
3. 染付網手花卉文らっきょう徳利 切込焼 1点 館蔵
4. 染付唐子寿老人文徳利 切込焼 1点 古賀C
5. 播鉢 堤焼 1点 菅野邦男氏寄贈
6. 切立 堤焼 1点 館蔵
7. 小壺 堤焼 1点 館蔵
8. 染付柘榴文湯呑茶碗 切込焼 銘「天保六年十月吉日
仙台加美郡宮崎村之内切籠ニ而湯倉ヨリ出ル石ヲ以
製之」底銘「湯倉製」「英長画」 1点 個人蔵
9. 瑠璃釉御神酒徳利 切込焼 1対 館蔵
10. 白磁灯籠形灯具 切込焼 1口 鈴木孚氏寄贈
11. 染付葡萄文コップ 大正切込焼 底銘「岩窯 宮崎
陸前 ジャパン」 1点 古賀C
12. 染付蜻蛉花唐草文碗 底銘「岩窯」 大正切込焼 1点
三原C
13. 染付ふくら雀手塩皿 切込焼 5口 古賀C
14. 染付松に蛸唐草文長皿 切込焼 1点 古賀C
15. 染付松文徳利 切込焼 1点 古賀C
16. 染付蓋物 切込焼 銘「御役所持用 安政七年」他
1点 古賀C
17. ひょうそく 堤焼 1点 館蔵
18. 小壺 堤焼 1点 館蔵
19. 三鳥手茶碗 堤焼 銘「乾馬」「八九翁」 1口 館蔵
20. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
21. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵

- 22. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 23. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 24. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 25. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵
- 26. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵

「盆石と朝鮮の陶磁器」 6/19~9/2

- 1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 19C 1口 伊澤C
- 2. 盆石「鎌倉」 石底墨書「鎌倉盆石」(享保10年)献上 1点 伊文



2. 盆石「鎌倉」

- 3. 盆石「筑波根」 石底貼紙「青石(か□拾九號)」 「祝ヶ崎石 盆石八」 1点 伊文
- 4. 盆石 青石「祝ヶ崎石」 石底貼紙「青石(か□拾九號)」 「祝ヶ崎石 盆石八」 1点 伊文
- 5. 盆石「こけむし路」 石底朱漆銘「こけむし路」 1点 伊文
- 6. 盆石「岩の蔭道」 石底金蒔絵銘「岩のかけ道」 1点 伊文
- 7. 盆石「名取川石」 石底貼紙墨書「名取川石」 1点 伊文
- 8. 盆石「えぼし石」 石底金蒔絵銘「えぼし石」 1点 伊文
- 9. 盆石「壺の石ぶみ」 石底朱漆銘「壺乃石ぶみ」 1点 伊文
- 10. 盆石「かつらき山」 石底金蒔絵銘「かつらき山」 1点 伊文
- 11. 重要美術品 青磁平茶碗 銘「常盤」 朝鮮 1口 有井C
- 12. 平茶碗 銘「清風」 朝鮮 李朝(16C頃) 1口 ゴトウC
- 13. 刷毛目三鳥茶碗 朝鮮 1口 有井C
- 14. 粉引茶碗 朝鮮 李朝(15C~19C) 1口 有井C
- 15. 青井戸茶碗 銘「深山路」 朝鮮 李朝(16C~18C) 1口 有井C
- 16. 御本茶碗 朝鮮 李朝(17C後半~18C) 1口 伊澤C
- 17. 茶碗 銘「弦月」 朝鮮 李朝(17C) 1口 ゴトウC
- 18. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 19. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 20. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 21. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 22. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 23. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵
- 24. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵

「江戸時代の蒔絵—風景と物語—」、「埋木細工と漆手板」 9/4~11/25

- 1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 19C 1口 伊澤C
- 2. 桜に流水蒔絵筆筭箱 文化13年 1合 館蔵
- 3. 近江八景蒔絵基筒 江戸後期 1対 伊文
- 4. 能管 銘「鬼一文字」 江戸中期 1管 館蔵
- 5. 円窓繫春日野蒔絵見台 江戸後期 1基 館蔵
- 6. 住吉蒔絵歌書筆筒 江戸中期 1基 伊文
- 7. 埋木細工 葉形銘々皿 黒川古右衛門作 昭和 5枚 仙台埋木細工同業会寄贈
- 8. 埋木細工 千鳥形菓子鉢 小竹健勇作 昭和 1枚 仙台埋木細工同業会寄贈
- 9. 埋木細工 鳳凰置物・置物台 小竹彰作 昭和 1枚 仙台埋木細工同業会寄贈
- 10. 埋木細工 菱形茶托 石垣博作 昭和 5枚 仙台埋木細工同業会寄贈
- 11. 埋木細工 鹿角形ネクタイ掛 小竹彰作 昭和 1点 仙台埋木細工同業会寄贈
- 12. 漆手板 唐塗(青森) 産業工芸試験所製作 昭和30年 1点 館蔵
- 13. 漆手板 秀衡塗(岩手) 産業工芸試験所製作 昭和30年 1点 館蔵
- 14. 漆手板 龍文塗(宮城)、川連沈金(秋田) 産業工芸試験所製作 昭和30年 1点 館蔵
- 15. 漆手板 蝶細(奈良) 産業工芸試験所製作 昭和30年 1点 館蔵
- 16. 漆手板 琉球塗(宮崎) 産業工芸試験所製作 昭和30年 1点 館蔵
- 17. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 18. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 19. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 20. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 21. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
- 22. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵
- 23. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵

「伊万里焼・そば猪口コレクション(西川瑞國コレクション)」 11/27~2019.3/3

- 1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 19C 1口 伊澤C
- 2. 染付団龍菊流水文角皿 伊万里(有田) 底銘 「大明成化年製」 17~18C 5口 伊文
- 3. 白磁桜花形向付 伊万里(有田) 18C 8口 伊文
- 4. 染錦花鳥文広口大瓶 伊万里 17~18C 2口1組 伊澤C
- 5. 染錦唐花鳳凰文輪花鉢 伊万里(有田) 「大明萬曆年製」 17~18C 1口 伊澤C
- 6. 青磁染付草花文輪花鉢 伊万里(文字印あり) 18~19C 1口 伊澤C

7. 染付草文猪口 伊万里 「福」 18C前~中 1口 西川瑞國C
8. 染付竹に梅文猪口 伊万里 「大明年製」カ 18C前~中 1口 西川瑞國C
9. 染付草花文猪口 伊万里 「福」 18C中頃 1口 西川瑞國C
10. 染付薄文猪口 伊万里 「福」 18C 1口 西川瑞國C
11. 染付松竹草花文猪口 伊万里 「大明化」 18C中頃~後半 1口 西川瑞國C
12. 染付片輪車文輪花猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
13. 染付菊文猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
14. 染付流水に菖蒲文猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
15. 染付草文猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
16. 染付蛸唐草文猪口 伊万里 18C後半 3口 西川瑞國C
17. 染付水辺に沢瀉文猪口 伊万里 18C後半カ 1口 西川瑞國C
18. 染付若松文猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
19. 染付花鳥文猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
20. 染付竹梅文猪口 伊万里 18C後半カ 1口 西川瑞國C
21. 染付樹木文猪口 伊万里 18C後半~19C初 1口 西川瑞國C
22. 染付葡萄虫文(蔦)猪口 伊万里 18C後半~19C初 1口 西川瑞國C
23. 染付樓閣岩波水文猪口 伊万里 18C後半~19C初 1口 西川瑞國C
24. 染付竹林人物文猪口 伊万里 18C末~19C前 1口 西川瑞國C
25. 染付花唐草文猪口 会津・蚕養窯 19C前~中 1口 西川瑞國C
26. 染付草花文猪口 伊万里 釉 19C前半カ 1口 西川瑞國C
27. 染付樓閣岩波水文猪口 伊万里 19C前半 4口 西川瑞國C
28. 染付矢羽文猪口 伊万里 18C後半~19C初 1口 西川瑞國C
29. 染付矢羽に桜文猪口 瀬戸美濃 (銅版転写) 19C後半 1口 西川瑞國C
30. 染付桜に山形文猪口 瀬戸美濃 (型紙刷) 19C後半 1口 西川瑞國C
31. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
32. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
33. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
34. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
35. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
36. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
37. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵

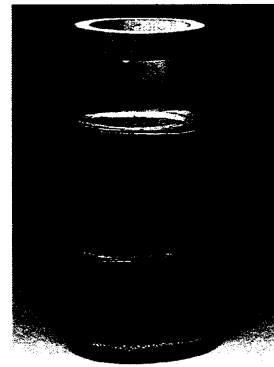
茶道具

2018.3/31~6/17

1. 竹一重切花入 伊達吉村 (1680~1751) 作 江戸後期 1口 ゴトウC
2. 山水人物凶水牛蓋置 江戸 1口 伊文
3. 染付臥牛香合 青木木米作 京焼 江戸中期 1合 伊文
4. 赤楽茶碗 銘「唐人」 川上太白 江戸中期 1口 有井C

6/19~9/2

1. 竹一重切花入 銘「鈴鹿山」 伝伊達綱村作 江戸前期 1口 半田道子氏寄贈



1. 竹一重切花入

2. 割木瓜形水指 備前焼 銘「パン(大日如来) 応永三年七月日施主承慶入道」 応永3年カ 1合 館蔵
3. 象嵌青磁石榴雲文平茶碗 朝鮮 高麗 (12~13C) 1口 有井C

9/4~11/25

1. 竹花入 銘「達磨」 清水道看作 佐久間立德画 安政2年以前作 1点 島田平八氏寄贈
2. 迫焼茶入 銘「多留満」 伊達慶邦銘 江戸後期 1点 伊文
3. 月に萩文黒楽茶碗 三浦乾也 刻銘「乾也」 幕末~明治 1口 新井III C

11/27~2019.3/3

1. 色絵注連縄文碗 粟田焼 「宝山」 江戸後期 2口 伊文
2. 孔雀座帯 江戸 1点 館蔵
3. 七草鳴鶴図蒔絵茶箱 銘「太郎月」「松立齋」 江戸後期 1合 館蔵

古人形

「三春人形と堤人形」2018.3/31~6/17

1. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 足立孔C
2. 堤人形 敦盛 江戸後期 1点 足立孔C
3. 堤人形 騎者 江戸後期 1点 足立孔C
4. 堤人形 安徳天皇 江戸後期 1点 足立孔C
5. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 館蔵

6. 堤人形	山姥と金太郎	江戸後期	1点	館蔵
7. 堤人形	坐美人	江戸後期	1点	本出C
8. 堤人形	花車	江戸後期	1点	本出C
9. 堤人形	石橋	江戸後期	1点	本出C
10. 堤人形	武将	江戸後期	1点	本出C
11. 堤人形	安徳天皇	江戸後期	1点	本出C
12. 堤人形	茶摘み	江戸後期	1点	本出C
13. 堤人形	傘持ち	江戸後期	1点	本出C
14. 堤人形	衣通姫	江戸後期	1点	本出C
15. 三春人形	羯鼓	江戸後期	1点	本出C
16. 三春人形	踊り	江戸後期	1点	本出C
17. 三春人形	神功皇后と竹内宿禰	江戸後期	1点	本出C
18. 三春人形	藤娘	江戸後期	1点	本出C
19. 三春人形	巴御前	江戸後期	1点	本出C
20. 三春人形	武将	江戸後期	1点	本出C
21. 三春人形	熊乗り金太郎	江戸後期	1点	本出C
22. 三春人形	鯛乗り金太郎	江戸後期	1点	本出C
23. 三春人形	金太郎と太鼓	江戸後期	1点	本出C
24. 三春人形	大名行列	江戸後期	1点	本出C
25. 三春人形	大名行列	江戸後期	1点	本出C
26. 三春人形	騎馬武者	江戸後期	1点	本出C

「花巻人形と堤人形」6/19~9/2

1. 堤人形	佐佐木高綱	江戸後期	1点	足立孔C
2. 堤人形	坐美人	江戸後期	1点	足立孔C
3. 堤人形	三味線弾き	江戸後期	1点	足立孔C
4. 堤人形	花車	江戸後期	1点	館蔵
5. 堤人形	猫ひき花魁	江戸後期	1点	館蔵
6. 堤人形	敦盛	江戸後期	1点	本出C
7. 堤人形	犬と子供	江戸後期	1点	本出C
8. 堤人形	太鼓打ち	江戸後期	1点	本出C
9. 堤人形	犬ひき花魁	江戸後期	1点	本出C
10. 堤人形	二人新内	江戸後期	1点	本出C
11. 堤人形	子抱き	江戸後期	1点	本出C
12. 堤人形	猫抱き花魁	江戸後期	1点	本出C
13. 花巻人形	神宮皇后	江戸後期	1点	足立孔C
14. 花巻人形	応神天皇	江戸後期	1点	足立孔C
15. 花巻人形	巴御前	江戸後期	1点	足立孔C
16. 花巻人形	いづめこ	江戸後期	1点	足立孔C
17. 花巻人形	亀と童子	江戸後期	1点	足立孔C
18. 花巻人形	太鼓打ち	江戸後期	1点	足立孔C
19. 花巻人形	母と子	江戸後期	1点	足立孔C
20. 花巻人形	熊谷直実	江戸後期	1点	館蔵
21. 花巻人形	花車	江戸後期	1点	本出C
22. 花巻人形	鯛車	江戸後期	1点	本出C
23. 花巻人形	衝立美人	江戸後期	1点	本出C
24. 花巻人形	三味線	江戸後期	1点	本出C
25. 花巻人形	髪結	江戸後期	1点	本出C

「芝居と東北の古人形」9/4~11/25

1. 相良人形	釣鐘	江戸後期	1点	足立孔C
2. 相良人形	狐忠信	江戸後期	1点	足立孔C
3. 相良人形	静御前	江戸後期	1点	館蔵
4. 相良人形	勘平	江戸後期	1点	本出C
5. 堤人形	狐忠信	江戸後期	1点	足立孔C
6. 堤人形	和藤内	江戸後期	1点	足立孔C
7. 堤人形	敦盛	江戸後期	1点	足立孔C
8. 堤人形	三番叟	江戸後期	1点	館蔵
9. 堤人形	油坊主	江戸後期	1点	本出C
10. 堤人形	石橋	江戸後期	1点	本出C
11. 堤人形	弁慶	江戸後期	1点	本出C
12. 堤人形	鯉つかみ	江戸後期	1点	本出C
13. 堤人形	安徳天皇	江戸後期	1点	本出C
14. 堤人形	政岡	江戸後期	1点	本出C
15. 堤人形	和藤内	江戸後期	1点	本出C
16. 堤人形	鯉つかみ	江戸後期	1点	個人蔵
17. 三春人形	春駒	江戸後期	1点	足立孔C
18. 三春人形	三番叟	江戸後期	1点	本出C
19. 三春人形	道成寺	江戸後期	1点	本出C
20. 三春人形	義経	江戸後期	1点	本出C
21. 三春人形	和藤内	江戸後期	1点	本出C
22. 三春人形	弁慶	江戸後期	1点	本出C
23. 花巻人形	敦盛	江戸後期	1点	足立孔C
24. 花巻人形	熊谷直実	江戸後期	1点	足立孔C
25. 花巻人形	斧定九郎	江戸後期	1点	本出C
26. 花巻人形	大黒由良之助	江戸後期	1点	本出C
27. 花巻人形	義経	江戸後期	1点	本出C
28. 花巻人形	汐汲み	江戸後期	1点	本出C
29. 花巻人形	和藤内	江戸後期	1点	本出C
30. 浮世絵	歌舞伎座所作事 道成寺	明治23年	3枚続	大宮司C
31. 浮世絵	錦祥女〔岩井半四郎〕・和藤内母〔中村翫雀〕・和藤内〔河原崎三升〕・関喜〔市川左団次〕	明治5年	3枚続	大宮司C
32. 浮世絵	大石蔵之助〔坂東彦三郎〕・寺坂吉右衛門〔中村芝翫〕・一力屋おかる〔尾上菊五郎〕・斧ノ定九郎〔市川左団次〕	明治8年	3枚続	大宮司C
33. 浮世絵	小萩実ハ敦盛〔中村福助〕・熊谷直実〔片岡我童〕・婦輪平次〔中村芝翫〕	明治19年	3枚続	大宮司C
34. 浮世絵	歌舞伎十八番之内 勸進帳	明治23年	3枚続	大宮司C
35. 浮世絵	源義経〔市川團十郎〕・静御前〔岩井半四郎〕・狐忠信〔尾上菊五郎〕	明治14年	3枚続	大宮司C

「年中行事と東北の古人形」11/27~2019.3/3

1. 相良人形	恵比寿・大黒 鯛かつぎ	江戸後期	1点	館蔵
2. 相良人形	恵比寿 鯛釣り	江戸後期	1点	足立孔C
3. 相良人形	大黒 俵かつぎ	江戸後期	1点	足立孔C
4. 堤人形	恵比寿・大黒 鯛つり	江戸後期	1点	館蔵

5. 堤人形 恵比寿 江戸後期 1点 本出C
 6. 堤人形 大黒 江戸後期 1点 本出C
 7. 堤人形 大黒と二股大根 江戸後期 1点 足立孔C
 8. 三春人形 大黒 江戸後期 1点 本出C
 9. 三春人形 恵比寿 江戸後期 1点 本出C
 10. 花巻人形 大黒 江戸後期 1点 本出C
 11. 花巻人形 布袋 江戸後期 1点 本出C
 12. 相良人形 天神 江戸後期 1点 足立孔C
 13. 相良人形 牛乗り天神 江戸後期 1点 足立孔C
 14. 相良人形 獅子舞 江戸後期 1点 足立孔C
 15. 堤人形 天神 江戸後期 1点 館蔵
 16. 堤人形 重ね餅 江戸後期 1点 館蔵
 17. 堤人形 羽子板 江戸後期 1点 館蔵
 18. 堤人形 達磨と子供 江戸後期 1点 館蔵
 19. 堤人形 堂内天神 江戸後期 1点 館蔵
 20. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点 本出C
 21. 堤人形 猪 江戸後期 1点 本出C
 22. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点 足立孔C
 23. 堤人形 達磨持ちお福 江戸後期 1点 足立孔C
 24. 三春人形 牛乗り天神 江戸後期 1点 本出C
 25. 三春人形 天神 江戸後期 1点 本出C
 26. 三春人形 獅子舞 江戸後期 1点 本出C
 27. 花巻人形 天神 江戸後期 1点 館蔵
 28. 花巻人形 天神 江戸後期 1点 館蔵
 29. 花巻人形 重ね餅 江戸後期 1点 本出C
 30. 花巻人形 獅子舞 江戸後期 1点 本出C
 31. 相良人形 雛 江戸後期 1点 館蔵
 32. 相良人形 雛 江戸後期 1点 館蔵
 33. 相良人形 地謡 江戸後期 1点 館蔵
 34. 相良人形 小鼓 江戸後期 1点 館蔵
 35. 堤人形 雛 男雛 江戸後期 1点 足立孔C
 36. 堤人形 雛 女雛 江戸後期 1点 足立孔C
 37. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 足立孔C
 38. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 足立孔C
 39. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 足立孔C
 40. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 足立孔C
 41. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 足立孔C
 42. 三春人形 雛 江戸後期 1点 本出C
 43. 三春人形 雛 江戸後期 1点 本出C
 44. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 本出C
 45. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 本出C
 46. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 本出C
 47. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 本出C
 48. 三春人形 五人囃子 小鼓 江戸後期 1点 本出C
 49. 花巻人形 小鼓 江戸後期 1点 館蔵
 50. 花巻人形 五人囃子 江戸後期 1点 館蔵
 51. 花巻人形 雛 江戸後期 1点 本出C
 52. 花巻人形 雛 江戸後期 1点 本出C

※No.2～11は11/27～2/3展示、No.31～52は2/5～3/3展示

※2019.2/19～3/3まで展示室調整のため閉室

コレクション展示室Ⅱ

「2018春 所蔵品による仙台・宮城の伝統工芸（企画展関連展示）」2018.3/31～7/8

1. 埋木細工 鷹置物 昭和9年 1組 館蔵
 2. 染付瓢箪文辣蓼德利 切込焼 江戸～明治 1口 館蔵
 3. 切立 堤焼 江戸～明治 1口 館蔵
 4. 鉢 堤焼 江戸～明治 1口 館蔵
 5. 染付藤の丸に蛸唐草文長皿 切込焼 江戸～明治 1枚 占賀C
 6. 染付藤の丸に丸文長皿 切込焼 江戸～明治 1枚 占賀C
 7. 漆手板 玉虫塗 昭和 2面 館蔵
 8. 埋木細工 花入 大正～昭和 1点 安斎博雄氏寄贈
 9. 埋木細工 手塩皿 天保15年 5枚 館蔵
 10. 堤人形 天神 江戸後期 1体 本出C
 11. 堤人形 政岡 江戸後期 1体 本出C
 12. 木下駒 江戸 2個 三原C
 13. 仙台ガラス 筭 江戸 5本 梅津幸次郎氏寄贈
 14. 紙布織裂地 昭和 1反 遠藤まし子氏寄贈
 15. 書「和」白石和紙 書 多山等観 筆・和紙 遠藤忠雄 作 大正～昭和 1枚 遠藤まし子氏寄贈
 16. 正藍染型染裂地 千葉あやの作 昭和 1反 島野志津子氏寄贈
 17. 八橋織 袱紗昭和 1枚 (財)精好仙台平保存会寄贈
 18. 常盤紺形 型紙 最上染工場使用 1枚 最上清次郎氏寄贈
 19. 染見本 常盤紺形 最上染工場 昭和 1反 (財)精好仙台平保存会寄贈
 20. 精好仙台平 袴地 銘「弥生」甲田榮佑作 昭和 1反 (財)精好仙台平保存会寄贈
 21. 精好仙台平 袴 銘「龍雲」甲田榮佑作 昭和 1反 (財)精好仙台平保存会寄贈
 22. 書「無」白石和紙 書 多田等観 筆・和紙 遠藤忠雄 作 大正～昭和 1枚 遠藤まし子氏寄贈
 23. 紙布織申大上着 近代 1反 遠藤まし子氏寄贈
 24. 正藍染型染裂地 千葉よしの作 昭和 1反 千葉よしの氏寄贈
 25. 八橋織 三角布団 昭和 1枚 (財)精好仙台平保存会寄贈
 26. 染見本 常盤紺形 最上染工場 昭和 1反 (財)精好仙台平保存会寄贈
 27. 精好仙台平 袴地 銘「宝寿」甲田榮佑作 昭和 1反 (財)精好仙台平保存会寄贈
 28. 精好仙台平 紗地袴 甲田榮佑作 昭和 1反 (財)精好仙台平保存会寄贈

※No.14～17、19～21は3/31～5/27展示、No.22～28は5/29～7/8展示

「遠藤口人の絵画特集」 12/18~2019.3/3

1. 蛙相撲図 遠藤口人 天保4年 館蔵



1. 蛙相撲図(部分)

2. 松下相撲図 遠藤口人 江戸後期 伊澤慶治氏寄贈
 3. 相撲取図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 4. 松尾芭蕉図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 5. 六俳仙図 遠藤口人 文政10年 館蔵
 6. 惟然図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 7. ほんぼこ祭図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 8. 花見戻り図 遠藤口人 文政10年 館蔵
 9. 宴舞図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 10. 鶴図 遠藤口人 天保3年 館蔵
 11. 十夜説教図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 12. 山水図 遠藤口人 江戸後期 館蔵
 13. 松島舟中図 遠藤口人 江戸後期 館蔵

浮世絵

「歌川国芳特集」 2018.3/31~6/10

1. 右大将頼朝公裾野牧狩勢揃図 歌川国芳 天保期 大宮司C
 大判3枚続
 2. 岩井半四郎のけわい坂の少将・坂東三津五郎の小林の朝日奈・沢村訥弁の五郎時宗 歌川国芳 天保期 大宮司C
 大判3枚続
 3. 濱名宗清・桂木・氏尚・紅梅 歌川国芳 嘉永期 大宮司C
 大判3枚続
 4. 陸奥国千鳥のたま河 歌川国芳 嘉永期 大判3枚続 大宮司C
 5. 隅田川花見 歌川国芳 嘉永期 大判3枚続 和泉C
 6. 幼童席書会 歌川国芳 未詳 大判3枚続 大宮司C
 7. 源氏雲浮世画合 朝顔 歌川国芳 弘化期 大判1枚 大宮司C
 8. 源氏雲浮世画合 梅枝 歌川国芳 弘化期 大判1枚 大宮司C
 9. 源氏雲浮世画合 藤裏葉 歌川国芳 弘化期 大判1枚 大宮司C
 10. 源氏雲浮世画合 若菜上 歌川国芳 弘化期 大判1枚 大宮司C

11. 源氏雲浮世画合 柏木 歌川国芳 弘化期 大判1枚 大宮司C
 12. 源氏雲浮世画合 横笛 歌川国芳 弘化期 大判1枚 大宮司C
 13. 鐘馗散 邪鬼に即功 歌川国芳 安政5年 大判2枚続 大宮司C
 14. 妙でんす十六利勘 九 朝寝者損者 歌川国芳 弘化期 阿部次郎C
 大判1枚
 15. 妙でんす十六利勘 十一 煩惱損者 歌川国芳 弘化期 大宮司C
 大判1枚
 16. 妙でんす十六利勘 十三 短気者損者 歌川国芳 弘化期 阿部次郎C
 大判1枚
 17. 白色面相 いのこり他 歌川国芳 天保期 横大判1枚 阿部次郎C
 18. 白色面相 めかつかひ他 歌川国芳 天保期 横大判1枚 阿部次郎C
 19. 荷宝蔵壁のむだ書 歌川国芳 嘉永元年頃 大判1枚 和泉C
 20. 八代日市川團十郎の男之助ほか 歌川国芳 未詳 阿部次郎C
 大判1枚
 21. 七ついろは東都富士尽に盗賊児雷也 大橋の不二 歌川国芳 嘉永5年 大判1枚 大宮司C
 22. 狂画水滸伝豪傑 一百八人 十番続之内 歌川国芳 文政10年頃 大判1枚 大宮司C

「お化け・妖怪特集」 6/12~9/9

1. 民谷伊右衛門〔片岡仁左衛門〕・お岩小平亡霊二役〔坂東彦三郎〕 歌川豊国Ⅲ画 文久元年 大判2枚続 阿部次郎C
 2. 浅倉当吾の霊・織越大領〔仁左衛門〕 歌川豊国Ⅲ画 嘉永期 大判3枚続 館蔵
 3. 安達多九郎・小平次亡霊・小平次女房お塚 歌川豊国Ⅲ画 安政6年 大判3枚続 大宮司C
 4. 獵師綱藏〔坂東彦三郎〕・腰元おつるろくろ首〔尾上多見藏〕・二役新田梅次郎〔尾上多見藏〕 歌川国貞〔豊国Ⅲ〕画 天保12年 大判3枚続 大宮司C
 5. 東海道五十三駅の内岡崎ハツ橋村十六夜〔坂東三郎〕・薄雲太夫〔尾上菊五郎〕・稲葉の介〔市村羽左衛門〕 歌川国貞〔豊国Ⅲ〕画 天保6年 大判3枚続 大宮司C
 6. 安倍泰成調伏妖怪図 歌川豊国Ⅲ画 弘化期 大判3枚続 大宮司C
 7. 局政岡〔坂東彦三郎〕・松ヶ枝的之助〔片岡仁左衛門〕・仁木弾正〔坂東彦三郎〕 歌川豊国Ⅲ画 文久元年 大判3枚続 館蔵
 8. 児雷也・田舎娘お綱 歌川豊国Ⅲ画 嘉永5年 大判2枚続 館蔵
 9. 児雷也・仙素道人・怪力お綱 歌川豊国Ⅲ画 嘉永5年 大判3枚続 大宮司C
 10. 白縫大尽実ハ若那姫・花野村の千種実ハ鳥山秋作 歌川豊国Ⅲ画 嘉永期 大判2枚続 大宮司C

11. 豊国揮毫奇術競 白菊丸 歌川豊国Ⅲ画 元治元年
大判1枚 館蔵
12. 豊国揮毫奇術競 將軍太郎良門 歌川豊国Ⅲ画 文久2年
大判1枚 館蔵
13. 木曾街道六十九次之内 追分 おいわ・宅悦
歌川国芳画 嘉永5年 大判1枚 大宮司C
14. 木曾街道六十九次之内 細久手 堀越大領 歌川国芳画
嘉永5年 大判1枚 大宮司C
15. 月百姿 源氏夕顔巻 月岡芳年画 明治19年 大判1枚
阿部次郎C
16. 新形三十六怪撰 地獄太夫悟道の図 月岡芳年画
明治23年 大判1枚 和泉C
17. 源義経 平知盛ノ笠ニ逢凶 歌川国芳画 嘉永期
大判3枚続 大宮司C
18. 和漢百物語 伊賀局と藤原仲成霊 月岡芳年画
慶応元年 大判1枚 大宮司C
19. 木曾街道六十九次之内 大久手 一ツ家老婆
歌川国芳画 嘉永5年 大判1枚 和泉C
20. 大江山酒呑童子 歌川国芳画 安政5年 大判3枚続
大宮司C
21. 新形三十六怪撰 老婆 鬼腕を持去之図 月岡芳年画
明治22年 大判1枚 大宮司C
22. 源頼光公館上御作妖怪図 歌川国芳画 天保14年
大判3枚続 大宮司C
23. 讃岐院谷扇をして為朝をすくふ図 歌川国芳画 嘉永期
大判3枚続 大宮司C
24. こんこんちき 野中の戯 月岡芳年画 文久元年
大判1枚 大宮司C

「月岡芳年特集」 9/11~12/16

1. 英名二十八衆句 由留木素玄 月岡芳年画 慶応3年
大判1枚 大宮司C
2. 英名二十八衆句 遠城喜八郎 月岡芳年画 慶応3年
大判1枚 大宮司C
3. 魁題百撰相 駒木根八兵衛 月岡芳年画 明治元年
大判1枚 大宮司C
4. 魁題百撰相 伊達少将政宗 月岡芳年画 明治元年
大判1枚 ゴトウC
5. 魁題百撰相 明智左馬之介 月岡芳年画 明治元年
大判1枚 大宮司C
6. 魁題百撰相 外記孫八 月岡芳年画 明治元年
大判1枚 大宮司C
7. 大日本名将鑑 武蔵坊弁慶・源義経 月岡芳年画
明治11年 大判1枚 大宮司C
8. 大日本名将鑑 狭穂姫・上毛野八綱田 月岡芳年画
明治13年 大判1枚 大宮司C
9. 月百姿 武田信玄 月岡芳年画 明治19年 大判1枚
阿部次郎C
10. 月百姿 卒都婆の月 月岡芳年画 明治19年 大判1枚
阿部次郎C

11. 月百姿 しばるまのの暁月 月岡芳年画 明治19年
大判1枚 阿部次郎C
12. 月百姿 有子 月岡芳年画 明治19年 大判1枚 大宮司C
13. 風俗三十二相 あったかっさう 寛政年間町家後家の風俗
月岡芳年画 明治21年 大判1枚 阿部次郎C
14. 風俗三十二相 あつさう 文政年間内室の風俗
月岡芳年画 明治21年 大判1枚 阿部次郎C
15. 風俗三十二相 みたさう 天保年間御小性の風俗
月岡芳年画 明治21年 大判1枚 阿部次郎C
16. 風俗三十二相 おもたさう 天保年間深川かたこの風ぞく
月岡芳年画 明治21年 大判1枚 阿部次郎C
17. 風俗三十二相 むまさう 嘉永年間女郎の風俗
月岡芳年画 明治21年 大判1枚 阿部次郎C
18. 風俗三十二相 かわゆらしさう 明治十年以来内室の風俗
月岡芳年画 明治21年 大判1枚 館蔵
19. 新撰東錦絵 武蔵塚原試合図 月岡芳年画 明治18年
大判2枚続 大宮司C
20. 新撰東錦絵 大久保彦左衛門登城之図 月岡芳年画
明治19年 大判2枚続 大宮司C
21. 新撰東錦絵 太山道灌初テ歌道ニ志ス図 月岡芳年画
明治20年 大判2枚続 大宮司C
22. 皇月の雨(彰義隊と官軍の戦い) 月岡芳年画 明治5年
大判3枚続 大宮司C
23. 鹿児島暴徒 高橋井川尻戦争の図 月岡芳年画
明治10年 大判3枚続 尚文館C
24. 野津大佐連隊旗を奪取す 月岡芳年画 明治10年
大判3枚続 尚文館C

「豊原国周特集」 12/18~2019.3/10

1. のぼり鯉の瀧〔河原崎権十郎〕 豊原国周画 慶応元年
大判1枚 阿部次郎C
2. 雲龍の松〔大谷友右衛門〕 豊原国周画 慶応元年
大判1枚 阿部次郎C
3. 金毛の菊〔市村家橘〕 豊原国周画 慶応元年 大判1枚
阿部次郎C
4. 海老ぎこの三〔市川九蔵〕 豊原国周画 慶応元年
大判1枚 阿部次郎C
5. 蝶千鳥十番切 曾我五郎時致〔河原崎権十郎〕
豊原国周画 明治元年 大判1枚 阿部次郎C
6. 蝶千鳥十番切 曾我十郎祐成〔沢村訥升〕 豊原国周画
明治元年 大判1枚 阿部次郎C
7. 五節俳優揃 一 まむしの次郎吉〔尾上菊五郎〕
豊原国周画 (明治15年) 大判1枚 大宮司C
8. 五節俳優揃 二 牛若伝次〔助高屋高助〕 豊原国周画
(明治15年) 大判1枚 大宮司C
9. 異種薔薇犯妻会 当ル卯の夏 宗十郎 雲霧お辰
豊原国周画 明治12年 大判1枚 林信夫C
10. 異種薔薇犯妻会 当ル卯の夏 半四郎 写真お若
豊原国周画 明治12年 大判1枚 林信夫C

11. 敦盛〔沢村訥升〕 豊原国周画 明治2年 大判1枚
大宮司C
12. 戸隠〔河原崎三升〕 豊原国周画 明治2年 大判1枚
大宮司C
13. 矢の根五郎〔市川團十郎〕 豊原国周画 明治15年
大判3枚続 阿部次郎C
14. 甲原才兵衛実小川刑部友房〔市川右団次〕 豊原国周画
明治15年 大判3枚続 大宮司C
15. 当世高名鑑 上杉謙信〔市川團十郎〕・和田正行
〔中村芝翫〕 豊原国周画 明治15年 大判3枚続
阿部次郎C
16. 花揃三人見立 河原崎権十郎・沢村田之助・
市村羽左エ門〕 豊原国周画 元治元年 大判3枚続
大宮司C
17. 誠忠義士銘々伝 豊原国周画 慶応2年 大判3枚続
大宮司C
18. 猿人名古平〔市川小団次〕・雪枝小織之助〔市村家橘〕・
名古平女房お袖〔尾上菊二郎〕 豊原国周画 元治元年
大判3枚続 大宮司C
19. 東海道一ト眼千両 日本橋 左金吾頼兼 豊原国周画
慶応3年 大判1枚 林信夫C
20. 東海道一ト眼千両 川崎 雲霧仁左エ門 豊原国周画
慶応3年 大判1枚 林信夫C
21. 東海道一ト眼千両 神奈川 浦島太郎 豊原国周画
慶応3年 大判1枚 林信夫C
22. 東海道一ト眼千両 保ヶ谷 鮎亮千太郎 豊原国周画
慶応3年 大判1枚 林信夫C
23. 東海道一ト眼千両 沼津 貴瀬川亀鶴 豊原国周画
慶応3年 大判1枚 林信夫C
24. 東海道一ト眼千両 荒井 白糸 豊原国周画
慶応3年 大判1枚 林信夫C
25. 金時五郎宗氏・大蜘蛛実はいばらき童子・頼光左門之助
豊原国周画 慶応2年 大判1枚 大宮司C
26. 品川楼繁栄の図 豊原国周画 文久3年 大判1枚
大宮司C
27. 伊勢参宮大井川之図 豊原国周画 慶応3年 大判1枚
大宮司C
28. 善悪三拾六美人 浅岡の局 豊原国周画 明治9年
大判1枚 阿部次郎C
29. 善悪三拾六美人 玉藻前 豊原国周画 明治9年
大判1枚 阿部次郎C
30. 善悪三拾六美人 老女浅尾 豊原国周画 明治9年
大判1枚 阿部次郎C
31. 善悪三拾六美人 秘於菊 豊原国周画 明治9年
大判1枚 阿部次郎C
32. 善悪三拾六美人 地獄太夫 豊原国周画 明治9年
大判1枚 阿部次郎C
33. 開花人情鏡 十四 迎風 豊原国周画 明治11年
大判1枚 阿部次郎C

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに14館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅鏡 10面
山形県 月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
2. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
3. 重要文化財 太刀（銘備州長船住義光・建武四年十二月） 1口
宮城県 亀岡八幡宮蔵

企画展

宮城県民芸協会設立50周年記念

「日本民藝館所蔵品による
手仕事の日本—柳宗悦のまなざし—」

会 期 平成30年4月20日(金)～6月3日(日)

開催日数 40日間

観覧者数 20,692人(1日平均約517人)

観 覧 料 常設展料金 一般・大学460円(360円)、
高校230円(180円)、小・中学生110円
(90円)

※()は30名以上の団体料金。

主 催 「手仕事の日本」展実行委員会
(宮城県民芸協会・仙台市博物館)

特別協力 日本民藝館、日本民藝協会

後 援 河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞
仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞
仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、
仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、
TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、
KHB東日本放送、エフエム仙台、
ラジオ3 FM76.2

柳宗悦の民芸運動に賛同して設立された宮城県民芸協会の設立50周年を記念した本展では、柳が民芸の美に目覚めるきっかけとなった作品のほか、柳の著書『手仕事の日本』に掲載される日本各地の民芸品、芹沢銈介作「日本民藝地図」などを展示し、総数110件あまりの作品を紹介した。

東北地方の作品や『手仕事の日本』の小間絵を多めに展示するなどし、好評いただいた。また、若年層の来館も比較的多くあり、現代人の民芸に対する関心の高さも窺えた。

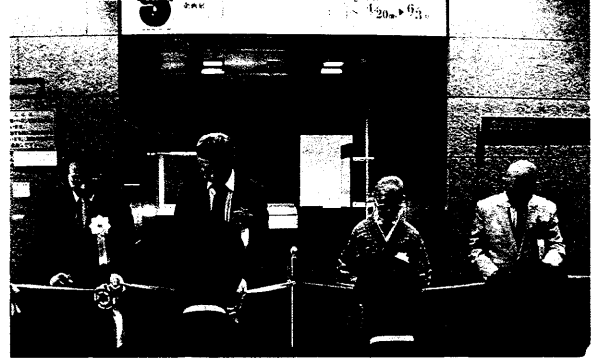
展示構成

第1章 柳宗悦と民芸

第2章 「手仕事の日本」

第3章 東北の民芸

第4章 北海道と沖縄への眼差し



開会式



展示風景



展示風景

印刷物

ポスター B 2判 1,300枚

チラシ A 4判 50,000枚

招待券 2,000枚



チラシ A 4判

関連行事

(1) 記念講演会

「柳宗悦の『手仕事の日本』をめぐって」

4月20日(金) 13:30~15:00

博物館ホール 参加133人

講師：杉山享司氏（日本民藝館 学芸部長）



記念講演会

(2) 記念講座

「柳宗悦と仙台の民芸」

5月19日(土) 13:30~14:30

博物館ホール 参加158人

講師：濱田淑子氏（宮城県民芸協会副会長）



記念講座

(3) 民芸の記録映像「手仕事の原風景」の上映 映像編集 マーティ・グロス氏（映画監督）



上映の様子

(4) ミュージアム・セミナー
4月22日(日) 10:00~11:30
参加28人（教員24人、ボランティア4人）

(5) 友の会広報セミナー
4月23日(月) 参加92人

(6) まちなか博物館講座
5月13日(日) 13:30~15:00
講師 寺澤慎吾（当館学芸員）
会場 東北工業大学一番町ロビー2階ホール
参加48人

(7) 各種団体・学校等への展示解説
3件（学校2件、その他団体1件）
参加41人

(8) プレイミュージアムイベント
「ミニ土人形に絵付けしよう」
参加751人（大人382人、子ども369人）

(9) その他 日本民藝協会主催イベント
日本民藝夏期学校
5月11日(金)~13日(日)
※博物館会場は5月11日(金)のみ
参加66人
13:10~14:00 講演会
会場：博物館ホール
講師：杉山享司氏
15:00~16:30
小鹿田焼実演、原始布・古代織
ギャラリートーク
会場：博物館ギャラリー

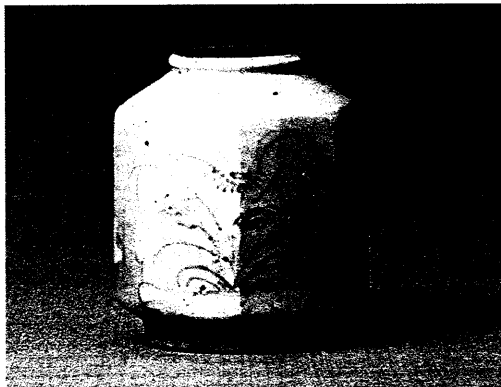
(10) その他 宮城県民芸協会主催イベント
「東北の手仕事のいま 暮らしの愛用品」
※同時開催 手仕事ワークショップ
会期：5月3日(木)~20日(日)
会場：博物館ギャラリー 参加2,319人
助成：公益財団法人仙台市民文化事業団

展示資料目録

所蔵は全て日本民藝館

第1章 柳宗悦と民芸

1. 染付秋草文面取壺 朝鮮半島 18C前半 1口



1. 染付秋草文面取壺

2. 鉄砂竹文壺 朝鮮半島 17C後半 1口
3. 刷毛目茶碗 琉球絃仕覆 仕立：浅川咲 朝鮮半島
15C後半～16C前半 1口
4. 紙繕卍文八角膳 朝鮮半島 19C 1基
5. 草虫図朝鮮半島、表装案：柳宗悦 19C 2幅
6. 地藏菩薩像 木喰明満 1801年 1軀
7. スリップウェア角皿 イギリス 18C後半～19C前半 1枚
8. ホウバック・アームチェア スプラットタイプ
(ウィンザーチェア) イギリス 19C 1脚
9. 染焼葡萄文蓋付壺 バーナード・リーチ作 1913年 1口
10. 鉛釉象嵌鉢 河井寛次郎作 1930年 1口
11. 色釉格子文土瓶・湯呑 濱田庄司作 1928年
1式(土瓶1、湯呑2)
12. 型染 山に草花文小襖(旧柳邸小襖) 芹沢銈介作 1935年
4面
13. 黄楊拭漆紙刀 黒山辰秋作 1930年頃 1本
14. 『朝鮮の美術』・『陶磁器の美』 柳宗悦著・装丁 私版本
1922年 2冊
15. 『木喰上人作 木彫佛』(甲種製本) 柳宗悦著・装丁
木喰五行研究会 1925年 1冊
16. 『キルヤム・ブレイク書誌』 寿岳文章 編、装丁：柳宗悦
ぐろりあそさえて刊 1929年 1冊
17. 『工藝の美』 柳宗悦著・装丁 私版本 表紙布：
外村吉之介作 1942年 1冊
18. 原稿「工藝の美」 柳宗悦著 1935年 1冊
19. 『妙好人 因幡の源左』(特製本)『妙好人 因幡の源左』
表紙草稿：鈴木繁男 柳宗悦著 大谷出版社 1950年
1冊

20. 染付皿下絵 小屋(軽井沢) バーナード・リーチ作、
表装案：柳宗悦 1919年 1幅
21. 茶韻十二月板画欄 基督 十二月 棟方志功作、
表装案：柳宗悦 1956年 1幅
22. 木々芽グム 時充子テ および表具案 柳宗悦書・表装案
1950年代 1幅
23. 日本民藝美術館設立趣意書 装丁：柳宗悦 1926年 1冊
24. 呉須鉄絵山水文石皿 愛知県(瀬戸) 19C 1枚
25. 赤十部釉灰被壺 兵庫県(丹波) 17C 1口
26. 鉄絵緑彩松文鉢 佐賀県(唐津・武雄) 17C 1口
27. 染付牡丹文蓋物 伊万里 19C 1合
28. 柿色地駒散し文様羽織 19C 1領
29. 菊に波兎文被衣 19C 1領
30. 丹波布夜具地 兵庫県(佐治地方) 19C 1枚
31. 螺鈿丸散し菓子箱 18C 1合
32. 筍籠 京都 19C 1個
33. 漆絵鶴丸文椀 岩手県(浄法寺) 18C 3点1組
34. 船筆筥 懸硯 19C 1棹
35. 大黒形自在掛 北陸地方 19C 1個
36. 燭台 19C 1台
37. 色替唐草文六角三段重 長崎 18C 1組
38. 絵馬 曳馬 東北地方 1683年 1枚



38. 絵馬 曳馬

39. 大津絵 女虚無僧 18C 1幅

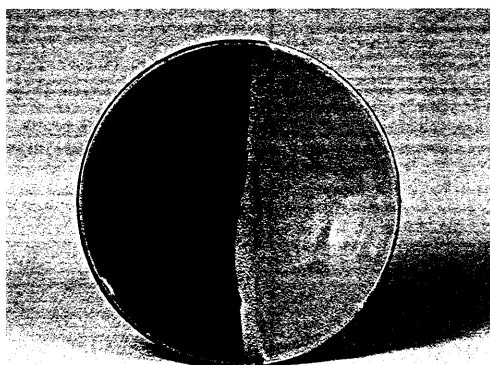
第2章 「手仕事の日本」

40. 日本民藝地図(現在之日本民藝) 芹沢銈介作 1941年
6曲1双、4曲1隻
41. 『手仕事の日本』 柳宗悦著 装丁：芹沢銈介 靖文社
1948年 1冊
42. 『手仕事の日本』 小間絵 芹沢銈介作 1945年
151点のうち
43. 漆絵牡丹文菓子櫃 岩手県(陸中盛岡) 1934年頃 1合
44. 羽広鉄瓶 山形県(羽前山形) 1934年頃 1口



44. 羽広鉄瓶

- 45. 椿文様常盤紺型 宮城県(陸前仙台) 1934年頃 1反
- 46. 山水文土瓶 栃木県(下野益子) 1940年頃 1口
- 47. 鞍 栃木県(下野)烏山 1940年頃 1具
- 48. 樺細工鞘付山刀 群馬県(上野高平) 1930年代 1口
- 49. 黄八丈着物 東京都(八丈島) 20C前半 1領
- 50. 飯櫃 長野県(信濃木曾福島) 1934年頃 1合
- 51. 菖蒲草提煙草入 山梨県(甲斐甲府) 1940年頃 1具
- 52. 柳行李 富山県(越中富山) 1930年代 1合
- 53. 瓶掛 富山県(越中高岡) 1930年代 1基
- 54. 吉野絵皿 石川県(加賀山中) 1940年頃 1枚
- 55. 背負袋 岐阜県(飛騨高山) 1930年代 1口
- 56. 牡丹刷毛蓋物 愛知県(尾張品野) 1940年頃 1合
- 57. 斜段手蜘蛛絞浴衣 愛知県(尾張鳴海) 20C前半 1領
- 58. 芯切鉢 京都府 1940年頃 1丁
- 59. 仏飯器 京都府 1940年頃 1基
- 60. 緑釉土瓶 三重県(伊賀丸柱) 19C末~20C初期 1口
- 61. 唐草文型紙 三重県(伊勢白子・寺家地方) 19C末~20C初期 1枚
- 62. 塩壺 庫県(丹波立杭) 1949年 1口
- 63. 緑黒釉掛分皿 鳥取県(因幡牛戸) 1930年代 1枚



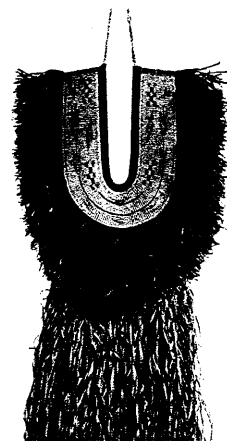
63. 緑黒釉掛分皿

- 64. 木綿紺着物 鳥取県(伯耆弓浜) 1930年代 1領
- 65. 黄釉櫛描皿 島根県(出雲母里) 1930年代 1枚
- 66. 安来木綿個 島根県(出雲安来) 1935年 1反

- 67. 火鉢 島根県(出雲大津) 1940年代 1基
- 68. 山嶺紺 広島県(安芸可部) 1935年 1反
- 69. 茶碗籠 広島県(備後府中) 1950年代 1個
- 70. 手筈 香川県(讃岐丸亀) 1940年頃 1本
- 71. 緑釉雲助徳利 福岡県(筑前西新町) 1930年代 1口
- 72. 白掛鉛流甕 福岡県(筑後二川) 1930年代 1口
- 73. 黄釉緑鉄流土鍋 佐賀県(肥前白石) 1930年代 1合
- 74. 打刷毛日鉛流雲助徳利 大分県(豊後小鹿田) 1942年頃 1口
- 75. 緑釉飛鉋蓋付壺 大分県(豊後小鹿田) 1940年代 1合
- 76. 背負籠(かるい) 宮崎県(日向高千穂) 1950年代 1個
- 77. 山茶家 鹿児島県(薩摩苗代川) 1930年代 1合
- 78. 二彩飯鉢 鹿児島県(大隅龍門司) 1940年頃 1口

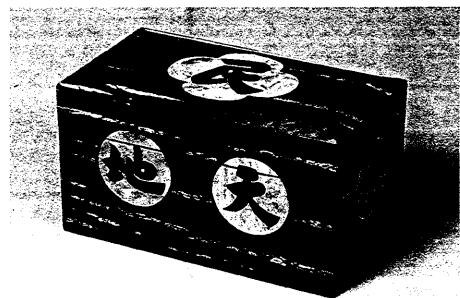
第3章 東北の民芸

- 79. こぎん衣裳 青森県(陸奥津軽) 19C末~20C初 1領
- 80. 菱刺し股引き(タツツケ) 青森県(陸奥南部) 20C前半 1枚
- 81. 蓑(伊達げら) 青森県(陸奥津軽) 1930年代 1枚



81. 蓑(伊達げら)

- 82. 鬼薨鬼面鰐付湯釜 岩手県 20C前半 1口
- 83. ひあげ 岩手県(陸中荒屋新町) 1934年頃 1口
- 84. 竹行李 岩手県(陸中鳥越) 1930年代 1合
- 85. 海鼠袖片口 秋田県(羽後檜岡) 20C前半 1口
- 86. 文字入小宮 秋田県(羽後角館) 1942年 1合



86. 文字入小宮

- 87. 岩七輪 秋田県（羽後阿仁） 1930年代 1台
- 88. 笹紋灰ならし 秋田県（羽後） 1930年代 1本
- 89. 春慶塗わっぱ 浜弁当 山形県（羽後酒田） 1930年代
1合
- 90. 白掛片口 山形県（羽後平清水） 1930年代 1口
- 91. 灰ならし 山形県（羽前） 1930年代 1本
- 92. 藁沓 山形県 1940年頃 1足
- 93. 藁手袋 山形県 1940年頃 1組
- 94. 手付肥ふご 山形県（羽前庄内） 1940年頃 1基
- 95. 亀の子箆 山形県（羽前鶴岡） 1934年頃 1個
- 96. 雪兜 山形県（羽後） 1940年 1枚
- 97. 背中当 山形県（羽前庄内） 1939年 1点
- 98. 肩七宝文様刺子袖無し半纏 山形県（庄内）20C前半 1領
- 99. 相良人形 口上 山形県（羽前米沢） 19C 1体
- 100. 祠（明神堂） 宮城県（陸前堤） 20C前半 1基
- 101. 焙烙 宮城県（陸前堤） 1930年代 1口
- 102. 蓑（伊達げら） 宮城県 1930年代 1枚
- 103. 刺子足袋 宮城県 20C前半 1足
- 104. 堤人形 花魁 宮城県 19C 1体
- 105. 白袖緑流片口 福島県（岩代本郷） 1940年頃 1口
- 106. 海鼠袖鉢 福島県（磐城相馬・館ノ下焼） 1940年 1口
- 107. 三春人形 橋弁慶 福島県 19C 1体
- 108. 蓑 福島県（岩代檜枝岐） 1940年頃 1枚

- 116. 螺鈿脚付盆 沖縄県（那覇） 1940年頃 1台
- 117. 白掛鈴差厨子甕 金城次郎作 沖縄県（壺屋） 1940年
1口
- 118. 垢取 沖縄県（糸満） 1940年頃 1点

第4章 北海道と沖縄への眼差し

- 109. 厚司切伏繻衣 北海道 19C 1領
- 110. 木綿切伏繻衣 北海道 19C後半 1領



110. 木綿切伏繻衣

- 111. 小刀（マキリ） 北海道 19C 1点
- 112. 煙草入れと煙管差し 北海道 19C後半 1組
- 113. 首飾り（タマサイ） 北海道 19C 1本
- 114. 芭蕉布 沖縄県（喜如嘉） 20C前半 1反
- 115. 水色地芒雁文様紅型衣裳 沖縄（首里） 19C後半 1領

特別展

「古代アンデス文明展」

会 期 平成30年7月27日(金)～9月30日(日)

開催日数 59日間

観覧者数 50,315人(1日平均853人)

観 覧 料 一般・大学生1,500円(前売1,300円)、
高校800円、小・中学生600円

※10名以上の団体各100円引き

主 催 「古代アンデス文明展」仙台展実行委員会
(仙台市博物館、TBC東北放送、
河北新報社)

後 援 ペルー大使館、ボリビア大使館、宮城県、
宮城県教育委員会、毎日新聞仙台支局、
読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング
新聞社、NHK仙台放送局、仙台放送、
ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフ
エム仙台、ラジオ3FM76.2、IBC岩手
放送、テレビユー山形、テレビユー福島

協 力 ペルー文化省、ボリビア文化観光省、N
TTドコモ、クントゥル・ワシ調査団、
国立民族学博物館、東京大学総合研究博
物館

監 修 島田泉氏(南イリノイ大学人類学部教授)、
篠田謙一氏(国立科学博物館副館長兼人
類研究部長)

企画制作 国立科学博物館、TBSテレビ

協 賛 三井ホーム、富士通

南米大陸を貫く山脈に沿ったアンデス地域では、16世紀にスペインがインカ帝国を滅亡させるまで、巨大な神殿やピラミッド、地上絵などをつくり上げた多様な文化が盛衰を繰り返してきた。インカ帝国を含むこれらの文化はアンデス文明と総称され、ナスカ、モチェ、シカン、ティワナクといった各文化の特徴や影響関係が、考古学や人類学の成果によって明らかにされている。

この展覧会は、アンデス文明を代表する9つの文化から厳選された資料約200点により、その全貌に迫るものであった。優れた意匠の土器や織物、高い技術によってつくられた黄金製品、人々の死生観を反映したミイラなど、貴重な資料の数々を展示することができ、好評いただいた。

展示構成

第1章 アンデスの神殿と宗教の始まり

第2章 複雑な社会の始まり

第3章 さまざまな地方文化の始まり

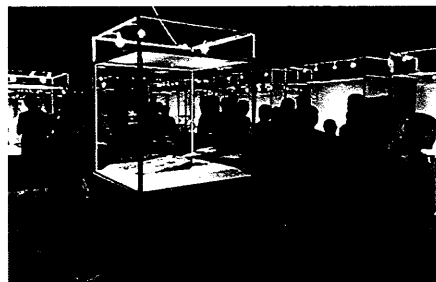
第4章 地域を超えた政治システムの始まり

第5章 最後の帝国—チムー王国とインカ帝国

第6章 身体から見たアンデス文明



開会式



展示風景①



展示風景②

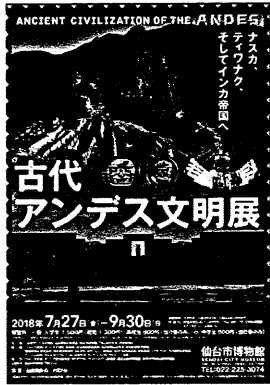
印刷物

ポスター B2判 1700枚、B3判 195枚

チラシ A4判 130,000枚

図 録 191頁

割引券 140,000枚



チラシ A4判

関連行事

(1) 記念講演会①

「古代アンデス文明 その誕生から滅亡まで」
 7月27日(金) 13:30～14:30
 博物館ホール・ロビー 参加219人
 講師：篠田謙一氏(国立科学博物館副館長兼人類研究部長)



記念講演会①

(2) 記念講演会②

「ナスカの地上絵を生んだ古代アンデス文明」
 8月5日(日) 10:30～12:00
 博物館ホール・ロビー 参加216人
 講師：坂井正人氏(山形大学学術研究院教授)



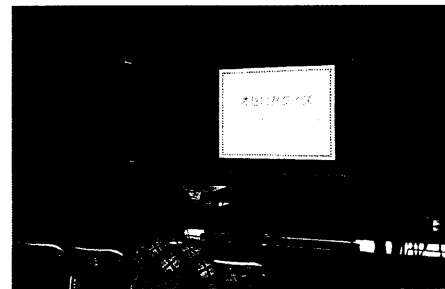
記念講演会②

- (3) 記念ライブ「瀬木貴将スペシャルミニライブ」
 8月25日(土) 博物館ホール 参加計237人
 ①11:00～11:30 参加112人 ②14:00～14:30 参加125人
 出演：瀬木貴将氏(サンポーニャ・ケーナ奏者)



記念ライブ

- (4) SMMAクロスイベント「ラマのおセロ君クイズ」
 8月10日(金) 博物館ギャラリー 参加計93人
 ①10:00～10:30 参加30人 ②11:30～12:00 参加35人
 ③13:30～14:30 参加28人
 出題：八木山動物公園飼育員・博物館学芸員



SMMAクロスイベント

- (5) 友の会広報セミナー 7月30日(月) 参加135人
 (6) ミュージアムセミナー(博物館活用研修を兼ねる)
 8月2日(木) 参加計105人(教職員103人、ボランティア2人)
 (7) 各種団体・学校等への展示解説 10件 参加326人
 (8) プレイミュージアムイベント
 「プラ板でアンデスキャラ！」 会期中 参加3,344人
 (9) エコファミリー新聞「古代アンデス文明展」イラスト展示
 会期中 博物館ギャラリー 応募・掲示59人
 (10) VR「マチュピチュ遺跡を巡ろう」
 会期中 博物館ギャラリー 参加9,379人
 (11) レストラン三の丸 展覧会特別メニュー
 「古代アンデス文明展 特別メニュー」

展示資料リスト

※資料名／文化名／国名／所蔵先の順に記載

序章 人類のアンデス到達とその後の生活

1. パイハンの槍先型尖頭器 パイハン ペルー ラルコ博物館

第1章 アンデスの神殿と宗教の始まり

2. 未焼成の小型男性人像 レプリカ カラル ペルー
カラル遺跡博物館

3. 未焼成の小型男性人像 レプリカ カラル ペルー
カラル遺跡博物館

- 4・5. 線刻装飾のある骨製の笛 レプリカ カラル ペルー
カラル遺跡博物館

6. 交差した手（男の手） レプリカ コトシュ ペルー
東京大学総合研究博物館

7. 交差した手（女の手） レプリカ コトシュ ペルー
東京大学総合研究博物館

8. 交差した手の神殿・ニットスの神殿の縮小模型
コトシュ ペルー 東京大学総合研究博物館

第2章 複雑な社会の始まり

9. テーヨのオベリスク レプリカ チャビン ペルー
国立民族学博物館

- 10・11. テノンヘッド チャビン ペルー
ペルー文化省・国立チャビン博物館



11. テノンヘッド

12. サル人間の凶像が彫られた石板 チャビン ペルー
ペルー文化省・国立チャビン博物館

13. ストロンプスの貝殻で作られたトラン ベット（プトウトゥ）
チャビン ペルー ペルー文化省・国立チャビン博物館

14. 鳥に似た生物が彫られた石板 チャビン ペルー
ペルー文化省・国立チャビン博物館

15. 幾何学文様のある石製すり鉢 チャビン ペルー
ペルー文化省・国立チャビン博物館

- 16・17. 動物象形石製すり鉢・すり棒 パコバンバ ペルー
ラルコ博物館

18. 自身の首を切る人物の象形鏡型土器 クビスニケ ペルー
ペルー文化省・国立チャビン博物館

19. ネズミ型象形鏡型土器 クビスニケ ペルー リマ美術館

20. 刺青またはフェイスペイントをした小像 クビスニケ
ペルー リマ美術館

21. 蛇-ネコ科動物土器 クビスニケ ペルー ラルコ博物館

22. 十四人面金冠 レプリカ クントゥル・ワシ ペルー
クントゥル・ワシ調査団

23. 五面ジャガー金冠 レプリカ クントゥル・ワシ ペルー
クントゥル・ワシ調査団

24. 金製双了・ジャガー鼻飾り クントゥル・ワシ ペルー
クントゥル・ワシ調査団

25. 金製耳飾り クントゥル・ワシ ペルー
クントゥル・ワシ調査団

第3章 さまざまな地方文化の始まり

26. 座った男性をかたどった2色鏡型注口土器 サリナール
ペルー ラルコ博物館

27. ガイナソの双胴壺 ガイナソ ペルー ラルコ博物館

28. 儀式用ケーブをまとった人間型超自然的
存在の像が付いた土器の壺 モチェ ペルー
ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館

29. ネコ科動物の毛皮を模した儀式用 ケーブ モチェ ペルー
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館

30. ネコ科動物の足をかたどりめっきをほどこした爪を
付けた土製品 モチェ ペルー
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館

31. 胸にめっきをし線刻模様を描いたガラガラ モチェ ペルー
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館

32. アシカをかたどった鏡型単注口土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館

33. リヤマの背に乗る男をかたどった土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館

34. ウミガメをかたどった鏡型注口土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館

35. 成人男性のリアルな顔が付いた大型壺 モチェ ペルー
ラルコ博物館

36. チチャ造りをする男女を表した鏡型注口土器 モチェ
ペルー ペルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館

37. 金地に象嵌された人面形の装飾品 モチェ ペルー
ペルー文化省・国立博物館

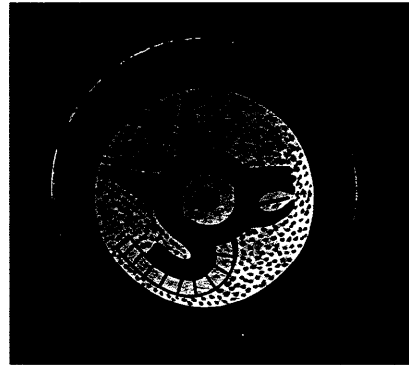
- 38・39・40. 同じ人物の人生の3つの時期の顔を表現した
肖像土器 モチェ ペルー ラルコ博物館
41. 木製戦闘川棍棒 モチェ ペルー ラルコ博物館
42. 戦士の坐像が付いた鏡型注口土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館
43. 裸の捕虜をかたどった鏡型注口土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館
44. 石製棍棒の頭 モチェ ペルー ラルコ博物館
45. 2柱の主神が描かれた鏡型注口土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館
46. トウモロコシの穂軸の姿をした神を描いた土器 モチェ
ペルー ラルコ博物館
47. 走る人々を螺旋状に描いた鏡型注口土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館
48. モチェの神の肖像土器 モチェ ペルー ラルコ博物館
49. 船上の海の神をかたどった土器 モチェ ペルー
ラルコ博物館
50. 象嵌のマスク モチェ ペルー ペルー文化省・国立博物館



50. 象嵌のマスク

51. 人間型のシカの坐像をかたどった鏡型注口土器 モチェ
ペルー ラルコ博物館
52. 裸の男性の背中にネコ科動物がおぶさった鏡型注口土器
モチェ ペルー ラルコ博物館
53. 死んだ男性と生きている女性の性行為を描写した鏡型
注口土器 モチェ ペルー ラルコ博物館
54. シカを背負う死者をかたどった鏡型注口土器 モチェ
ペルー ラルコ博物館
55. 擬人化したネコ科動物 レプリカ モチェ ペルー
在日ペルー共和国大使館
56. 戦士の像付き黄金の耳飾り レプリカ モチェ ペルー
個人蔵
57. 刺繍マント パラカス ペルー
ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
58. 4つの首が描かれた土製内穹鉢 ナスカ ペルー
ペルー文化省・イカ地方博物館

59. 植物を身につけた人間型神話的存在が描かれたヒョウ
タン容器 ナスカ ペルー ペルー文化省・イカ地方博物館
60. 髪の毛とスポンデュルス貝殻製ネックレス ナスカ
ペルー ディダクティコ・アントニーニ博物館
61. 階段状基壇建築の上製ミニチュア模型 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館
62. クモが描かれた土器 ナスカ ペルー
ペルー文化省・イカ地方博物館
63. 2匹の魚が描かれた土製の皿 ナスカ ペルー
ペルー文化省・イカ地方博物館
64. 縄をかけられたラクダ科動物（リヤマ?）が描かれた
土製の皿 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館



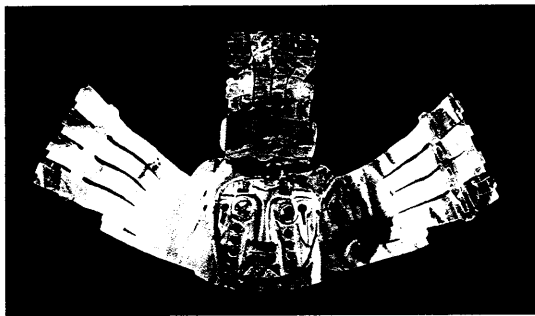
64. 縄をかけられたラクダ科動物（リヤマ?）が
描かれた土製の皿

65. 持ち手紐の付いた織物バッグ（ココ袋?） ナスカ ペルー
ペルー文化省・イカ地方博物館
66. 房の付いた織物バッグ ナスカ ペルー
ペルー文化省・イカ地方博物館
67. 意図を巻き付けた房が付いたココ袋 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館
68. 幾何学文様の織物ベルト ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館
69. 使用痕のある木製農具 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館
70. 11本の管を持つ大型の土製パンパイプ（アンタラ）
ナスカ ペルー ペルー文化省・イカ地方博物館
71. 帽子と胸飾りを身につけた人物の木像 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館
72. 人間型神話的存在が描かれた双注口壺 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館
73. ネコ科動物の特徴を持つ人間型神話的存在が描かれた
土製の鉢 ナスカ ペルー
ディダクティコ・アントニーニ博物館

74. 8つの顔で装飾された砂時計型土器 ナスカ ベルー
 ベルー文化省・イカ地方博物館
75. 幾何学文様と2つの顔がある背の高い土器 ナスカ ベルー
 ベルー文化省・イカ地方博物館
76. 投槍器を持つ2人の男が描かれた背の高いコップ型土器
 ナスカ ベルー デイダクティコ・アントニーニ博物館

第4章 地域を超えた政治システムの始まり

- 77~83. カラササヤで出土した金の儀式用装身具 ティワナク
 ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館



77. トルコ石が象嵌された黄金の頭飾り

84. かみあう犬歯が生えた鬚髯をかたどった銀の葬送用冠
 ティワナク ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館
85. 黒色玄武岩製のチャチャブマ（神話的な人間型ネコ科動物）
 彫像 ティワナク ボリビア ティワナク遺跡石彫博物館
86. 2人の男性の顔が彫られたティワナク様式の石の
 ブロック ティワナク ボリビア 国立考古学博物館
87. リヤマをかたどった土製香炉 ティワナク ボリビア
 先コロンブス期貴金属博物館
88. ネコ科動物をかたどった多彩色土製香炉i ティワナク
 ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館
89. ネコ科動物をかたどった多彩色土製香炉 ティワナク
 ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館
90. ネコ科動物をかたどった儀式用香炉 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
91. ネコ科動物をかたどった多彩色香炉 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
92. 猛禽類の頭を持つ神話的存在が描かれた多彩色土製ケロ
 ティワナク ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館
93. ティワナク様式の多彩色ケロ ティワナク ボリビア
 国立考古学博物館
94. コカを嘔む男の多彩色肖像土器 ティワナク ボリビア
 先コロンブス期貴金属博物館
95. 装飾付き吸入用匙 ティワナク ボリビア
 国立考古学博物館

96. 猛禽類をかたどった土製浅鉢 ティワナク ボリビア
 国立考古学博物館
97. ティワナク様式の木製喫きタバコ皿 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
98. ストラップが付いたつづれ織のバッグ ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
99. 四つの突起のある帽子 ティワナク ボリビア
 先コロンブス期貴金属博物館
100. 猛禽類の特徴を持つ神話的存在2体が描かれた土製深鉢
 ティワナク ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館
101. 3匹のネコ科動物が描かれた土製深鉢 ティワナク
 ボリビア 先コロンブス期貴金属博物館
102. パリティ島で出土した儀式用献酒容器 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
103. パリティ島で出土した儀式用献酒容器 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
104. パリティ島で出土した肖像土器 ティワナク ボリビア
 国立考古学博物館
105. 放射状に光線を放つティワナク主神の顔が付いた土製の
 ケロ（儀式用飲料容器） ティワナク ボリビア
 国立考古学博物館
106. パリティ島で出土したオウムの象形土器 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
107. カモを持つ男性の象形土器 ティワナク ボリビア
 国立考古学博物館
108. パリティ島で出土した女性坐像型土器 ティワナク
 ボリビア 国立考古学博物館
109. パリティ島で出土した太い胴を持つ男性の象形土器
 ティワナク リビア 国立考古学博物館
110. パリティ島で出土したカボチャ状の胴を持つ男性の
 象形土器 ティワナク ボリビア 国立考古学博物館
111. パリティ島で出土した台部が人頭の儀式用鉢
 ティワナク ボリビア 国立考古学博物館
112. 杖を持つ神が描かれた多彩色壺 ワリ ベルー
 ベルー文化省・アヤクチヨ地方歴史博物館
113. 「杖を持つ神」が描かれた多彩色壺 ワリ ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
114. 土製のコップ ワリ ベルー
 ベルー文化省・アヤクチヨ地方歴史博物館
115. 文化英雄モチーフが描かれた多彩色鉢 ワリ ベルー
 ベルー文化省・アヤクチヨ地方歴史博物館
116. 横向きの従者が描かれた多彩色鉢 ワリ ベルー
 ベルー文化省・アヤクチヨ地方歴史博物館

117. 植物モチーフで飾られた多彩色鉢 ワリ ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
- 118-1・118-2. 人間の顔が描かれた多彩色鉢 ワリ ベルー
 ベルー文化省・アヤクチョ地方歴史博物館
119. 土製のリャマ像 ワリ ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館



119. 土製のリャマ像

120. 多彩色装飾のある双胴壺 ワリ ベルー
 ベルー文化省・アヤクチョ地方歴史博物館
121. 杖を持つ神の顔が描かれた多彩色の竪琴型コップ ワリ
 ベルー ベルー文化省・アヤクチョ地方歴史博物館
122. 多彩色の水筒型壺 ワリ ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
123. 多彩色の水筒型壺 ワリ ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
124. 革に毛糸を巻いて作られた葬送用頭飾り ワリ ベルー
 ディダクティコ・アントニーニ博物館
125. 茎にラクダ科動物の繊維を巻いたパン パイブ(アンタラ)
 ワリ ベルー ディダクティコ・アントニーニ博物館
126. つづれ織のチュニック ワリ ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
127. チュニックの一部(?) ワリ ベルー
 天野プレコロンビアン織物博物館
128. ワリのキーブ シカン ベルー
 ベルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
129. 金の胸飾り シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
130. 鉢形の金の器 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
- 131~135. 打ち出し技法で装飾をほどこした金の
 コップ(アキリャ) 5点セット シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館

135. 金の陶飾り(一部) シカン ベルー
 国立ブリューニング博物館
136. 細かい細工が施された金の装飾品 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
137. 細かい装飾が施された銀の浅鉢 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
138. 打ち出し技法でシカン神を描写した金の飲料容器(アキリャ)
 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
139. シカン神が線刻されたヒ素青銅鑄造刃先 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
140. 金めっきした儀式用ナイフ(トゥミ) シカン ベルー
 ベルー文化省・国立シカン博物館
141. 貝殻と鉱物ビーズで作られたU字形の胸飾り シカン
 ベルー ベルー文化省・国立シカン博物館
142. 貝殻と鉱物ビーズで作られたU字形の胸飾り シカン
 ベルー ベルー文化省・国立シカン博物館
- 143・144. ロロ神殿「西の墓」の中心被葬者の仮面と頭骨
 シカン ベルー ベルー文化省・国立シカン博物館



143.ロロ神殿「西の墓」の中心被葬者の仮面

- 145・146・147. 人間型の土製小像3体 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立シカン博物館
- 148・149. 海岸カハマルカ様式の水差しと皿 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
150. 上器に星形模様を付けるためのへら シカン ベルー
 ベルー文化省・国立ブリューニング考古学博物館
151. 装飾付きの壺 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立シカン博物館
152. 生まれたての仔犬をくわえた親犬をかたどった単注口土器
 シカン ベルー ベルー文化省・国立シカン博物館
153. リャマの頭部をかたどった黒色壺 シカン ベルー
 ベルー文化省・国立シカン博物館
154. 2種類の超自然的存在の4つの顔が付いた壺 シカン
 ベルー ベルー文化省・国立シカン博物館

155. 頭を覆う布 チャンカイ ベルー
天野プレコロンビアン織物博物館
156. 織物 チャンカイ ベルー
天野プレコロンビアン織物博物館
157. 図案サンプル チャンカイ ベルー
天野プレコロンビアン織物博物館
158. コップを持った男性の坐像をかたどった2色(白黒)の
手捏ね土器 チャンカイ ベルー
天野プレコロンビアン織物博物館
159. 2色の装飾と魚の付いた円筒瓶 チャンカイ ベルー
天野プレコロンビアン織物博物館

第5章 最後の帝国—チムー王国とインカ帝国

- 160・161. 木製柱状人物像 チムー ベルー
ペルー文化省・チャンチャン遺跡博物館
162. 人間をかたどった祭祀用の杯(容器) チムー ベルー
リマ美術館
163. 儀礼用ガラガラ付き銀合金製品 チムー ベルー
ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
164. 木製のミニチュア建築物模型 チムー ベルー
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館
165. 木製の葬送行列のミニチュア模型 チムー ベルー
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館
166. インカの象徴的なアリパロ壺 インカ ベルー
ラルコ博物館
167. 淡水エビをかたどった金銀製鍍金注口容器
チムー・インカ ベルー
ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
- 168・169. 金合金製の小型人物像(男性と女性) インカ ベルー
ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
170. インカ帝国のチャチャポヤス地方で使われたキープ
インカ ベルー ペルー文化省・ラ研究所・レイメバンバ博物館
- 171・172. 植民地期の多彩色ケロ インカ・コロニアル ベルー
ラルコ博物館

第6章 身体から見たアンデス文明

- 173・174. 人物象形土器の断片 モチエ ベルー
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館
175. 開頭術の跡のある男性頭骨 チリバヤ ベルー
ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館
176. 変形頭蓋(小児) チリバヤ ベルー
ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館
177. 変形頭蓋 チリバヤ ベルー
ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館

178. 変形頭蓋 チリバヤ ベルー
ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館
179. ミイラ ワリ ベルー
ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館
- 180~187. 男児のミイラとその副葬品 チリバヤ ベルー
ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館



180-187. 男児のミイラとその副葬品

- 188~195. 少女のミイラとその副葬品(女性幼児) チリバヤ
ペルー ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館

特別展

「戊辰戦争150年」

会 期 平成30年10月26日(金)～12月9日(日)

前期：10月26日(金)～11月11日(日)

後期：11月13日(火)～12月9日(日)

※新潟県立歴史博物館

平成30年7月14日(土)～8月26日(日)

※福島県立博物館

平成30年9月1日(土)～10月14日(日)

開催日数 39日間

観覧者数 29,137人(1日平均747人)

※新潟県立歴史博物館 15,537人

※福島県立博物館 17,445人

※3館合計観覧者数 62,119人

観 覧 料 一般・大学生1,000円、高校生500円、

小・中学生400円

※10名以上の団体は各100円引

主 催 仙台市博物館、新潟県立歴史博物館、
福島県立博物館

共 催 NHK仙台放送局、河北新報社

特別協力 日本通運株式会社

後 援 毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、
読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング
新聞社、TBC東北放送、仙台放送、ミヤ
ギテレビ、KHB東日本放送、エフエム
仙台、ラジオ3 FM76.2

平成30年(2018)は戊辰戦争開戦から150年の記念の年にあたる。これを記念して開催する本展は、明治維新を東北の視点からとらえ直しながら、会津藩や奥羽越列藩同盟諸藩のそれぞれの地域における戊辰戦争及び降伏後の歴史を紹介した。

なお本展は、新潟県立歴史博物館及び福島県立博物館との三館合同の巡回展であり、基幹資料を共通で展示しつつ、各館の所在する地域資料を加え、それぞれの展示に独自性を出している。

当館では「仙台藩の戦い」をテーマに仙台藩が主導した奥羽越列藩同盟の結成や経過を伝える資料を数多く展示した。来場者にとっては仙台藩の動向について興味や理解を深める機会となり、大変好評をいただいた。

展示構成

序 章 開国

第1章 政局

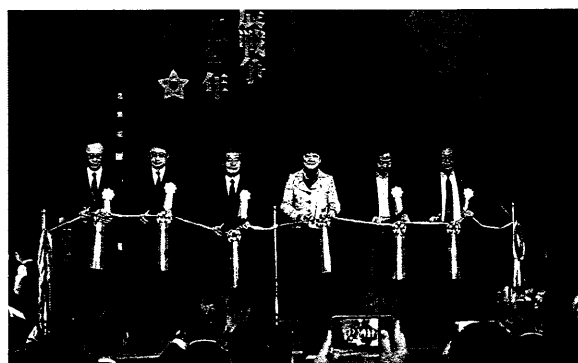
第2章 開戦

第3章 盟約

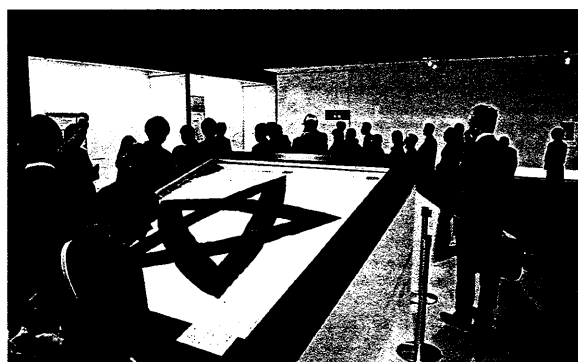
第4章 展開

第5章 降伏

終 章 再起



開会式



展示風景

特別展関連展示

パネル展「戊辰戦争をさがしに行こう」

会場 ミュージアムストリート

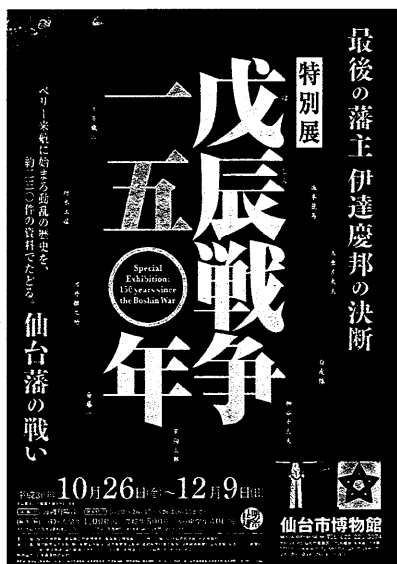
仙台市内の戊辰戦争関連の石碑や墓碑、宮城県内の史跡、東北地方で開催されている戊辰戦争関連展示施設をパネルで紹介した。



関連展示

印刷物

- ポスター B 2判1,500枚 B 3判 150枚
- チラシ A 4判70,000枚
- リーフレット A 4判（8頁）20,000枚
- 割引券 140,000枚
- 図録 A 4判 200頁 4,300部



チラシ A 4判



リーフレット

関連行事

(1) 記念講演会①

「奥羽列藩同盟をつくった仙台藩士」
 10月27日(上) 13:30~15:00
 博物館ホール 参加300人
 講師：栗原伸一郎氏
 (東北大学大学院文学研究科 学術研究員)



記念講演会①

(2) 記念講演会②

「小説『我は景祐』執筆にあたって～
 仙台藩士と戊辰戦争」
 12月1日(土) 13:30~15:00
 博物館ホール 参加304人
 講師：熊谷達也氏(作家)



記念講演会②

(3) しろ・まち講座

「三館共同企画「戊辰戦争150年」の見どころを語る」
 11月17日(土) 13:00~16:00
 博物館ホール 参加348人



しろ・まち講座

「証言記録でたどる会津藩の戊辰戦争」
 講師：阿部綾子氏
 (福島県立博物館主任学芸員)

「越後の戊辰戦争-長岡藩銃卒が見た戊辰戦争」

講師：田邊幹氏

(新潟県立歴史博物館主任研究員)

「仙台市博物館の「戊辰戦争150年」展ココに注目！」

講師：水野沙織(当館学芸員)

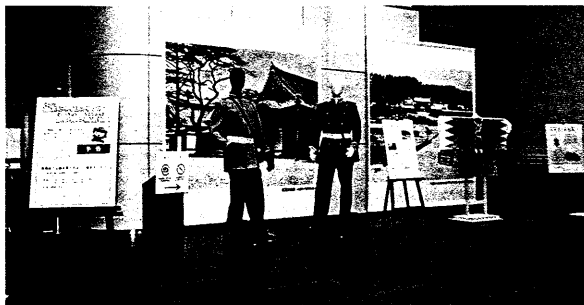
座談会「三館の学芸員「戊辰戦争150年」展を語る」

(4) 着用体験イベント「新選組隊士になろう」

日時：会期中の土日祝日開催

10：00～11：30、14：00～15：30

企画展示室出口 参加400人(着用者)



変身衣装の展示風景

(5) まちなか博物館講座

(東北工業大学との連携イベント)

「戊辰戦争150年-仙台藩の選択」

11月10日(土) 13：30～15：00

東北工業大学一番町ロビー 2階ホール

参加：172人

講師：中武敏彦(当館職員)

(6) ミュージアムセミナー

10月27日(土)

参加22人(教職員21人、ボランティア1人)

(7) 友の会広報セミナー

10月29日(月) 参加155人

(8) 各種団体・学校等への展示解説

18件(学校3件、その他団体15件)

参加801人

(9) プレイミュージアムイベント

「袖章・小旗をつくろう」

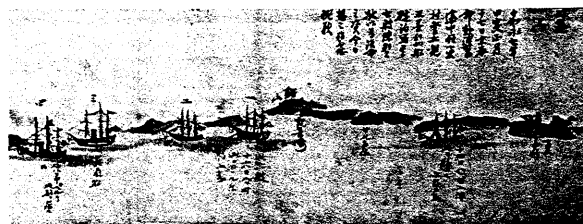
参加1967人

展示資料目録

◇は市・町指定文化財

序章 開国

1. 夢の槳 渋谷源蔵筆 明治時代 20C 1冊 福島県立博物館
2. 雪窠一弁 渋谷源蔵筆 明治39年(1906) 1冊 福島県立博物館
5. 陣羽織 渋谷源蔵所用 江戸時代 19C 1領 福島県立博物館
7. 北亞墨利加人物 ペルリ像 江戸時代 19C 大判1枚 館蔵
8. 北亞墨利加洪和政治洲上官真像之写 江戸時代 19C 大判1枚 館蔵
9. 米船渡来旧諸藩士固之図 東洲勝月画 明治22年(1889) 3枚統 しろはく古地図と城の博物館富原文庫
6. 塵積成山 二集第一冊 大槻磐溪編 安政2年(1855)頃 1冊 一関市博物館



6. 塵積成山(部分)

11. ◇玉虫左太夫像 庄司勇筆 大正時代 1面 館蔵
12. ◇航米日録 玉虫左太夫著 万延元年(1860) 2冊 館蔵
13. 水戸浪士愛宕山集合之図 月岡芳年画 明治9年(1876) 3月22日 3枚統 館蔵

※No.7は前期展示、No.8は後期展示

第1章 政局

18. 松平容保像 近代 1面 個人蔵/福島県立博物館寄託



18. 松平容保像

16. 会津藩家訓 松平容保・山川浩筆 明治時代 19C 1幅
福島県立博物館
21. 黒谷金戒光明寺全図 江戸時代 19C 1枚
個人蔵／福島県立博物館寄託
22. 野欠常方和歌 江戸時代 19C 3幅対
個人蔵／福島県立博物館寄託
161. 陣羽織 相馬藩上・佐藤精明所用 江戸時代 19C
1領 個人蔵／南相馬市博物館寄託
271. 白熊 江戸時代 19C 1点 宮坂考古館
170. 日に烏岡陣羽織(複製) 細谷十太夫所用 原資料：江戸時代
19C 1領 東北歴史博物館(原資料：龍雲院)
172. 軍服上着 一関藩銃士・佐藤文三郎所用 江戸時代 19C
1領 一関市博物館
173. マンテル 一関藩銃士・佐藤文三郎所用 江戸時代 19C
1領 一関市博物館



173. マンテル

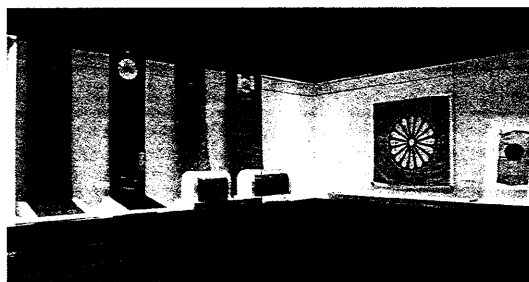
174. 紫呉呂地一巴紋陣羽織 一関藩銃士・佐藤文三郎所用
江戸時代 19C 1領 一関市博物館
175. 萌葱羅背板地一巴紋陣羽織 一関藩銃士・佐藤文三郎所用
江戸時代 19C 1領 一関市博物館
23. 孝明天皇御製(複製)(原資料：文久3年・1863 10月9日)
1通 福島県立博物館(原資料：個人蔵)
24. 孝明天皇宸翰(複製) 松平容保宛 原資料：文久3年(1863)
10月9日 1通 福島県立博物館(原資料：個人蔵)
27. 画巻国史 七脚西走之図 右田年英画 明治24年(1891)
3枚続 しろはく古地図と城の博物館富原文庫
58. 大坂城より急御東下に付一条 浅羽忠之助筆
明治2年(1869)9月9日 1綴 福島県立博物館
33. 禁門の変図屏風(複製) 原資料：19C 6曲1隻
会津若松市
35. 黒漆塗銀唐花蒔絵移鞍 森田安重作 文久3年(1863)
1具 南相馬市博物館
25. 孝明天皇宸翰 徳川家茂宛(文久4年・1864 1月21日)
1通 個人蔵(徳川宗家文書)

20. 京都御所絵図 慶応3年(1867)改版 1枚
個人蔵／当館寄託
28. 徳川家茂像 川村清雄画 明治17年(1884)頃 1面
徳川記念財団
40. 久坂玄瑞書状 品川弥二郎宛(元治元年・1864 3月4日)
1幅 館蔵
41. 坂本竜馬書状 三好慎蔵宛(慶応2年・1866)7月28日
1巻 館蔵
38. 池田屋事件感状(元治元年・1864)8月4日 1巻
霊山歴史館
39. 禁門の変感状(元治元年・1864)8月27日 1巻
霊山歴史館
37. 上方歳三書状 小島鹿之助宛(元治元年・1864)9月21日
1幅 館蔵
36. 木扇 伝近藤勇所用 江戸時代 19C 1柄 館蔵
42. 大政奉還につき諸藩重臣への諮問書(慶応3年・1867)
10月13日 1通 個人蔵(徳川宗家文書)
29. 徳川慶喜像 川村清雄画 明治時代 1面 徳川記念財団
43. 大政奉還(『聖徳記念絵画館壁面集 坤』のうち)
昭和11年(1936)1枚 館蔵
44. 戊辰上京日記 大章信太夫日記抄録 大槻文彦筆写
明治32年(1899)9月 1冊 一関市博物館
46. 新発田藩事実記録 京都之部 慶応3～4年(1867～68)
1冊 新発田市立歴史図書館
48. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛(慶応3年・1867)12月22日
1通 館蔵
81. 坂英力書状(慶応3年・1867)12月16日 1通 館蔵
78. 坂英力像 文岳筆 近代 1幅 館蔵
50. 伊達慶邦像 明治時代 19C 1幅 館蔵
- ※No.174は前期展示、No.175は後期展示

第2章 開戦

51. 近世史略薩摩藩屋敷焼撃之図 歌川国輝画 明治24年
(1891)3枚続 鶴岡市郷土資料館
52. 城州伏見其外所々出火之図 慶応4年(1868)1枚
鶴岡市郷土資料館
56. 慶長四年大功記大山崎之図 明治時代 19C 3枚続
しろはく古地図と城の博物館富原文庫
57. 城中大火図 中井芳瀧画 明治時代 19C 3枚続
しろはく古地図と城の博物館富原文庫
53. 烏羽関門戦争・伏見戦争「戊辰戦記絵巻物」(保勲会編)
のうち 明治24年(1891)1冊
医療法人明智会／福島県立博物館寄託

59. 十津神社告文 慶応4年(1868)1月14日 1通
福島県立博物館
60. 御国日記 慶応4年(1868)1月 1冊 館蔵
54. 毛理嶋山官軍大勝利之図 照皇斎国広画 明治時代 19C
6枚続 しろはく古地図と城の博物館富原文庫
55. 山崎合戦官軍大勝利之図 明治時代 19C 現状5枚
(6枚続) しろはく古地図と城の博物館富原文庫
61. 太政官沙汰書写 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868)
1月20日 1通 館蔵
88. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 1月29日
1通 館蔵
84. 会津藩家老嘆願書 (慶応4年・1868) 2月 1通
個人蔵(徳川宗家文書)
75. 但木土佐像 井上東僊筆 明治26年(1893) 1面
保福寺(大和町)
74. 石清水八幡宮行列之図巻 明治31年(1898) 7月 1巻
館蔵
76. 伊達慶邦意見書控 幕府老中宛 (元治元年・1864) 10月
1通 館蔵
77. 伊達慶邦書状控 大条孫三郎・大内縫殿・但木土佐宛
(元治元年・1864) 10月27日 1通 館蔵
80. 風説書 桜田良佐筆 慶応3年(1867) 1冊 館蔵
79. 近習日付御用日記 慶応3~4年(1867~68) 1冊 館蔵
171. 明治元年戊辰戦乱前後之履歴 明治時代 19C 1冊 館蔵
164. 入生田康欣日記 慶応4年(1868) 1冊
個人蔵/館蔵寄託
169. 宮城丸略図 江戸時代 19C 1枚 山元町歴史民俗資料館
168. 蒸気船黒竜丸文払金証書 慶応4年(1868) 閏4月
1通 個人蔵/館蔵寄託
72. 各道鎮撫使行列図 慶応4年(1868) 2月 1枚
栃木県立博物館
73. 北征將軍仁和寺宮御凱陣越後通過図(複製)
原資料:明治22年(1889) 1巻
新潟県立歴史博物館(原資料:靖國神社遊就館)
70. 菊章四方旗 (慶応4年・1868) 1旒 東京国立博物館
67. 錦旗(白生絹菊章) (慶応4年・1868) 1旒
東京国立博物館
63. 錦旗(蜀江錦月像銀) 慶応4年(1868) 1旒
東京国立博物館

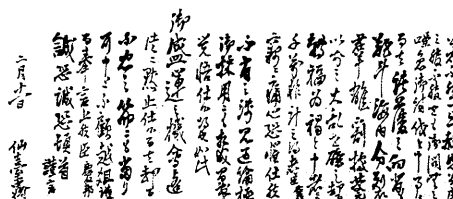


展示風景(錦旗)

66. 錦旗(赤地松竹梅紋緞子菊章) (慶応4年・1868) 1旒
東京国立博物館
64. 錦旗(萌黄緞子菊章)(複製)(原資料:慶応4年・1868)
1旒 栃木県立博物館(原資料:東京国立博物館)
68. 錦旗(赤地牡丹唐草宝尽紋緞子菊章) 慶応4年(1868)
2旒のうち1旒 館蔵
No.56、54、76は前期展示、No.57、55、77は後期展示、No.53は場面替

第3章 盟約

87. 封事雑稿 甘粕継成筆 (慶応4年・1868) 1月17日
1綴 市立米沢図書館
89. 伊達慶邦建言書 (慶応4年・1868) 2月11日 1通 館蔵



89. 伊達慶邦建言書(部分)

90. 伊達慶邦書状案 (慶応4年・1868) 2月15日 1通 館蔵
91. 上杉斉憲書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 2月14日
1通 館蔵
92. 佐竹義堯書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 3月26日
1通 館蔵
177. 庄内藩征討秋田・本荘藩布陣図 明治時代 1枚 個人蔵
100. 奥羽鎮撫副総督達書 佐竹義堯宛 (慶応4年・1868)
4月15日 1通 秋田県公文書館
93. 南部利剛書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 2月25日
1通 館蔵
94. 津軽承昭書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 3月8日
1通 館蔵
95. 丹羽長因書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 3月25日
1通 館蔵
99. 鎮撫副総督達書 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 3月26日
1通 館蔵

101. 仙台府学養賢堂図(複製) 江戸時代 原資料:19C
1面 館蔵(原資料:宮城県図書館)
96. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 3月24日
1通 館蔵
97. 伊達宗城書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868)
5月3日 1通 館蔵
106. 但木上佐・坂英力書状 西郷頼母・萱野権兵衛等
六人宛 (慶応4年・1868) 4月11日 1通 館蔵
102. 公津追討二付仙台様御出陣被遊御行列図 慶応4年(1868)
4月 1巻 館蔵
103. 公津為追討仙台様御出陣之図 慶応4年(1868) 4月
1鋪 館蔵
107. 会津御追討方御用水留 肝入検断安藤太郎左衛門
慶応4~明治2年(1868~69) 1冊
個人蔵(ヒマ宿町水と歴史の館寄託)
108. 鎮撫使御下向二付仙台出張心控 大滝新蔵筆 慶応4年
(1868) 3月~閏4月 1冊 米沢市上杉博物館
114. 庄内藩征討の命に対する冤罪の周旋嘆願書控
仙台藩家老宛 (慶応4年・1868) 閏4月17日 1通
鶴岡市郷土資料館
119. 米沢藩上書状 竹俣美作宛 (慶応4年・1868)
閏4月21日 1通 米沢市上杉博物館
109. 奥羽列藩同盟盟約書草稿 大槻磐溪筆 慶応4年(1868)
閏4月 1通 関市博物館
110. 奥羽列藩同盟盟約書写 (慶応4年・1868 5月3日)
1通 館蔵
111. 木滑要人・若生文十郎順達 (慶応4年・1868) 5月3日
1通 館蔵
112. 御用留帳 文久元年~明治22年(1861~89) 1冊 個人蔵
115. 南摩綱紀書状写 松平権十郎宛 (慶応4年・1868)
閏4月19日 1冊 鶴岡市郷土資料館
134. 列藩同盟の太政官建白書写(「戊辰史料 三」) 慶応4年
(1868) 5月 1冊 市立米沢図書館
128. 片山仁一郎私記(「戊辰史料 八」) (慶応4年・1868)
3~12月 1冊 市立米沢図書館
133. プロシア国宛文書写(「戊辰記事」) 慶応4年(1868)
5月 1冊 個人蔵/館蔵寄託
98. 陸奥出羽国郡行程全図 歌川貞秀画 慶応4年(1868) 刊
1鋪 館蔵
130. 南摩綱紀報告書写 (慶応4年・1868) 7月13日~15日
1綴 個人蔵/福島県立博物館寄託
131. 鈴木広弥出仙中御用留 慶応4年(1868) 6~9月 1綴
鶴岡市郷土資料館

113. 奥羽越列藩同盟旗 慶応4年(1868) 頃 2旗 宮坂考古館



113. 奥羽越列藩同盟旗

192. 葵紋陣笠 伝松平定敬所用 江戸時代 1点
勝願寺(柏崎市)
193. 中将様御着御人数姓名附 慶応4年(1868) 4月 1冊
柏崎市立図書館
120. 河井継之助書「一忍可以支百勇」 江戸時代 19C 1幅
長岡市立中央図書館
121. 塵壺 河井継之助筆 安政6年(1859) 1冊
長岡市立中央図書館
129. 新発田藩事実記録 新発田之部 慶応3年~4年
(1867~68) 1冊 新発田市立歴史図書館
135. 奥羽鎮撫総督府被仰渡写 仙台藩・米沢藩宛 (慶応4年・
1868) 5月 1通 秋田県公文書館
136. 沢為量書状 佐竹義堯宛 (慶応4年・1868) 6月17日
1通 秋田県公文書館
137. 東叡山戦争之図 歌川豊国画 明治7年(1874)
3枚続 しろはく古地図と城の博物館富原文庫
138. 東叡山文殊楼焼討之図 月岡芳年画 明治7年(1874)
3枚続 館蔵
139. 奥州改元大政元年資料 (慶応4年・1868 6月15日)
1通 個人蔵(徳川宗家文書補遺)
140. 日光宮御令旨訳文 慶応4年(1868) 7月 1通 個人蔵
141. 天璋院消息 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868) 7月9日
1通 館蔵
132. 白石城絵図 明治5年(1872) 1鋪
しろはく古地図と城の博物館富原文庫

No.119、121、135、137は前期展示、No.100、136は後期展示

第4章 展開

143. 白河口戦闘絵図(複製) 原資料:明治時代 1幅 館蔵
144. 五月朔日於白川表ニ戦争之節討死并手負之輩調
慶応4年(1868)6月2日写 1冊 館蔵
145. 奥州白川城之図 江戸時代 19C 1鋪
山形県郷土館・文翔館
149. 慶応四辰年七月廿三日岩城広野之合戦討死手負調書
明治元年(1868)10月 1冊 館蔵
147. 磐城平の戦絵図 雪江筆明治時代 1幅 福島県立博物館
157. 駒ヶ嶺口惣御人数調 物書方 慶応4年(1868)9月
1冊 個人蔵/当館寄託
162. 戊辰戦記絵巻物 保勲会編 明治22年(1889)41枚の
うち1枚 長岡市立中央図書館
163. 戊辰日記 慶応4年~明治2年(1868~69) 1冊 館蔵
265. 鉢金 仙台藩士大竹左右助所用 (慶応4年・1868)
1頭 個人蔵/館蔵寄託
159. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛 (慶応4年・1868)8月12日
1通 館蔵
197. 河井継之助書状 佐川官兵衛宛 (慶応4年・1868)
5月18日 1幅 福島県立博物館
183. 長岡城落城絵図 明治時代 19C 1巻 個人蔵
184. 明治元年越後大合戦略図 明治時代 19C 1鋪
長岡市立中央図書館
217. 扨徒日記 柳野嘉兵衛筆 (慶応4年・1868) 1冊
長岡市立中央図書館
199. 山県有朋和歌「あだ守る」近代 1幅
長岡市立中央図書館
151. 森岡軍務方触書写 慶応4年(1868)8月 1通
秋田県公文書館
150. 羽州口戦争ニ付御用係留 鈴木元五右衛門筆 慶応4年
(1868)7月 1冊 館蔵
182. 朱の丸旗 江戸時代 19C 1旗 致道博物館
152. 戊辰戦争絵図(複製) 明治時代 原資料:19C 2枚
秋田県立博物館(原資料:個人蔵)
306. 庄内討伐薩長船町長崎進撃図 明治時代 1鋪 個人蔵
181. 戊辰戦争絵巻 明治元年(1868) 1巻 致道博物館



181. 戊辰戦争絵巻(部分)

165. 福沢諭吉書状 大童信太夫宛 (慶応4年・1868)3月13日
1通 個人蔵/館蔵寄託
166. 異国船にて兵器買下し被成分御入料御請払調 明治3年
(1870)6月 1通 個人蔵
167. 松倉恂書状 但木上佐・坂英力宛 (慶応4年・1868)
5月28日 1通 個人蔵
176. 竹に雀紋旗 江戸時代 19C 1旗 個人蔵
264. 刀 銘会津刀匠和泉守兼定 伝篠田儀三郎所用 慶応3年
(1867)2月 1口 個人蔵/福島県立博物館寄託
188. ゲベール銃 江戸時代 19C 1挺 個人蔵
266. タワーミニエー銃 江戸時代 19C 1挺 個人蔵/当館寄託
267. スペンサー銃 江戸時代 19C 1挺 宮坂考古館



267. スペンサー銃

268. スペンサー銃の弾薬箱 江戸時代 19C 1合 個人蔵/当館寄託
230. 新選組名簿 (慶応4年・1868) 1綴 個人蔵/福島県立博物館寄託
231. 上方歳三書状 内藤介右衛門・小原宇右衛門宛
(慶応4年・1868)8月21日 1通 個人蔵/福島県立博物館寄託
245. 会津若松戦争之図 月岡米次郎画 明治時代 19C
3枚銃 個人蔵/福島県立博物館寄託
246. 奥会津大合戦 芦名盛隆敗走遂ニ降伏平定ノ図 歌川国輝画
明治時代 19C 3枚銃 福島県立博物館
254. 会津藩旗 江戸時代 19C 1旗 個人蔵
249. 会津藩旗 江戸時代 19C 1旗 東京国立博物館
280. 会津落城を伝える瓦版 明治時代 19C 1枚
個人蔵/福島県立博物館寄託
235. 白虎隊奮戦の図 梅里筆 近代 1幅 個人蔵
236. 白虎隊白刃の図 梅里筆 近代 1幅 個人蔵
279. 会津軍記 早川松山画 明治9年(1876) 3枚銃
福島県立博物館



279. 会津軍記

349. 新島八重和歌「明日の夜は」 近代 1幅 個人蔵
240. 若松城下絵図屏風 大須賀清光筆 19C 8曲1隻
福島県立博物館
234. 奥越出兵図屏風 木村立嶽筆 明治2年(1869) 6曲1隻
(3隻のうち) 個人蔵
241. 小松彼岸獅子 獅子頭 昭和時代 3点
小松彼岸獅子保存会
269. 会津藩弾薬箱 江戸時代 19C 1点
個人蔵/福島県立博物館寄託
270. 四斤山砲砲弾 江戸時代 19C 1点 新潟県立歴史博物館
282. 松平容保使用漆器 江戸時代 1式 妙国寺(会津若松市)
178. 庄内藩肩章 堀田数馬所用 江戸時代 19C 1点
鶴岡市郷土資料館
185. 長岡藩肩章 江戸時代 1点 長岡市立中央図書館
263. 上山藩肩章 江戸時代 19C 1点 鶴岡市郷土資料館
179. 秋田藩小荷駄隊小旗 江戸時代 19C 2点
秋田市立佐竹史料館
180. 秋田藩兵袖印 江戸時代 19C 3点 秋田市立佐竹史料館
220. ◇北辰隊肩章・錦裂 小林啓八所用 明治元年(1868)頃
2枚 新潟市北区郷土博物館
224. 居之隊肩章 高橋喜一郎所用 慶応4年(1868)頃
1点 個人蔵
225. 方義隊肩章 慶応4年(1868)頃 1点 加茂市教育委員会
255. 錦裂(慶応4年・1868) 1点 栃木県立博物館
256. 錦裂(慶応4年・1868)頃 1点 長岡市立科学博物館
257. 錦裂(慶応4年・1868) 1点 彌彦神社(弥彦村)
258. 肩章「大総督府印」(慶応4年・1868) 1点
栃木県立博物館
259. 肩章「東山道総督印」(慶応4年・1868) 1点
栃木県立博物館
261. 岩倉隊肩章(笹竜胆・黒)(慶応4年・1868) 5点1綴
東京国立博物館
262. 奇兵隊肩章 江戸時代 19C 1点 新潟市歴史博物館
- ※No.184、151、246、235、240は前期展示、No.183、245、236、
234は後期展示

第5章 降伏

308. 奥州駒ヶ峰肥後陣門江仙台之嘆願謝罪之調書 明治時代
19C 1冊 米沢市上杉博物館
312. 行政官沙汰書 伊達亀三郎宛 明治元年(1868)12月12日
1通 館蔵
307. 戊辰戦争戦後処理覚書 石母田但馬・遠藤文七郎筆
(明治元年・1868)9月 1通 館蔵
302. 葵紋唐草蒔絵長持 江戸時代 1合 個人蔵

275. 脱藩人員 明治時代 19C 1綴 個人蔵(徳川宗家文書)
379. 松本要人像 明治時代 19C 1面 個人蔵/当館寄託
278. 新選組袖章 中島登遺品 明治2年(1869)頃 1点
市立函館博物館
277. 戦友姿絵 中島登筆(明治3年・1870) 1巻
市立函館博物館
276. 画卷国史 函館五稜郭奮戦之図 石田年英画 明治24年
(1891) 3枚続 しろはく古地図と城の博物館富原文庫



276. 画卷国史 函館五稜郭奮戦之図

272. 仙台中日記 慶応4年(1868)9月 1冊 館蔵
273. 蝦夷錦 荒井宣行筆 明治3年(1870) 2冊
函館市中央図書館
274. 星向太郎日記 明治~大正時代 1冊 館蔵
313. 但木土佐辞世和歌「雲水の」(明治2年・1869) 1面
保福寺(大和町)
315. 玉虫左太夫書状 作左衛門宛(明治元年・1868)10月14日
1通 館蔵
310. 但木土佐等五人東京へ可差出達書(明治元年・1868)10月
1通 館蔵
311. 但坂獄中書(「戊辰実録」) 大槻磐溪筆 明治時代 19C
1冊 館蔵
314. 磐翁獄中次第書 大槻磐溪筆(明治4年・1871)4月29日
1巻 館蔵
316. 若生文十郎書「欲向中原掃妖塵」 江戸時代 19C 1幅
館蔵
317. 石母田但馬戊辰日記 19C 1冊 館蔵
318. 仙台藩片絵図 明治2年(1869) 1鋪 館蔵
319. 陸前国仙台藩籍調 明治2年(1869)5月 1冊 館蔵

終章 再起

309. 増田繁幸像 明治時代 1面 館蔵
376. 一関県参事辞令 増田繁幸宛 明治4年(1871)11月2日
1通 館蔵
380. 仙台区長辞令 松倉恂宛 明治11年(1878)10月22日
1通 個人蔵
385. 富田鉄之助書状 大童信太夫宛 1868年1月3日 1通
個人蔵/当館寄託

386. 富田鉄之助写真 明治時代 1面 真福寺(仙台市)
370. 太政官達書写 仙台藩宛 (明治2年・1869) 11月 1通
館蔵
371. 有珠郡道記 伊達邦成筆 明治2年(1869) 12月 1冊
館蔵
372. 幌別郡支配辞令 片倉小十郎宛 (明治2年・1869) 9月
1通 白石市図書館
373. 白石城破却許可書 片倉小十郎宛 (明治3年・1870)
10月 1通 白石市図書館
338. 白虎隊自刃の図 梅里筆 近代 1幅 個人蔵



338. 白虎隊自刃の図(部分)

339. 飯沼貞雄書状 大山登宛 2月20日 1巻 個人蔵
320. 出陣日誌 小泉和藤太筆 明治14年(1881)
3冊のうち1冊 長岡市立中央図書館
321. 丸吉皆川家日誌 (慶応4年・1868) 1冊 個人蔵
361. 懐旧雑誌 小川当知筆 明治12年(1879) 1冊
長岡市立中央図書館文書資料室
327. 小林虎三郎漢詩「南天一望上高台」 明治時代 19C
1巻 長岡市立中央図書館
335. 鹿兒島征討紀聞 楊州周延画 明治10年(1877) 3枚続
館蔵
336. 西郷隆盛書「鉄石肝腸断々兮」 明治時代 19C 1幅 館蔵
334. 山川浩和歌「さつま人」 19C 1幅 福島県立博物館
378. 宮城県権令宮城時亮委囑状 若生精一郎宛 明治10年
(1877) 5月17日 1通 館蔵
374. ◇日新録 洪川助太夫筆 慶応4年~明治5年(1868~72)
6冊 珠光寺(大郷町)
387. 戸籍綴 兵事課 明治16年(1883) 1冊 宮城県公文書館
389. 仙台藩戊辰史 下飯坂秀治編・大槻文彦校閲 明治35年
(1902) 5冊 館蔵
388. 戊辰始末 男澤珍平等編 明治4年(1871) 10冊
宮城県図書館
328. 伊達宗敦仙台藩知事辞令写 明治3年(1870) 10月25日
1通 館蔵
377. 伊達宗敦書状写留 19C 1冊 館蔵

17. 松平容保写真 慶応元年(1865) 1枚
個人蔵/福島県立博物館寄託
49. 松平喜徳写真 明治時代 19C 1枚
個人蔵/福島県立博物館寄託
344. 松平容保写真 明治時代 19C 1枚 福島県立博物館
350. 斎藤一(藤田五郎)写真 明治時代 1枚
個人蔵/福島県立博物館寄託
383. 伊達慶邦写真 明治時代 19C 1枚 館蔵
10. 大槻磐溪湿版写真(複製) 原資料:文久元年(1861)
1点 一関市博物館
381. 大槻文彦湿版写真(複製) 原資料:慶応2年(1866)
1点 一関市博物館
375. 洪川助太夫写真 明治時代 1枚 館蔵
- 382-1. 大童信太夫写真 明治時代 19C 1枚
個人蔵/当館寄託
- 382-2. 大童信太夫写真 江戸時代 19C 1枚 館蔵
384. 勝海舟写真 明治時代 19C 1枚 個人蔵/当館寄託
- ※No.17、49、375、382-1は前期展示、No.344、382-2、384は後期展
示、No.350は11月27日~12月9日展示

資料は展示順に表記しているため、資料番号が前後していることがある。また、資料番号は3館の総展示資料に付されているため、当館で展示されない資料については欠番となっている。

2. 資料の収集保管

受贈資料

平成30年度は21の個人から110件274点の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

三塚智美／伊達政宗判物／1件1点
安齋博雄／埋木細工／3件7点
高橋英俊／脇差「備州住祐光」ほか／3件3点
菊地喜久代／山形文様陣羽織（複製）／1件1点
加藤泉／伊達政宗書状／1件1点
塩澤日出夫／龍虎図屏風ほか／3件6点
勝田亨 仙台通宝ほか／4件130点
柴田益広／木ノ下駒ほか／7件16点
千葉真弓／伊達政宗書付／1件1点
本田宗徳／宝珠図／1件1点
小林章二／伊達政宗書状／1件1点
管野邦夫／五色筆、宮城野萩筆／2件8点
小野久子／羅浮皓月図／1件1点
杉村翠／近衛信尹書状ほか／12件16点
小野寺榮／伊達政宗書状ほか／6件6点
鈴木芳子／甲寅春神奈川見聞画図／1件3点
清水道玄／煙管（複製）／1件2点
荘司和成／刀（備前長船助光ほか）／3件3点
小笠原信夫／太刀（鰐国行）／1件1点
門脇康／遊鯉図ほか／47件52点
白根昭男／花鳥図ほか／11件14点

購入資料

本年度は4件5点の資料を購入した。

※資料名／数量の順に記載

伊達政宗書状 了庵宛／1通
伊達政宗鷹野掟書／1幅
伊達記 乾・坤／2冊
太刀 銘「長谷部国信」／1口

寄託資料

平成30年度、当館では124人7,113件の寄託を受け付けた。

資料修理

平成30年度は4点の修理を行った。

- (1) 裏打ち・継ぎ目修理
仙台市指定文化財 奥州仙台城絵図（正保2年）
1鋪 計1点
- (2) 欠損・裏打ち修理
仙台北下絵図（文政3年頃）
1鋪 計1点
- (3) 本紙剥がし・裏打ち修理
群象図屏風 荒川洞月
6曲1双 計2点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびLEDを使用している。

また虫菌害への対策として、下記のとおり(1)加害生物及び浮遊菌調査、(2)くん蒸庫におけるくん蒸を実施し、資料の殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定
塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：平成31年1月16日～1月30日

方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類はエアースAMPLERによる採集と培養による属名同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226箇所に粘着トラップを設置。同じく23箇所においてエア－を採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①平成30年7月1日～7日

②平成31年1月7日～11日

③平成31年3月18日～22日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）

ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

平成30年度は16施設に123件221点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

群馬県立歴史博物館／企画展「織田信長と上野国」／織田信長朱印状等 5件 5点／平成30年 3月 8日～5月16日

千葉市美術館／「百花繚乱列島—江戸諸国絵師めぐり」／東東洋「河図」等 9件 9点／平成30年 3月 22日～6月 1日

三春町歴史民俗資料館／特別展「愛姫生誕450年記念 陽徳院 愛姫」／伊達政宗宛小宰相消息等 5件 5点／平成30年 3月 23日～5月17日

米沢市上杉博物館／特別展「直江兼統 兼統と新時代を切り開いた人たち」／伊達政宗画像（歴代画真のうち）等 6件 6点／平成30年 4月 5日～5月31日
東北歴史博物館／特別展「東大寺と東北」／エーエス免震台 2点ほか 4件48点／平成30年 4月 16日～7月 3日

国立西洋美術館／「ミケランジェロと理想の身体」／カッタースポット 1件29点／平成30年 6月 5日～10月26日

東京国立博物館／特別展「縄文」／宮城県指定文化財蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶 1件 1点／平成30年 6月 14日～9月13日

横浜市開港資料館／企画展「戊辰の横浜 開港都市の明治元年」／慶応二年丁卯日程記上（寄託：大童家文書）、慶応三丁卯都下勤番記（寄託：入生田家文書）、慶応四戊辰都下公私記（寄託：入生田家文書） 3件 3点／平成30年 7月 5日～10月 8日

群馬県立歴史博物館／企画展「すごいぞ！江戸の科学」／坤輿万国全図屏風 1件 1点／平成30年 7月 6日～9月13日

新潟県立歴史博物館／企画展「戊辰戦争150年」／北亜墨利加人物ペルリ像大判 1枚ほか29件39点／平成30年 7月 9日～8月28日

宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）／企画展「進水式—サン・ファン号が生まれた日—」／小野寺鳳谷筆 開成丸進水図—寒風沢島開成丸下海図 2件 2点／平成30年 7月 11日～9月 6日

北上市立博物館／企画展「慶念坊とその時代」／間引きを戒める図（複製） 1件 1点／平成30年 7月 14日～9月27日

富士山世界遺産センター／企画展「江戸絵画の正統—19世紀狩野派の旗手」狩野常信筆 富士・吉野・竜田図 1件 3点／平成30年 8月 20日～11月30日

福島県立博物館／企画展「戊辰戦争150年」／北亜墨利加人物ペルリ像大判 1枚ほか29件39点／平成30年 8月 28日～10月17日

長野市立博物館／企画展「川中島合戦 芝居になる」／俳優狂言尽の内 廿四孝御殿の場 豊原国周画など 7件 7点／平成30年 9月 11日～11月 8日

佐賀県立名護屋城博物館／特別展「肥前名護屋」／小少将宛伊達政宗書状等 1件 5点／平成30年 9月 18日～11月21日

東北歴史博物館／特別展「伊達綱村」／伊達綱村画像（伊達家歴代画真）ほか19件19点／平成30年 9月 22日～12月27日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。利用の申込は262件683点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ28回「国宝・ユネスコ世界記憶遺産 支倉常長像」はのべ18回の利用があった。



重要文化財 黒漆五枚胴具足
伊達政宗所用



国宝・ユネスコ記憶遺産
支倉常長像

表2 当館収蔵指定文化財一覧

平成31年3月31日現在

国指定文化財(国宝)

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ記憶遺産(平成25年6月19日登録)

国指定文化財(重要文化財)

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旗	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
考古資料	土偶/鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅	昭和60年9月4日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図(東東洋筆)	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類(伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織(伊達重村所用)	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2箇 伊達忠宗作 2箇 伊達綱宗作 6箇 伊達綱村作 7箇 伊達吉村作 36箇 仙台藩主作 7箇 伊達忠宗作 1箇	61箇	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱黻漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付(伝上杉謙信所用)	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盤	1具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1挺	平成26年7月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章(仙台藩歴代藩主所用)	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身 1口 糸巻太刀拵 1腰 黒漆葛蒔絵文箱 1合 青龍付文鎖(文箱内容品) 1点 墨(文箱内容品) 1挺 黒漆白梅蒔絵箱 1合 梨地菊蒔絵箱 1合 黒漆鉄線蒔絵香合 1合 梨地梅笹蒔絵硯箱 1合 筆入(硯箱内容品) 1点 墨(硯箱内容品) 1挺 硯(硯箱内容品) 1面 水滴(硯箱内容品) 1点 梨地煙管箱 1合 煙管羅宇(煙管箱内容品) 2点 梨地菊蒔絵印籠 1具 皮袋 1点 慶長1分金(皮袋内容品) 3枚 携帯用磁石(皮袋内容品) 1点 金製ブローチ(皮袋内容品) 1点 練玉(皮袋緒締) 1点 銀製服飾品 1点 円鏡 1点 毛拔 2点 雲母製菜板 5枚 葵紋金製菜板 1枚 金具 一括 残欠類 一括		昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図(推定正保2~3年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五蔵卦絵図(推定元禄4~5年)	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6~寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(文久2年)	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表3 収蔵資料一覧

平成31年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,245
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大内源太右衛門コレクション	絵画、歴史資料等	90
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀山孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥達関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	256
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾等	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
西川瑞國コレクション	陶磁器等	518
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	466
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,813
絵画	絵画	1,159
考古資料	上器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	16,672

総計 97,839点

(新規収蔵資料176点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)
 点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。
 ◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

3. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 4月1日～継続中

配布場所 情報資料センター

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
H30	115人	23人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名につき、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に対し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。



2. 博物館七夕飾り

平成30年7月3日(火)～8月19日(日)

エントランスホール

柳牛地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳牛和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。

短冊は、事前にプレイミュージアムにて来館者に願いを書いてもらったものを使用した。



3. 仙台っ子歴史探検隊

仙台っ子歴史探検隊「伊達政宗を探検しよう！」

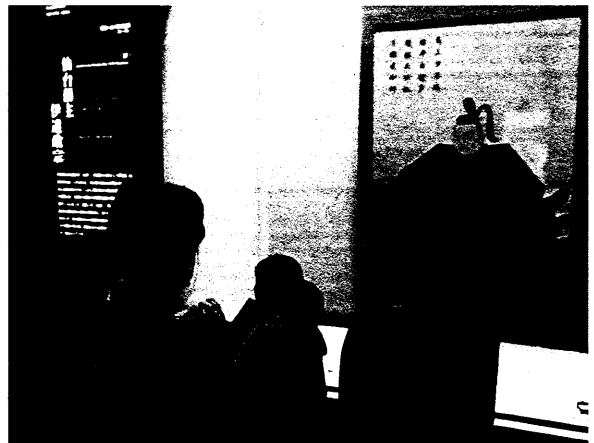
平成30年8月18日(上) 13:30～15:00

講習室・常設展示室 参加 16人

小学4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベント。平成30年度は、展示室でグループごとに「クイズラリー」と「政宗のよろい調べ」を行ったあと、講習室でクイズの答え合わせを行った。

平成26年度から博物館実習の期間中に実施し、教育普及の実践的な実習として、館職員の指導のもと、実習生が「クイズラリー」の運営に関わっている。

子どもたちを2つのグループに分け、博物館実習生を補助員としてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、メンバーと話し合ったり、実習生に相談したりしながら、問題を解決していく姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいに触れながら気が付いたことを話し合うなど、楽しそうに学びを深めていた。



展示室でのクイズラリーの様子



よろいをじっくり調べる児童

4. 親子体験イベント

夏休み工作教室

「螺鈿蒔絵に挑戦しよう」

平成30年7月21日(土) 13:30~15:30

講習室 参加42人(子供22人、大人20人)

小中学生を対象とした夏休みの工作教室をおこなった。今年度は定員100名を超える応募があり、螺鈿蒔絵という伝統的工芸技法に対する関心の高さがうかがえた。定員を10名ほど増やすとともに、参加者の安全や費用面を考慮し、材料はウレタン製の工芸用漆と紙皿、粉末絵の具、青貝シートを使用した。

当日は、前半に螺鈿の体験のあと、乾燥を待つ間に漆や螺鈿蒔絵の説明をし、後半に蒔絵の体験という順序を進めた。どの親子も製作活動に没頭する姿が見られた。事後アンケートでも本物の螺鈿蒔絵をじっくり観たくなったとの声があがっていた。



親子で蒔絵の説明を聞く



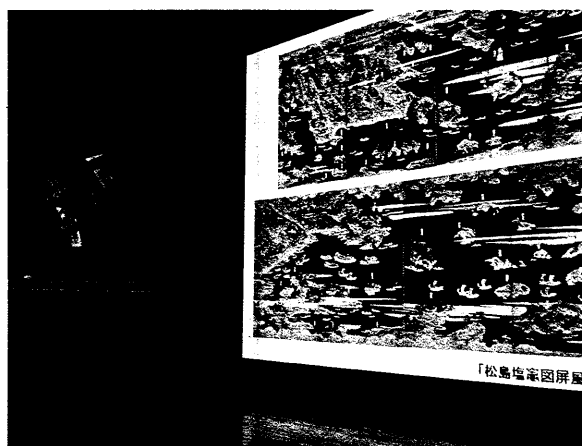
蒔絵に集中する児童

5. しろ・まち講座34~36

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展覧会の見どころについて紹介したりするために講座を実施した。例年、しろ・まち講座は申込不要としていたが、今年度特別展「戊辰戦争150年」と関連したNo.35は事前申込制とした。時間はNo.34とNo.36が13:30~15:00、No.35のみ13:00~16:00でおこなった。会場は博物館ホールで開催した。

表5 平成30年度 しろ・まち講座

No.	月日	講師・演題	参加者
34	6/30 (土)	明石治郎(当館職員) 「伊達綱村と歴史書の編さん」	135人
35	11/17 (土)	水野沙織(当館学芸員) 田邊幹氏(新潟県立歴史博物館主任研究員) 阿部綾子氏(福島県立博物館主任学芸員) 「三館共同企画『戊辰戦争150年』の見どころを語る」	348人
36	2/23 (土)	内山淳一(当館館長) 「なぞ解き『松島塩竈図屏風』」	122人



しろ・まち講座36

6. 「まちなか博物館」講座 5、6

平成28年度より東北工業大学との連携事業として、歴史や美術に関する講座を実施している。平成30年度は企画展「手仕事の日本」と特別展「戊辰戦争150年」にちなみ、それぞれの展覧会に合わせた内容の講座を行った。いずれも時間は13:30～15:00、会場は東北工業大学一番町ロビーで開催した。

表6 平成30年度 まちなか博物館講座

N0.	月日	講師 ・ 演題	参加者
5	5/13 (日)	寺澤慎吾 (当館学芸員) 「日本の手仕事ぐるり一周」	48人
6	11/10 (土)	中武敏彦 (当館職員) 「戊辰戦争150年 — 仙台藩の選択」	172人



まちなか博物館講座 5



まちなか博物館講座 6

7. 生涯学習推進 (館内講師・館外講師派遣)

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合があった。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書 (館内・館外)」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況 (館内・館外) については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表7 平成30年度 館内外講師派遣状況

講師派遣 (館内・館外)	件数	対象人数
館内講師 ○企画展、特別展の解説等	35件	1,265人
館外講師	17件	722人
合計	52件	1,987人

8. その他のイベント

○PTAフェスティバル

日時：平成30年11月13日(日) 10:00～15:00

会場：市役所前市民広場 参加者：213人

生涯学習課より依頼を受け、仙台市PTAフェスティバルに参加し、「伊達なもんきり遊びをしよう」という体験ブースを設けた。当日は天気にも恵まれたこともあり、博物館ブースにも開店から途切れることなく参加者が訪れ、子供から大人まで折り紙での家紋の製作を楽しんでいた。当日はイベントの協力者として、学生サポーター1人(宮城学院女子大学)が体験活動を補助した。



体験ブースに集まる来場者

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（1人）と解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物（常設展示）と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物（イベント）の2種類がある。



1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

「変身する」の利用者行動の中に含まれる「政宗のかぶとをかぶってみよう」は人気のある常設展示となっており、H30年度には年間で4,554人の利用があった。

表8 平成30年度主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器
写し取る	平面 収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用） 立体 複製の縄文土器（型取器を使用）

はかる	長さ 物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー 量 枘（一升・五合・一合）／軽量カップ 重さ ヘルスメーター／台秤
織る	平織機（カランコ） 編む 百足編み 織りの組織見本 織む 花結び
変身する	複製や復元品 政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖 その他 十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭
考える	からくりの復元 二挺天府式和時計
	アイ・トリック ゆがみ絵／トロンブルイユ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類
	ゲーム 投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ
	パズル 組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネツト式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチャパズル日本地図
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

- 入場者数
平成30年度 29,469人
- 配布物

配布物	H30
①よろいのワークシート	612人
②トレーシングペーパー	700人
③折紙	18人
④テキスト	15人

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

- 破損、修理状況

	展示資料管理状況（点）	H30
状況	破損や汚れのための撤去	80
	紛失	14
対応	修理による復帰	64
	同種の展示資料と交換	22
	別種の展示資料に変更	0
	修理不能、または汚損・劣化による廃棄	17

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

- デジタルデータの活用

システム名	H30
来館者用情報提供システム	4,451

来館者用情報提供システムとは、Q&A形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは情報資料センターにも設置されている。

2. イベント

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。以下の内容で例年、年3回実施している。

(1) 館内での変身タイム

第1回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足（重文）の複製

平成30年6月16日（土）13：30～15：00



第2回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

平成30年10月13日（土）13：30～15：00



第3回「桃山時代のお姫様や支倉常長に変身！」

- 打掛・小袖
- 支倉常長の衣装（復元）

平成31年3月2日（土）13：30～15：00



表9 参加数(人) (子供は中学生以下)

	回	募集	応募	参加内訳			
				大人	子供	合計	見学者
H30	1	12	16	4	10	14	23
	2	10	6	2	4	6	8
	3	12	9	5	4	9	15
	計	34	31	11	18	29	46

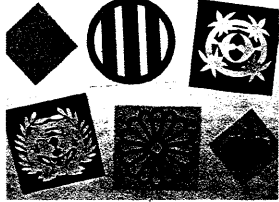
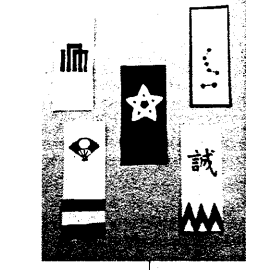

3. 特別イベント

特別イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

- (1) 入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- (2) 表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。
- (3) 内容は以下に分類されるものを取り上げる。
 - 常設展示資料に焦点をあてたもの
 - 年中行事や季節にあわせたもの
 - ◎特別展や企画展にちなんだもの

表10 平成30年度特別イベント一覧

期間	参加人数	内 容
●挑戦しよう！投扇興		
3/31(土) ～4/22(日) 20日間	大人 107人 子供 114人 計 221人	投扇興は、中国から渡来した投壺という遊びを参考に創案されたと伝えられ、枕の上においた的をめがけ、開いた扇を投げ打つ遊びである。今回のイベントではプレイミュージアム流の遊戯方法や得点法で楽しんでもらった。
		
◎ミニ土人形に絵付けしよう		
4/20(金) ～6/3(日) 40日間	大人 382人 子供 369人 計 751人	企画展に出品された埴人形にちなんで、紙粘土でできた小さな土人形に絵付けを楽しんでもらうイベント。カラー筆ペンを使ってそれぞれの干支人形に仕上げてもらおうことで、企画展への関心を高めてもらった。
		
○短冊に願いを		
7/3(火) ～8/19(日) 40日間	594枚	和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わってもらおうイベント。柳生和紙の短冊を用意し、筆ペンで願い事を書き、室内にある笹竹（造花）に結んでもらった。
		
◎プラ板でアンデスキャラ！		
7/27(金) ～9/30(日) 59日間	大人1,864人 子供1,480人 計 3,344人	特別展「古代アンデス文明展」に展示される資料からデザインされたキャラクターを透明なプラスチック板に描いて「しおり」を作るイベント。制作活動を楽しむ体験を通して、展示資料への興味を高めてもらった。数種類の図柄を用意し、自分の描きたいものを選んでもらうようにした。
		

期間	参加人数	内 容
●伊達なもんきり遊びをしよう		
10/6(土) ～10/10(水) 5日間	大人 33人 子供 50人 計 83人	仙台市内小中学校の秋休みに合わせて行ったイベント。常設展の展示品にもよく見られる家紋に関連し、オリジナルの型を使って紋切り遊びを楽しみながら、伊達家の家紋をつくってもらった。
		
◎袖章・小旗をつくろう		
10/26(金) ～12/9(日) 39日間	大人1,265人 子供 702人 計 1,967人	特別展に展示される肩章や袖章、旗をもとに、小さな布とスタンプを使って袖章や小旗をつくるイベント。「戊辰戦争150年」にちなんだ家紋やシンボルマーク、有名な新選組のデザインなどをスタンプにすることで、子供から大人まで制作活動を楽しんでもらった。
		
○とべとべ！するめてんばた		
1/5(土) ～1/27(日) 20日間	大人 35人 子供 28人 計 63人	郷土に伝わる玩具の一つとして「するめてんばた」を取り上げたイベント。仙台地方に伝わる凧の製作を通して米館者に宮城県の伝統文化について理解を深めてもらった。
		

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため、図書などの二次資料で提供している。また、歴史的分野の生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の要素であり、当センターを実践の場と位置付けている。

更に、利用者のニーズにも対応できるよう運営している。ミュージアムアシスタント2人（うち司書1人）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表11参照）。

今年度の取り組み作業として、近年恒常的に抱える書架スペースの狭隘化問題に対応するため、蔵書の整理や配架内容の見直しを行った。

提供資料

1. 図書資料

図書は自由閲覧とし、センター内書架に配している蔵書以外にも要望により閲覧に供しているが、全て貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。

今年度の受入図書は1,707冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は82,865冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は6,091冊である。

また、センター内の企画として、特別展・企画展に関連した特設図書コーナーを設けている。今年度は、新たな試みとして、常設展示との関連コーナーや、テーマを決めておすすめ図書を紹介するミニコーナーも設置した。

さらに、調べ学習コーナーを開設し、夏休みに向けて、小・中学生の利用を呼びかけた。

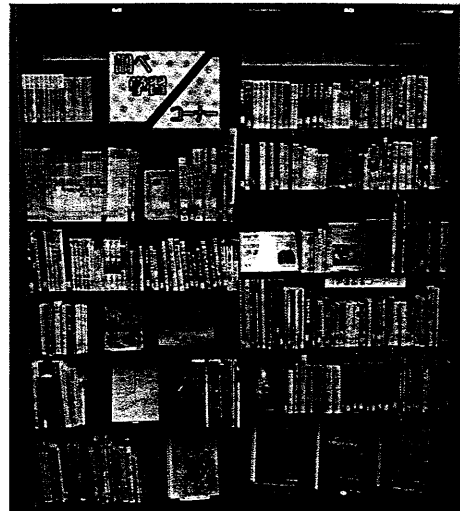
特設図書コーナーは今年度10回設置し、設置冊数は延べ616冊であった。

2. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心に、絵巻物・浮世絵等の写真を添付したカードを整冊し、開架書架に配している。



特設図書コーナー利用の様子



調べ学習コーナー



特別展「戊辰戦争150年」関連特設図書コーナー

3. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。マイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申込制）で複写プリントのサービスを行っている（利用件数は表11参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

4. 映像資料

申込み制の利用とし、館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

総合展示室（5台）に設置された来館者用情報提供システムと同様のものが1台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品・関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている（同プレイミュージアム）。

今年度のアクセス数は、総合展示室43,899件、プレイミュージアム4,451件、当センターでは1,037件であった。



マイクロリーダープリンター利用の様子

表11 平成30年度情報資料センター利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		394	589	368	355	763	578	367	572	371	257	274	404	5,292
相談質問		49	48	49	43	41	36	39	59	36	26	15	18	459
外線問合せ		348	303	340	344	452	429	453	349	200	138	210	265	3,831
映像利用	利用者	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	7
	利用(件)	1	3	0	1	0	0	0	2	1	0	2	0	10
図書複写利用	利用者	48	54	47	30	45	45	37	57	34	33	30	45	505
	複写(枚)	387	1,190	902	909	487	727	331	693	322	251	342	514	7,055
マイクロフィルム利用	利用者	0	0	0	0	1	1	3	3	4	3	1	7	23
	複写(枚)	0	0	0	0	20	21	547	60	78	135	107	251	1,219
画像提供装置利用者数 (情報資料センター調べ)		18	11	7	19	36	25	6	18	11	4	1	6	162
収蔵資料検索アクセス数		91	78	52	109	164	149	37	79	85	37	76	80	1,037

※ 平成30年12月28日～平成31年1月4日休館

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表12から分かるように、平成30年度の学校の博物館の総利用状況は526件・13,294人（前年度比件数17件増・802人増）であった。平成29年度は館内工事による臨時休館（平成29年12月28日から平成30年3月30日まで）があったが、平成30年度は4月～12月期だけを比較しても利用件数、来館人数ともに、前年度より増加している。

市内学校の利用状況は141件・5,246人（前年度比24件増・1,257人増）であった。市内の小学校の来館件数は年間を通して62件であり、市内公立小学校（123校）の約50%にあたる。市内の中学校の来館件数は年間を通して15件であり、市内公立中学校（66校）の約22%にあたる。平成27年12月の仙台市地下鉄東西線の開業により、交通手段として地下鉄を利用する場合も増えてきており、今後も市内の小・中学校の学習利用を更に促進していきたい。

市外学校の来館件数は385件・8,048人（前年度比7件減・455人減）であった。特に4月から6月にかけて隣の小・中学校の利用が多い。

博物館来館時の学習形態を見ると、児童・生徒がグループごとに学習計画を立て、各施設等を見学する学習形態が多い。仙台市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間に位置づけ、グループでの利用ではなく児童・生徒がまとめて入館し、博

物館の学習プログラム（講話、体験等）を利用する学校も少なくない。

表13 来館児童生徒数（人）

	H28	H29	H30
小学校	5,229	4,814	6,148
中学校	5,982	5,722	5,137
高校・大学等	2,623	1,956	2,009
合計者数	13,834	12,492	13,294

平成30年度 学校における博物館利用状況

（上段：平成30年度 下段：平成29年度 単位：件・人）

表14 概況

利用数	内 訳		件 数		人 数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
利用数	市 内		141	5,246		
			117	3,989		
	市 外		385	8,048		
			392	8,503		
	合 計		526	13,294		
			509	12,492		
学習形態数	一 斉		192			
			170			
	グ ル ー プ		336			
			339			
	合 計		528			
			509			
利用目的数	常 設 展		288	5,836		
			250	4,783		
	企 画 展		154	4,341		
			178	5,029		
	特 別 展		90	3,117		
		87	2,680			
	合 計		532	13,294		
			515	12,492		

※ 複数の利用目的があった学校があるため、「利用件数」計と「利用目的件数」計は一致しない。

表12 月別状況（上段：平成30年度 下段：平成29年度 単位：件・人）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計			
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
仙台市内	小	2	114	3	135	6	374	1	55	1	64	5	302	9	572	24	1,284	7	411	1	59	3	124	0	0	62	3,494	
		4	261	4	278	5	268	2	103	0	0	3	76	8	298	12	639	7	357	0	0	0	0	0	45	2,280		
	中	0	0	2	58	1	16	0	0	0	0	2	56	2	20	8	232	0	0	0	0	0	0	0	0	15	382	
		0	0	3	63	0	0	2	126	0	0	0	0	1	7	4	169	1	21	0	0	0	0	0	0	11	386	
	高	2	77	0	0	0	0	1	20	5	80	1	14	0	0	5	77	1	11	1	13	2	83	2	96	20	471	
		0	0	3	61	0	0	8	141	1	27	2	19	1	18	1	101	0	0	0	0	0	0	0	0	16	367	
	大	2	12	3	72	4	92	5	152	0	0	1	11	4	104	10	267	4	58	0	0	0	0	0	0	33	768	
		2	109	5	102	6	85	3	42	0	0	2	36	4	151	6	198	3	71	0	0	0	0	0	0	31	794	
	他	1	30	1	4	2	11	2	14	1	35	0	0	1	12	1	1	0	0	0	0	1	16	1	8	11	131	
		1	21	1	1	0	0	2	20	2	40	3	40	1	1	3	28	1	11	0	0	0	0	0	0	14	162	
小計	7	233	9	269	13	493	9	241	7	179	9	383	16	708	48	1,861	12	480	2	72	6	223	3	104	141	5,246		
	7	391	16	505	11	353	17	432	3	67	10	171	15	475	26	1,155	12	460	0	0	0	0	0	0	117	3,989		
仙台市外	小	4	67	12	136	113	1,256	7	85	3	19	25	334	10	201	8	418	1	32	1	95	0	0	1	11	185	2,654	
		3	38	15	146	102	1,262	6	138	2	18	24	380	7	123	7	412	1	17	0	0	0	0	0	0	167	2,534	
	中	47	1,244	84	2,463	6	215	11	188	3	145	7	209	11	190	5	93	1	8	0	0	0	0	0	0	175	4,755	
		54	1,493	81	2,338	14	775	10	196	1	25	15	253	5	80	12	176	0	0	0	0	0	0	0	0	192	5,336	
	高	1	273	1	11	1	3	2	38	2	12	0	0	1	22	3	38	0	0	0	0	0	0	0	0	11	397	
		1	6	0	0	2	17	0	0	8	208	1	37	5	129	3	41	0	0	0	0	0	0	0	0	20	438	
	大	0	0	0	0	0	0	0	1	71	3	30	2	44	0	0	0	0	0	0	0	1	14	1	7	8	166	
		0	0	1	55	1	21	0	0	0	0	1	16	0	0	1	15	1	8	0	0	0	0	0	0	3	115	
	他	1	2	0	0	0	0	0	0	1	20	2	13	1	34	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	76
		0	0	1	12	0	0	1	8	2	32	2	6	0	0	1	6	1	16	0	0	0	0	0	0	0	8	80
小計	53	1,586	97	2,610	120	1,474	21	382	12	226	36	600	23	447	17	556	2	40	1	95	1	14	2	18	385	8,048		
	58	1,537	98	2,551	119	2,075	17	342	13	283	43	692	17	332	24	650	3	41	0	0	0	0	0	0	392	8,503		
合計	60	1,819	106	2,879	133	1,967	30	623	19	405	45	983	39	1,155	65	2,417	14	520	3	167	7	237	5	122	526	13,294		
	65	1,928	114	3,056	130	2,428	34	774	16	350	53	863	32	807	50	1,785	15	501	0	0	0	0	0	0	509	12,492		

※1 館内工事により平成29年12月28日～平成30年3月30日までの期間は休館。
 ※2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である。（引率者の数は除外してある。）
 ※3 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
 ※4 仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
 ※5 大学と高等専門学校は、平成27年度まで「他」の枠組みで集計していたが、平成28年度より「大学等」の枠を設けて別に集計を行った。
 ※6 他は、小中一貫校、幼稚園、特別支援学校、院内学級、児童相談所、杜のひろば、放課後等デイサービス事業所等とした。

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。教員対象のセミナーであるが、平成26年度から博物館ボランティアの参加も可能としている。

・宮城県民芸協会設立50周年記念企画展

「日本民藝館所蔵品による手仕事の日本－柳宗悦のまなざし－」 参加者：28人

日時：平成30年4月22日(日) 10:00～11:30

・特別展

「古代アンデス文明展」 参加者：88人

日時：平成30年8月2日(木) 10:30～12:00

※ 博物館活用研修会参加者も一緒に聴講

・特別展

「戊辰戦争150年」 参加者：22人

日時：平成30年10月27日(土) 10:00～11:30

(2) 博物館活用研修会

日時：平成30年8月2日(木) 9:45～16:30

参加者：教職員17人

社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、「ようこそ屏風絵の世界へ」の体験、博物館活用のヒントになるような研修の場を提供した。

また、学芸員による特別展「古代アンデス文明展」の解説を行い、博物館見学への意識付けを図った。今年度は夏休みと特別展の開始時期が重なったため、ミュージアムセミナーと合わせて開催した。

(3) 学校・各種教育機関との連携研修

以下のように学校や教育機関と連携し、研修会を開催した。主に博物館指導主事、学芸員が講師となり講座や体験実習を行った。各研修会の事後アンケートからは、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

・市小学校教育研究会社会科部会

(於：仙台市立長命ヶ丘小学校)

日時：平成30年6月13日(水) 14:30～16:55

内容：講話「博物館活用について」

参加者：市内小学校教諭約70人

・市小学校教育研究会社会科部会

(於：仙台市教育センター)

日時：平成30年8月6日(月) 9:30～12:00

内容：講話「博物館の授業での活用について」

参加者：市内小学校教諭約60人

・県小学校社会科研修会

日時：平成30年10月10日(水) 9:50～16:00

内容：講話「博物館資料を活用した授業づくり」

参加者：県内小学校教諭11人

なお、8月に予定されていた小中学校図工・美術科研修は台風のため、社会教育施設連携研修は応募者がいなかったためいずれも中止とした。社会教育施設連携研修については、来年度に日程や研修内容を見直して実施する予定である。

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応した。特にスタディシートを利用しながら、分からないところをボランティアに質問するという利用の仕方が多く見られた。見学の際にボランティアの対応で、疑問を解決することができている。

5. 職場体験

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場体験を5校、16人を受け入れた。いずれも歴史資料の取扱い体験、館内学習の補助、接客対応等、市外の1校は1日、市内の4校は3日間の体験プログラムを通して博物館の仕事について学んだ。他に県内外の小・中学生の来館時に、職業に関する質問等に随時対応した。

6. 博物館教材の貸出

平成30年度の博物館教材の貸出件数は、6件(10点)であった。最も件数の多かった貸出教材は「楽山公行列図巻」(4件)で、他には縄文土器や石包丁の複製等の貸出があった。

7. 館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるように、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

館内講師については、特に小・中学校で、社会科プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。大学からの依頼では、特別展・企画展の展示解説のほか、文化財保護や博物館の概要や活用といった内容の希望が多い。

また図工・美術科の体験プログラムを利用する学校としては小学校が多く、特別支援学校や福祉施設等の利用も増えてきている。「土人形って何だろう」では、絵付けを楽しんだ後に、展示室で埴人形などの表情をじっくり見学する様子が見られた。

館外講師については、件数は少ないが主に小学校で出前授業を行った。図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」では、学年を問わず手軽に体験できることから、好評を得ている。

表15 学習プログラム一覧

	プログラム名	内 容
社 会 科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	政宗のよろいを調べよう	体験用よろいをを使い、よろいの材質や構造について学ぶ
図 工 ・ 美 術 科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんぱたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして埴人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞やミニ屏風の製作をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

表16は、当館で受理された「講師派遣依頼(館内・館外)」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。(学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照)

表16 講師派遣一覧(学校関係)

講師派遣(館内・館外)	件数※	対象人数※
館内講師	83件	3,719人
(内訳)○特別展・企画展の解説	8件	259人
○社会科プログラム	47件	2,663人
○図工・美術科プログラム	20件	644人
○その他の講話・講義	10件	365人
館外講師	6件	658人
(内訳)○小学校(出前授業)	6件	499人
○市内大学	1件	159人
合 計	90件	4,377人

※1校で複数のプログラムを行うことがあるため、館内講師件数の総数、対象人数の総数と、それぞれの内訳の合計は一致しない。

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。平成30年度は17人の実習生を受け入れた。実習日程については2グループに分け、前期、後期それぞれ5日間（合同実習1日、グループ別実習4日）で、歴史・美術に関する講話及び実技を中心に実習した。

合同実習 平成30年8月10日(金) 9:00~16:00

前期実習 平成30年8月15日(水)~18日(土)

後期実習 8月22日(水)~25日(土)

※前期、後期ともに時間は9:00から16:00まで。

9. キャンパスメンバーズ制度

平成25年4月1日から開始したキャンパスメンバーズ制度の加入校は、平成30年度3月現在で18校となった。キャンパスメンバーズ加入校との連携事業としては、今年度で3年目となる館内イベントへの学生サポーターの活用のほか、東北福祉大学と行っている、教員免許の取得を目指す大学生を対象とした博物館活用研修や、昨年度から開始した東北工業大学とのまちなか博物館講座（詳しくは「講座・イベント」の頁を参照）がある。今後も加入校と話し合いながら更に連携を深めていきたい。

・博物館活用研修（大学生対象）

日時：平成30年10月3日(水) 10:30~14:00

対象：東北福祉大学 教育学部教育学科
中等教育専攻1年生 45人

内容：講話「社会科における博物館の活用」
講話「ワークシートの作り方」など

平成30年度 加入校一覧（五十音順）

尚絅学院大学／聖和学園短期大学／仙台高等専門学校／仙台白百合女子大学／仙台青葉学院短期大学／東北医科薬科大学／東北学院大学／東北工業大学／東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部／東北大学／東北福祉大学／東北文化学園専門学校／東北文化学園大学／放送大学 宮城学習センター／宮城学院女子大学／宮城教育大学／宮城大学

生涯学習施設との連携

1. SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

(1) 参加機関

社会福祉法人共生福祉会 福島美術館／仙台市科学館／仙台南の杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／仙台市富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)／仙台市博物館／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク／東北学院大学博物館／東北大学総合学術博物館／東北大学史料館／東北大学植物園／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション／仙台市教育委員会（生涯学習部）

(2) ミュージアムユニバース

～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催日時：平成30年12月14日(金)19:00~20:30
15日(土)10:00~17:00
16日(日)10:00~16:00

参加者：2,389人（3日間合計）

会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、SMMA参加館が一堂に集まり実施したイベント。参加館の職員によるトークやクイズを行う「トークとイベントの広場」、ものづくりや実演などによって味わうことができる「体験の広場」、ミュージアムを楽しむための情報が集まった「展示の広場」、各館のオリジナルグッズを集めた「ミュージアムグッズショップ」を展開した。

「トークとイベントの広場」では、歴ネット（仙台歴史ミュージアムネットワーク）と博物館の共同

企画によるクイズ「知ってる!?仙台の歴史」を実施した。博物館を含む歴ネット各施設の職員が、施設や展示に関するクイズを出題し、仙台の歴史についてクイズを織り交ぜながら紹介した。



クイズ「知ってる!?仙台の歴史」

また、「展示の広場」では、伊達政宗についての基礎知識を紹介するパネル展示を行ったほか、政宗の兜と山形文様陣羽織の着用体験コーナーを設けた。



政宗の兜と山形文様陣羽織の着用体験の様子

(3) SMMA各館の交流

SMMA参加館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成28・29年度に引き続き30年度も博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

① 第1回SMMA研修会

日時：平成30年9月19日(水) 15:00~17:00

会場：東北学院大学 講習室

内容：「ミュージアムのためのSNS活用術」

講師：阿児 雄之氏

(合同会社AMANE客員研究員)

参加者：34名

② 第2回SMMA研修会

日時：平成30年11月27日(火) 14:00~17:00

会場：仙台市博物館 講習室

内容：「博物館職員のためのマーケティング講座
～来館者を倍増させるために」

講師：柳沼 芳裕氏(仙台市産業振興事業団)

ビジネス開発ディレクター/経営コンサル
タント・中小企業診断士)

参加者：31名

③ 第3回SMMA研修会

日時：平成31年2月20日(水) 14:00~16:00

会場：東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 展示室

内容：「文化財の梱包・輸送について」

講師：大場 一永氏(日本通運株式会社)

美術品梱包輸送技能士2級)

鈴木 宏俊氏(日本通運株式会社)

美術品梱包輸送技能士2級)

参加者：43名

このほか、実行委員会、幹事会、運営会議や交流会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

2. 仙台歴史ミュージアムネットワーク

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。平成30年度より史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が加わり9館となった。

(1) 参加施設

- ・地底の森ミュージアム
- ・仙台市博物館
- ・瑞鳳殿
- ・仙台文学館
- ・史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設
- ・仙台市縄文の森広場
- ・仙台城見聞館
- ・仙台市歴史民俗資料館
- ・仙台市戦災復興記念館

(2) 連携事業の実施

① 歴ネットクイズラリー

※SMMAクロスイベントとして実施

平成30年9月1日から平成31年1月31日まで開催した。各館のオリジナルクイズに答え各館を巡り、参加者が回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができる。平成29年度に引き続き福島美術館も参加して10館で実施。4館達成者には歴ネットクリアブックを、9館以上達成者には歴ネット各館オリジナルグッズ詰め合わせと缶バッジをプレゼントした。参加者にとってクイズラリーは、他施設を巡るきっかけとなっている。また、クイズの解答を考える際に展示物を深く観察したり、親子で話し合ったりと、クイズを楽しんでいる様子が見られた。

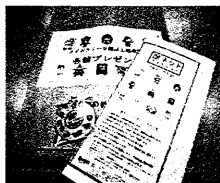
期間：平成30年9月1日

～平成31年1月31日

台紙配布数：9,931枚

4館達成者：204人

全館達成者：51人



スタンプ台紙と
達成者プレゼント

② SMMAミュージアムユニバースへの参加

平成27年度から歴ネットとして参加している。平成30年度は「トークとイベントの広場」と「展示の広場」に参加し好評を得た。特に、クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」は、親子での参加者が多く、賑やかで楽しいものになった。イベントを通じて、ミュージアムへの親しみを持ってもらうことができたと思われる。

③ 仙台の伝統門松復元事業

※SMMAクロスイベントとして実施

かつて仙台やその周辺で飾られていた伝統的な門松を、泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現、歴ネット7館で展示した。伝統門松の展示は市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。昨年度に引き続き、門松に取り付けるしめ縄を担当者が中心となって作成した。

展示期間：平成30年12月18日～平成31年2月17日

※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森
広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／
仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／仙
台市博物館

研修「しめ縄作り」

日時：平成30年12月5日(木) 13:30～16:30

会場：仙台市縄文の森広場 活動室及び工房

参加者：歴ネット職員、SMMA事務局職員



研修「しめ縄作り」

(3) 広報・その他

① 歴ネット会議

平成30年度は5回の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

② 歴ネットシートの作成・配布

参加館が統一規格のシートを用いて、各館ごとに仙台の歴史や文化について紹介した。

○平成30年度シート配布数：約25,599枚

※仙台市博物館分・7種

③ 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本としては以下のような広報活動を行っている。また、最近では学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、平成27年12月から開始した「仙台市博物館ツイッター」の運用も継続して行っており、館ホームページとSNSの両面からインターネット上の広報を実施している。

平成30年は戊辰戦争から150年という節目の年であり、戊辰戦争に関するメディアからの問い合わせ等も増加するなど関心の高さがうかがえたため、特別展「戊辰戦争150年」の広報も積極的に行った。

1. 広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下2種類の印刷物を発行・配布した。PDFファイルによるホームページへの掲載も継続し、自由に閲覧できるようにしている。

- (1) 博物館だより(隔月発行) No.185~190
225×420mm 四つ折り 観音開き
- (2) 展覧会案内 2019年4月~2020年3月版
225×420mm 四つ折り 観音開き



広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

2. 広報資料発送及び記事校正依頼への対応

マスコミ等をはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのチラシ、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。平成30年度においても、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌・フリーペーパー等出版社など）約130社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、30年度は約170件となった。

3. 「国際センター駅」への広告掲出について

平成27年の仙台市地下鉄東西線開業により、JR仙台駅から博物館へのアクセス手段が地下鉄東西線中心となったため、東西線の開業時より当館の最寄駅である「国際センター駅」ホーム内に電照広告を掲出している。

駅の近隣施設である国際センターでは、学会等大規模な催しが頻繁に開催されていること、同じく近隣の青葉山交流広場や東北大学でも東西線の開通により多くの催しが行われているため、それらの利用者へのPR手段として、継続して掲出を行っていく。

また、同駅内「インフォメーションコーナー」においても、コーナー管理者の協力を得て、展覧会チラシ・ポスター設置に加え、デジタルサイネージによる広告掲出を行った。

4. インターネット広報

(1) ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件の情報を閲覧できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

ホームページの情報更新は毎月5回を目安に随時行っており、平成30年度の当館ホームページのトッ

ページのアクセス数は、250,762件であった。

特別展・企画展会期中は例年どおりアクセス数が増加し、展覧会広報におけるインターネット上の情報提供が求められている。

(2) ツイッター

平成27年12月5日から運用を開始した「仙台市博物館公式ツイッター」では、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の特徴である即時性・拡散性を活かし、特別展のイベント募集情報等を発信するほか、歴史や伊達政宗等に関心の高いフォロワーが多いため、展示中の資料紹介や歴史のこぼれ話などもツイートすることで博物館により興味をもってもらうためのPRを行っている。

フォロワー数は、平成30年度末時点で約3,400人となり、平成29年度末から約800人増加した。

今後も利用者の興味関心に訴える情報提供を積極的に行うなど、継続的なフォロワー獲得に努めていく。



博物館ホームページ

刊行物・グッズ等

平成30年度は、下記のとおり3種の刊行物を発行した。（市史活用推進事業で作成された刊行物については、「5. 市史活用推進事業」参照）

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、30年度は、水玉模様陣羽織デザイン風呂敷の追加製作を行った。

1. 刊行物

(1) 「仙台市博物館年報」第45号

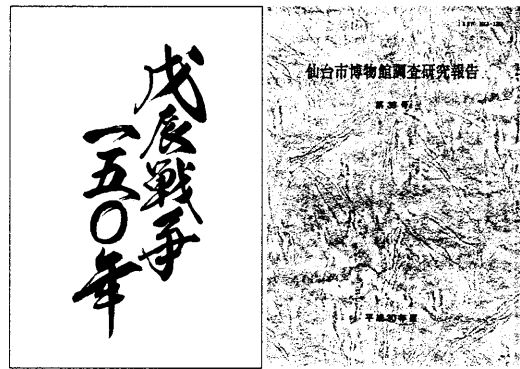
平成30年6月30日発行 A4判 94頁

(2) 「仙台市博物館調査研究報告」第39号

平成31年3月15日発行 B5判 66頁

(3) 特別展図録「戊辰戦争150年」

平成30年7月13日発行 A4判 200頁



特別展図録
「戊辰戦争150年」

調査研究報告書

2. オリジナルグッズ

平成30年度追加製作は以下のとおり。

(1) 水玉模様陣羽織デザイン風呂敷 (2,000円)



水玉模様陣羽織デザイン風呂敷

4. 調査・研究

平成30年度『仙台市博物館調査研究報告』39号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」について

小田嶋 なつみ

光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」は、『厳島縁起』と総称される縁起物語の諸伝本のひとつである。厳島縁起とは、厳島神社の神々の本地を題材とする本地物の一種で、西城国の王女・足引宮と彼女に関わりを持った人々が、様々な苦難、転変を乗り越え日本にたどり着き、厳島にて神として垂迹するという物語である。本資料は山形市の光明寺に伝わるが、厳島縁起諸本研究の中においての記載は極端に少なく、他の諸本との比較、分類等が本格的に行われていないのが現状である。したがって、本稿では、この光明寺本「いつくしま」の資料紹介、翻刻を行い、若干の考察を加えた。

戦国期南奥羽の流通と交通

長澤 伸樹

本稿では、戦国期南奥羽における領主権力の流通・交通統制をめぐる、山形・米沢・黒川(若松)などの都市ないし周辺に開かれた市町と、そこで活動する商人の姿について、「法」による支配の観点から再考する。その上で、当該地域に最大の支配基盤を築いた伊達氏による流通・交通統制のあり方を相対化し、近世的支配の画期を見直した。

戦国期伊達氏家臣についての一考察

黒田 風花

本稿では、戦国期の領主権力における家臣団編成と実態の研究の一環として、伊達輝宗当主期の外交における家臣の役割を考察した。先行研究において伊達氏の外交に関わることが指摘されている当主側近の役割を整理し、領主間外交における意義を指摘した。また、一家・一族と呼ばれる家臣について、在郷衆としての実態に規定される伊達氏の外交および軍事行動における活動の具体的事例を検出した。同時に、関係史料の性格にも検討を加えた。

市内小学生における仙台市博物館の利活用の現状と展望～児童の意識調査と博物館職員への聞き取り調査を通して～

東北大学社会教育主事講習 仙台市Bチーム
大久保 裕隆・高橋 龍馬・永山 達郎
村田 智朗・土井 謙治

仙台市博物館では市民の生涯学習を支援する目的の一つとして、学校における博物館の利活用を促す学習プログラムや教材貸出等を実施している。しかし、学校として活用する機会は少なく、個人としての利活用の実態も明らかになっていない。

本稿では、児童への意識調査と博物館職員・ボランティア「三の丸会」への聞き取り調査を通して、市内の児童が博物館に感じていることや求めていること、博物館が児童のために提案したいこと等、仙台市博物館の利活用の現状を把握し、今後の展望を考察する。

◇平成31年度研究テーマ◇

平成31年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

近世の伊達家と仙台藩の研究	菅原 美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究	寺澤 慎吾
近世・近代の都市仙台の研究	水野 沙織
古代中世東北史および近世前期の伊達家・仙台藩の研究	佐々木 徹
日本中近世絵画史の研究	樋口 智之
中世・近世の絵画および東北の工芸について	

小田嶋なつみ

中世・近世の領主権力の研究	黒田 風花
社会科における博物館の活用について	片寄 角洋
博物館におけるものづくり体験について	

齋藤 大祐

表17 仙台市博物館調査研究報告書一覧

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	1. 仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 2. 仙台北丸の障壁画をめぐって 3. 大槻磐溪書翰集について 4. 伊達政宗の印章・印影について 5. 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No.2	1. 養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 2. 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 3. 伊達家旧蔵の印章について 4. (史料紹介)宮城県の自由民権運動に関する新史料 5. 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No.3	1. 角懸鹿谷の美術 2. 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 3. 大槻俊斎の書状について 4. 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No.4	1. 仙台藩寛永期検地帳について－『伊具郡東根之内小斎村御検地帳』の分析 2. 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 3. 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 4. 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・鈴木治平	昭和60年3月 完売
No.6	仙台北館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 完売
No.7	1. 円山応挙試論 2. 伊達の黒箱文書について 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 4. 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No.8	1. ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 2. 江戸時代における古瓦の認識－宮城領域を中心に－ 3. 「支倉常長追放文書」の年代について 4. 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ 5. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No.9	1. 新博物館への一考察－反省と展望－ 2. 学校教育における博物館利用学習 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 4. 仙台藩関係の婚礼調度について 5. 慈光明院蔵 種子華鬘について 6. 柴田町金谷貝塚出土の權杖木製品 7. 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 8. 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	1. 東北地方における山伏笈 2. 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 3. 白雲の研究－末紹介の貞景帖を中心に－ 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 5. 館蔵考古資料の紹介 I 6. トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 完売
No.11	1. 「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について 2. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 3. 館蔵考古資料の紹介II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 4. 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 900円
No.12	1. 戦国期奥羽の在家をめぐって 2. 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 3. 朱黻漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 5. 画像情報提供装置の導入について 6. 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 7. 仙台北丸ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	1. 東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 2. 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 3. 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.14	1. 観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 2. 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 3. 東京国立博物館所蔵の「小袖図」（伊達家旧蔵）などについて 4. 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 5. 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	1. 『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 2. 『支倉六右衛門遺物』と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 3. 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 4. 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 5. 『松島風上記』所載の「碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 6. 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 7. 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	1. 「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 2. 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 3. 「古川状」について 4. 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 5. 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 900円
No.17	1. 博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 2. 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 3. 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 4. 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 5. 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	1. 円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一面面－ 2. 仙台藩の小人について 3. 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 900円
No.19	1. 伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 2. 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 4. 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓人・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 完売
No.20	1. 新収資料・国分家資料について 2. 伊達家文書の形成過程(一) 3. 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 4. 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 5. 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・ 齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 完売
No.21	1. 百富士画をめぐる－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 2. 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 900円
No.22	1. 仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 2. 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 3. 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について 4. ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 5. 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 900円
No.23	1. 陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 3. 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 4. 仙台市博物館における広報活動について 5. 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 900円
No.24	1. 仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ 2. もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 900円
No.25	1. 絵仏師徳心・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 2. 伊達氏における印判状の成立 3. 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 完売
No.26	1. ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三糊について－黒棚(ベネチア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報效会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 2. 伊達家文書の形成過程(二) 3. 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 4. 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 舩渡崇	平成18年3月 完売

	所 取 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.27	1. 陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 2. 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 3. 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 900円
No.28	1. 支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」 説の検証を兼ねて－ 2. 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 3. 資料紹介 御証文方御本牒手控－仙台藩における資料管理の一側面－	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 完売
No.29	1. 失われたみちのく図巻－谷元日・大野文泉の東北地方写生図をめ ぐって－ 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山 淳一 水野 沙織	平成21年3月 900円
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」－伊達吉村の軍制整備との関係から－ 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木 三男 酒井昌一郎	平成22年3月 900円
No.31	1. 奥の正法寺と偽輪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） 3. 新「スタディシート」の一年－その構成と活用方法を中心に－ 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年3月 900円
No.32 ・ 33 合併号	1. 「御奥方格式」について－美術工芸的アプローチ－ 2. 安政六年武市九郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「草名鞠負戌辰記事」に関する一考察 4. 花嶽神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵下町下別当遺跡の「人面装飾土器」－特に著保内野遺跡出土国 宝「上偶」との比較から－	高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍 千春・西脇対名 夫	平成25年3月 1,200円
No.34	1. 屏風のなかの動物たち－伊藤若沖とその周辺作品をめぐる－ 2. 資料紹介－「伊達の黒箱」文書について（二）－ 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題－大使支倉の名乗りと「震災復興派 遺説」について－	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年3月 900円
No.35	1. 中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について 2. 登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 古歌「咲時ハ」（一幅）につ いて－その成立事情と伝来の経緯－ 3. 史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（上）	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年3月 900円
No.36	1. 伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 2. 「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 3. 戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（下）	明石治郎 泉田邦彦・星川 礼応 三好俊文 松田清	平成28年3月 900円
No.37	1. 支倉常長の将来品「合羽と前裳」再考 2. 狩野古信筆「村子姫霊夢図」について －制作背景の考察と絵師・狩野古信の事績を中心に－ 3. 資料紹介 仙台藩土猪狩家伝来の戦国・江戸初期文書 4. 資料紹介 「小松家記録」 －仙台藩御織物師の家の江戸から昭和の記録－	的場節子 寺澤慎吾 菅野正道 鈴木かおる	平成29年3月 完売
No.38	1. 秋田蘭画再考－実景との関わりを中心に－ 2. 仙台藩の贈答－江戸中・後期を中心に－ 3. 伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について 4. 資料紹介 戦国期伊達氏関連未紹介資料	内山淳一 菅原美咲 明石治郎 菅野正道	平成30年3月 900円
No.39	1. 光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」について 2. 戦国期南奥羽の流通と交通 3. 戦国期伊達氏家臣についての一考察 4. 市内小学生における仙台市博物館の利活用の現状と展望 －児童の意識調査と博物館職員への聞き取り調査を通して－	小田嶋なつみ 長澤伸樹 黒田風花 大久保裕隆・高 橋龍馬・永山達 郎・村田智朗・ 上井謙治	平成31年3月 900円

（価格および内容については平成31年4月1日現在、以下続刊）

5. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻、年表・索引1巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年2月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了し、事務局として実務を担ってきた市史編さん室は廃止となった。

平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

「仙台市史活用推進事業」の4年目となる平成30年度の業務としては、前年度から引き続いて、市民向けの普及書作成や他機関との連携を含めた普及事業の開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。

1. 講座等

(1) 仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年2回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択してきた。平成30年度について、第36回は秋保市民センターとの共催で、第37回はSMMAクロスイベントとして、東北大学史料館との共催で下記の通り実施した。

①第36回仙台市史講座

テーマ：「二口街道と秋保温泉」

講師：菅野正道氏（郷土史家）

高橋陽一氏（東北大学助教）

日時：平成30年6月23日（土）13：30～16：00

会場：秋保市民センター ホール

参加者：174人

②第37回仙台市史講座

テーマ：「近代の風景～地図・古写真・公文書でみる仙台」

講師：蓮沼素子氏

（大仙市総務部総務課アーカイブズ主査）

佐藤正実氏

（NPO法人20世紀アーカイブ仙台 副理）

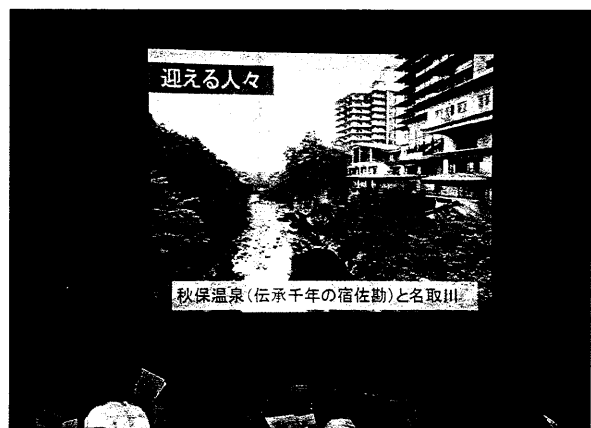
（会長・有限会社イーピー風の時編集部）

代表取締役）

日時：平成30年12月2日（日）13：30～16：00

会場：東北大学片平さくらホール

参加者：148人



市史講座の開催状況（第36回）



市史講座の開催状況（第37回）

(2) くずし字講座

古文書やくずし字の読解に関する初心者向け講座を平成24年度から東北大学上廣歴史資料学研究部門との共催で実施してきた。平成30年度は仙台市博物館を会場に、①江戸時代の庶民教材と、②戦国時代の文書を題材として、各連続2回（全4週）の講座を実施した。

○「はじめての『くずし字』」

日 時：①平成31年1月16日(水)、23日(水)
②平成31年1月30日(水)、2月6日(水)
(連続2回 毎回13:30~15:00)

会 場：仙台市博物館講習室

参加者：①50人、②46人

講 師：①高橋陽一氏(東北大学助教)

②黒田風花(当館学芸員)

(3) 図書館連携講座

平成27年度から仙台市図書館と連携し、各市民図書館を会場に実施している。平成30年度は、「和の心の風景」を共通テーマに設定し、浮世絵や工芸品に描かれた題材を通して日本の美・和の文化を紹介する歴史講話(博物館担当)と、関連図書や映画を紹介するブックトーク(図書館担当)を組み合わせる形で実施した。

①テーマ：

「浮世絵にみる日本の幽霊・妖怪たち」

講 師：寺澤慎吾(当館学芸員)

星博之氏(仙台市民図書館司書)

日 時：平成30年7月12日(木)

会 場：せんだいメディアテーク

参加者：117人

②テーマ：

「工芸と物語—工芸品にこめられたストーリー—」

「古典芸能の魅力—映画における古典の再構成と受容」

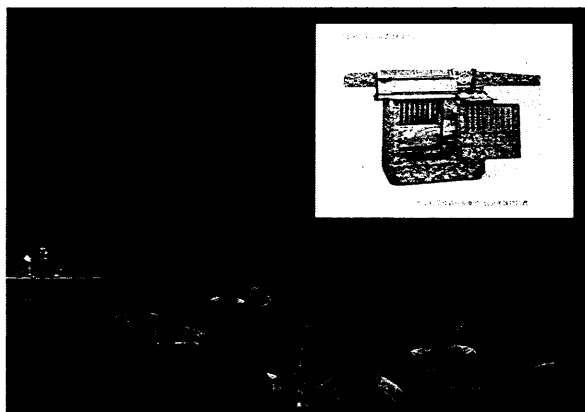
講 師：高橋あけみ(当館主幹兼学芸普及室長)

佐藤文博氏(若林図書館副館長)

日 時：平成30年9月13日(木)

会 場：せんだいメディアテーク

参加者：76人



「工芸と物語」の開催状況

2. 刊行物

前年度に引き続き、『市史せんだい』および『「仙台市史」活用資料集』を発行した。

(1) 『市史せんだい Vol.28』 1,000部発行
平成30年9月30日発行 A5判 112頁
論文

慶長遣欧使節の目的をスペインとの軍事同盟とする説について(平川新)

研究ノート

日本フィギュアスケートの発達と仙台

(菅原友子)

史料紹介

伊達政宗文書・補遺(十二)

資料紹介

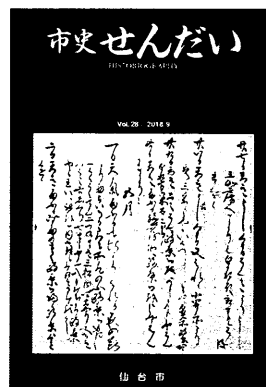
高橋親夫氏寄贈写真—震災後の仙台の風景—

(2) 『「仙台市史」活用資料集vol.6 太白区の歴史探し—東部—』 900部発行

平成30年8月6日発行 A4判 16頁

(3) 『「仙台市史」活用資料集vol.7 青葉区の歴史探し—西部—』 900部発行

平成31年2月28日発行 A4判 16頁



『市史せんだい Vol.28』



『「仙台市史」活用資料集vol.6 太白区の歴史探し—東部—』



『「仙台市史」活用資料集vol.7 青葉区の歴史探し-西部-』

3. 広報事業

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

(1) 仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には『仙台市史』の広報事業の一貫として平成21年から連載記事を掲載してきたが、平成30年度は、伊達政宗以降の藩主の人物像を紹介することを目的として「仙台藩 歴代藩主の横顔」と題して普及室および企画室の職員が執筆を担当した。平成31年1月からは今に残される古写真や絵画から、往時の仙台の姿を紹介する「古写真や絵画で見る仙台歴史散策」を開始した。内容、執筆者は次の通り。

2018年（平成30年）

- 1月号「二代藩主 伊達忠宗」（菅野正道）
- 2月号「三代藩主 伊達綱宗」（菅原美咲）
- 3月号「四代藩主 伊達綱村」（明石治郎）
- 4月号「五代藩主 伊達吉村」（佐々木徹）
- 5月号「六代藩主 伊達宗村」（菅原美咲）
- 6月号「七代藩主 伊達重村」（菅原美咲）
- 7月号「八代藩主 伊達斉村」（佐々木徹）
- 8月号「九代藩主 伊達周宗」（水野沙織）
- 9月号「十代藩主 伊達斉宗」（明石治郎）
- 10月号「十一代藩主 伊達斉義」（佐々木徹）
- 11月号「十二代藩主 伊達斉邦」（黒田風花）
- 12月号「十三代藩主 伊達慶邦」（中武敏彦）

2019年（平成31年）

- 1月号「芭蕉の辻・初売」（佐々木徹）
- 2月号「若林城（古城）の朝鮮梅」（寺澤慎吾）
- 3月号「仙台伊達家の雛調度」（高橋あけみ）

(2) タウン誌『Kappo』での連載

仙台を代表するタウン誌（隔月発行）の一つである『Kappo』に、平成29年度から平成30年発行の2018年7月号まで、「歴史のさんぽ道・人物編」を連載した。各号の内容は以下の通り。

2018年（平成30年）

- 1月号「横綱2代目 谷風梶之助」
- 3月号「仙台藩養賢堂指南統取 玉蟲左太夫」
- 5月号「仙台藩四代藩主 伊達綱村」
- 7月号「留守政景」

4. 調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに平成25年8月に提出された提言書で、事業終了後も市域に関連する歴史資料の調査や収集を継続的に実施することが要望されたことを受けて、仙台市史活用推進事業の中で継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や目録作成などを行っている。また、市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

なお、今年度については仙台市史編さん時に収集された資料の内、組織改編により学芸普及室となって以降（平成27年度～平成30年度）の受贈資料を、(2)でまとめて掲載している。

(1) 主な調査先・資料群

仙台市／満興寺
東京都／東京大学史料編纂所

(2) 学芸普及室受贈資料

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

〔平成27年度〕

受贈なし

〔平成28年度〕

鷲尾栄一郎／根白石村肝入鷲尾家文書／2445件
3275点

〔平成29年度〕

東北電力株式会社宮城支店／小梨石材店旧蔵写真
ほか／2件67点

松林忠男／仙台藩士松林家資料／272件297点

庄司賀紹／森田家家中庄司家文書／70件90点

相澤義雄／仙台市長鹿又武三郎関係文書／152件

170点

太田信／橋本店創業橋本家関係資料／9件131点
根白石愛林公益会資料／6件6点 附属参考資料
17件17点
庄司悦郎／冠川電気株式会社関連資料／128件
239点
〔平成30年度〕
高橋親夫／高橋親夫氏寄贈写真／22件3988点

5. 資料保全・震災アーカイブ活動

平成29年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動(整理・保全等)を行い、整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を行っている。

今年度は「平成30年7月豪雨」災害時に、古文書等水損資料の救援のため、岡山県立美術館等へ文化財救援資材を送付するなどの活動も行った。

また、当館が行ってきた資料レスキュー活動を紹介するパネルの展示は、館内では「市民防災の日」および「みやぎ鎮魂の日」に合わせて行い、仙台市教育センターにおいては震災関連パネルの貸し出しの周知のため、教職員向けに授業での活用を目的とした展示も行っている。

〔活動状況〕

平成30年

- ・ 6月5日(火)～17日(日)
パネル展「仙台平野のおもな歴史地震」
- ・ 8月3日(金)～30日(木)
パネル展「歴史地震パネル展」
(会場：仙台市教育センター)

平成31年

- ・ 1月28日(月)～2月25日(月)
パネル展「歴史地震パネル展」
(会場：仙台市教育センター)
- ・ 3月5日(火)～17日(日)
パネル展「地震と仙台城」

6. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア(三の丸会)」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は平成30年で22年目を迎え、平成30年度の登録者は121人であった。ボランティア活動は活動班(各班10人～11人の12班編成)に分かれ、月に2回程度活動している。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭(三の丸跡)案内をしている。

会の運営や情報交換は月1回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年1回の総会で決定している。

また、ボランティアの任期については平成19年度より5年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、5年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが役員会等を通して了承された。また、平成29年度より5年以上活動をした退会者には登録・更新式において感謝状を贈呈している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に21人の応募があり、抽選の結果13人を採用した。その後以下のボランティア養成講座(2日間・10講座)を受講後、最終的に10人が会員として登録された。他に、5年の任期を終えての再応募者を22人採用し、所属班の変更を行っている。



ボランティア養成講座

- ・ 1 日目：博物館の概要（教育普及・プレイミュージアム）／ボランティア活動について／三の丸会の紹介／歴史部門の展示説明／美術部門の展示説明
- ・ 2 日目：歴史部門展示の説明／美術部門の展示説明

※ 6 月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

2. 解説活動

平成30年度の年間活動日数は309日、ボランティアののべ活動人数は2,621人であった。展示解説件数は15,992件、観覧者32,070人に対応した。小・中学生の見学への対応の他、市民センターや老壮大学など、一般団体向けの解説依頼に多数対応した。

また、三の丸会の発案により平成27年度から設置した二つのコースガイド「伊達政宗コース」が204件、440人、「支倉常長コース」は161件、295人に対応した。仙台城ガイダンス機能を拡充させる目的でスタートした館庭案内は1日1回、4月から11月末日まで行い、実施日数が154日（中止59日）、697人を案内した。四季を通じて楽しめる三の丸館庭は、来館者にとって魅力的なエリアになっており、解説に力を入れている。

また予約による英語解説も受け付けており、海外からの来館者や留学生を始め、要望があった際には三の丸会英語部が中心となって対応した（15件214人）。常設展の展示解説の他、プレイミュージアムで日本の文化に触れてもらうなど、海外から来館者に好評を得ている。



館庭案内

3. 博物館主催による主な研修

(1) ギャラリートーク

① ギャラリートーク（春の展示）

日時：4月18日(水) 9:15～9:45

会場：博物館展示室

講師：高橋あけみ、水野沙織

② ギャラリートーク（夏の展示）

日時：6月13日(水) 9:15～9:45

会場：博物館展示室

講師：佐々木徹、中武敏彦

③ ギャラリートーク（秋の展示）

日時：9月12日(水) 9:15～9:45

会場：博物館展示室

講師：黒田風花、鈴木かおる

④ ギャラリートーク（冬の展示）

日時：12月19日(水) 9:15～9:45

会場：博物館展示室

講師：寺澤慎吾、小田嶋なつみ

⑤ ギャラリートーク（2019・春の展示）

日時：3月13日(水) 9:15～9:45

会場：博物館展示室

講師：佐々木徹、寺澤慎吾



ギャラリートーク

(2) 館内研修（消防訓練実施後）

日時：平成30年6月25日(月) 11:00～12:00

会場：博物館展示室・講習室

講師：菅原美咲、齋藤大祐

内容：展示室の展示解説、学習プログラム体験

参加者：31人

(3) 接遇研修 ※生涯学習課と共催

日 時：平成30年10月11日(木) 13:30~15:30

会 場：博物館講習室

講 師：仙台市文化観光局誘客戦略推進課
インバウンド推進室長 菅原大介氏
ジャスティン ベルガス氏

内 容：講話「仙台市におけるインバウンドの取
組みについて」

講話・実習「外国人来館者に対する接遇
について」

参加者：47人（博物館35人、科学館8人、天文台
2人、地底の森ミュージアム1人、
歴史民俗資料館1人）



接遇研修

4. ボランティアと博物館との懇談会

日 時：平成30年12月20日(水) 15:00~16:00

場 所：博物館講習室

参加者：ボランティア30人、博物館職員10人

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボ
ランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を行っ
た。館側からは平成31年度の主な展示内容について
の説明等を行っている。ボランティアからは展示室
を中心に、日頃の活動を通して気づいたことなどが
出され、博物館職員と意見を交換することができた。



懇談会の様子

5. ボランティア新規会員との懇談会

日 時：平成30年10月20日(土) 10:00~11:15

会 場：博物館講習室

参加者：新規ボランティア7人、三の丸会会長、
博物館職員2人

新たに博物館ボランティアとなった会員と職員と
で、活動の感想や意見の交流をすることで、今後の
活動に役立ててもらおうと、平成28年度より開催す
ることになった。日々の活動で困っていることや、ガ
イドのポイントなどについて、活発に意見交流が行
われた。

6. 博物館ボランティア新規募集説明会

日 時：平成31年3月17日(日) 10:30~11:30

場 所：博物館講習室

内 容：講話「仙台市のボランティア事情」
「ボランティア活動について」
「ボランティア活動の実際」

講 師：仙台市生涯学習支援センター

安倍 豊 氏

門脇美智子氏

ボランティア担当職員

三の丸会22期生

庄子清史氏

参加者：14人

仙台市生涯学習支援センターの安倍氏・門脇氏か
らは仙台市のボランティア事情やボランティアの心
構えについて、三の丸会の庄子氏からは実際の活動
について体験談を交えた話があり、新たに博物館で
のボランティア活動を始めたい参加者にとって、有
意義なものになった。



博物館ボランティア新規募集説明会

7. 部会活動

ボランティアは活動班の他に、5つの部会のいずれかに属し活動している。

表18 三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド実例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

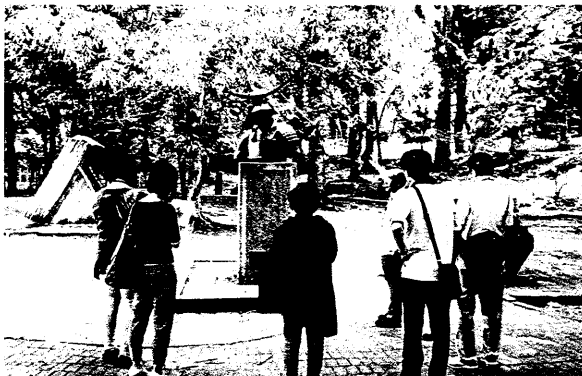
<三の丸会部会主催による主な研修>

(1) 新規会員向け研修

①新人オリエンテーション

日時：平成30年6月9日(土) 13:30~15:30

内容：模擬ガイド(政宗コース、支倉コース、館庭案内)



新規会員向けオリエンテーション

②新人向け館外研修(全3回)

第1回：6月23日(土) 仙台城

第2回：7月12日(水) 瑞鳳殿

第3回：7月29日(日) 大崎八幡宮

(2) 館外研修(ボランティア三の丸会研修旅行)

日時：平成30年10月21日(日) 8:30~17:30

テーマ：- 仙台藩の隠れキリシタン遺跡の探訪
(一関・登米) -

参加者：ボランティア36人、館職員1人

講師：大籠キリシタン資料館 沼倉孝恵氏

観林寺 住職 高橋哲行氏

郷土史家 畠山喜一氏、伊藤義夫氏、
菅原行奈氏

主な訪問先：観林寺、幽玄洞、大籠キリシタン資料館



三の丸会研修旅行

(3) 研修部主催・教養講座

日時：平成31年3月29日(金) 10:00~11:00

会場：博物館講習室

講師：佐々木徹

内容：講話「鎌倉・南北朝時代の奥州伊達氏」

参加者：55人

7. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費 1口 5,000円）・普通会員（年会費 3,000円）・学生会員（年会費 2,000円）人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員で構成される役員会において決定されており、本年度の役員会は12回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ積極的に活動を行った。各事業には友の会サポーターにも協力をいただいた。

会の事業実績は、右記のとおりである。広報セミナー3回、日帰り研修会2回、古文書講読会1回に加え、平成31年3月31日付で退職する内山館長の講演会を実施し、いずれも多く会員の参加を得ることができた。

表19 平成30年度会員内訳

	性別	年代	人数	
賛助会員			21	21
普通 会 員	男 性	10代	0	282
		20代	2	
		30代	3	
		40代	17	
		50代	34	
		60代	84	
		70代	91	
		80代	29	
		90代	2	
	不明	20	530	
	女 性	10代		0
		20代		0
		30代		14
		40代		25
		50代		36
		60代		75
		70代		54
80代		17		
90代	0	248		
不明	27			
学生会員			6	6
計				557

平成30年度友の会事業実績

1. 総会

4月23日(月) 博物館ホール

参加者92人

2. 事業

(1) 会報「仙台市博物館友の会だより」発行
183号～186号 計4号

(2) 行事

・4月23日(月) 企画展広報セミナー
「手仕事の日本—柳宗悦のまなざし—」

講師 寺澤慎吾(当館学芸員)

参加者93人

・5月23日(水) 日帰り研修会 会津方面

同行 寺澤慎吾(当館学芸員)

鈴木かおる(当館学芸員)

参加者40人

・7月30日(月) 特別展広報セミナー

「古代アンデス文明展」

講師 佐々木徹(当館学芸員)

参加者135人

・10月29日(月) 特別展広報セミナー

「戊辰戦争150年」

講師 水野沙織(当館学芸員)

参加者155人

・10月31日(水) 日帰り研修会 角田・亘理方面
同行 小田嶋なつみ

(当館学芸員)

参加者41人

・2月16日(土) 古文書講読会

「仙台藩主伊達慶邦宛て書状を
読む」

講師 水野沙織(当館学芸員)

参加者138人

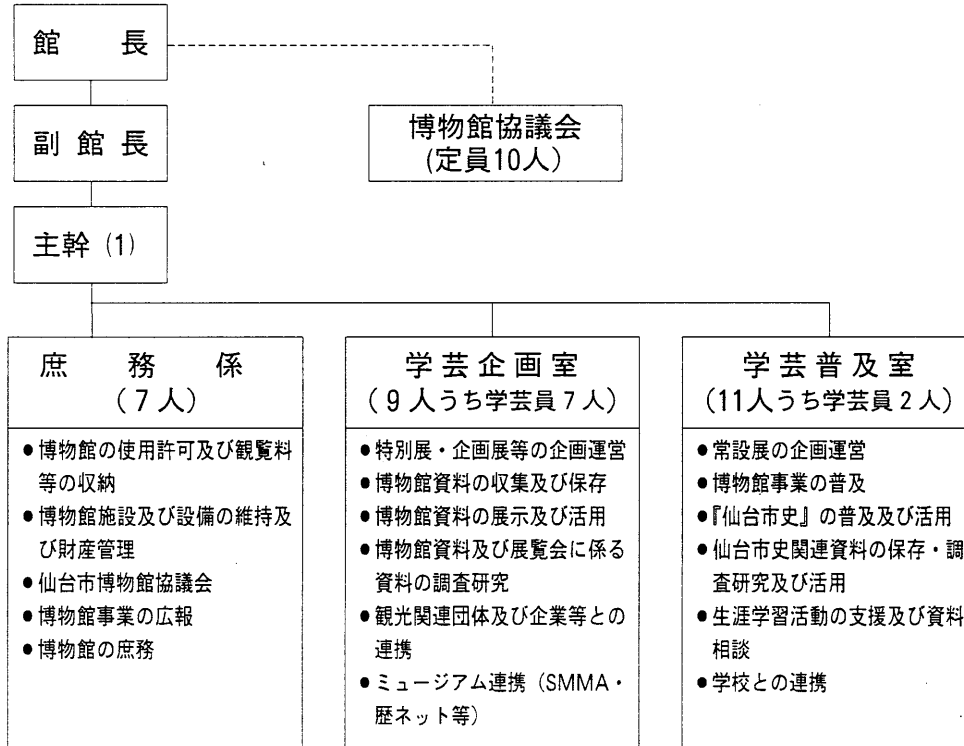
・3月16日(土) 館長講演会

講師 内山淳一(当館館長)

参加者75人

8. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成30年4月1日現在）



予算概要

表20 平成30年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	51,546 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	100,355 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	9,052 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,643 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	16,033 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	178,629
2 資料購入費	2,400	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	37,091	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費	9,154	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費	3,079	冷温水循環ポンプ改修工事の実施設計業務委託及び変電設備更新工事の実施設計業務委託に要する経費
合計	230,353	

職 員 (平成30年 4 月 1 日現在)

館 副 主 長 幹 内 高 山 橋 淳 一 三 也 あ け み

室 ・ 係	職 名	氏 名
庶 務 係	係 長	鈴 木 山 美
	主 任	石 井 光 信
	主 任	南 部 英 湖
	主 事	板 橋 裕 太
	非常勤嘱託職員	鈴 木 山 香
	非常勤嘱託職員	勝 亦 涼 子
	臨 時 職 員	後 藤 直 子
学 芸 企 画 室	室 長	樋 口 智 之
	主 任	佐 々 木 徹
	主 任	水 野 沙 織
	主 事	寺 澤 慎 吾
	主 事	小 田 嶋 な つ み
	非常勤嘱託職員	明 石 治 郎
	非常勤嘱託職員	鈴 木 か お る
	非常勤嘱託職員	中 武 敏 彦
学 芸 普 及 室	室 長	(高橋主幹事務取扱)
	指 導 主 事	片 寄 角 洋
	指 導 主 事	齋 藤 大 祐
	主 事	菅 原 美 咲
	主 事	黒 田 風 花
	非常勤嘱託職員	村 岡 淳 子
	非常勤嘱託職員	氏 家 文 枝
	非常勤嘱託職員	二 上 玲 子
	非常勤嘱託職員	倉 橋 真 紀
	非常勤嘱託職員	長 澤 伸 樹
	非常勤嘱託職員	阿 部 さ や か
	非常勤嘱託職員	成 澤 大 空

仙台市博物館協議会

平成30年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

- 尾崎 彰宏 東北大学大学院教授
- 小野寺 健 仙台市議会議員
- 菊池 勇夫 宮城学院女子大学名誉教授
- 今野 隆 仙台市立長町中学校長
- ◎佐川 正敏 東北学院大学大学院教授
- 佐藤 憲子 仙台市社会学級研究会元会長
- 伊達 泰宗 伊達家伯記念會取締役会長
- 長岡 龍作 東北大学大学院教授
- 濱田 淑子 東北福祉大学
片沢銈介美術工芸館元参与
- 森 美智子 東北学院大学教授

平成30年度 協議内容

○第1回 平成30年5月22日(火)

1 報告事項

- (1) 平成30年4月の観覧者数について
- (2) 企画展「日本民藝館所蔵品による 手仕事の日本—柳宗悦のまなざし—」中間報告について
- (3) 市史活用推進事業について
- (4) 教育普及事業について
- (5) 各種機関との連携事業について

2 協議事項

- (1) 特別展「戊辰戦争150年」について

○第2回 平成30年7月31日(火)

1 報告事項

- (1) 平成30年5～6月の観覧者数について
- (2) 企画展「日本民藝館所蔵品による 手仕事の日本—柳宗悦のまなざし—」の結果報告について
- (3) 特別展「古代アンデス文明展」の中間報告について
- (4) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (5) 教育普及事業について

○第3回 平成30年10月30日(火)

1 報告事項

- (1) 平成30年7～9月の観覧者数について
- (2) 特別展「古代アンデス文明展」の結果報告について
- (3) 特別展「戊辰戦争150年」の中間報告について
- (4) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (5) 教育普及事業について

2 協議事項

- (1) 特別展「いつだって猫展」(仮称)の開催について

○第4回 平成31年2月5日(火)

1 報告事項

- (1) 平成30年10～12月の観覧者数について
- (2) 特別展「戊辰戦争150年」の結果報告について
- (3) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (4) 教育普及事業について
- (5) 新年度の展覧会予定について

2 その他

- (1) 新年度の博物館協議会開催日程について

9. 利用状況

月別観覧者数

表21 月別観覧者数

(人)

	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	4,192	59	985	5,236	54	273	469	796	2,021	8,053
5	7,811	89	1,878	9,778	93	0	838	931	3,347	14,056
6	4,280	20	1,306	5,606	12	0	163	175	2,046	7,827
7	5,962	168	502	6,632	74	0	78	152	1,777	8,561
8	23,784	704	2,200	26,688	106	0	3	109	3,962	30,759
9	25,102	411	684	26,197	194	1	259	454	3,426	30,077
10	7,141	85	390	7,616	280	0	95	375	2,174	10,165
11	16,002	142	124	16,268	326	9	9	344	4,515	21,127
12	7,635	100	154	7,889	102	0	32	134	1,712	9,735
1	1,910	30	78	2,018	0	0	0	0	702	2,720
2	2,423	42	87	2,552	0	0	0	0	1,565	4,117
3	4,525	124	335	4,984	0	0	0	0	1,396	6,380
計	110,767	1,974	8,723	121,464	1,241	283	1,946	3,470	28,643	153,577

展示開館日数 309日

施設利用状況

表22 ギャラリー利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
宮城県民芸協会	5/3～5/20	16	展示及びワークショップ
博物館		293	特別展、資料整理等
計		309	

表23 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
博物館		309	講演会、ビデオガイダンス等
計		309	

展示開館日数：308日

講師等利用状況

表24 講師利用件数表

内訳 年度	件数(件)					人数(人)				
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
平成30年度	83	35	7	17	142	3,719	1,265	658	722	6,364

表25 レファレンス対応等表(件)

内訳 年度	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対応	資料閲覧 対応等	写真貸出・ 利用	計
平成30年度	190	264	47	262	763

表26【参考】 館外実施分含む博物館利用状況（人）

	人数
観覧者数	153,577
学校・各種教育機関との連携研修（館外実施分）	141
情報資料センター利用者数(電話相談等除く)	5,292
館外講師派遣（対象人数）	1,380
仙台市史講座（参加者数）	322
図書館連携講座（参加者数）	193
計	160,905

視察対応状況

表27 平成30年度 視察対応状況

月 日	視 察 者	人 数
6 / 23	宇和島市等	3
7 / 6	ベラルーシ日本友好派遣団	10
8 / 9	白老町姉妹都市協会 仙台市の歴史にふれる旅（小学4～6年生）	14
8 / 24	東北6県県庁所在都市財政担当者会議	12
10 / 24	渡島西部四町議会議員連絡協議会	18
10 / 26	全国都市国民年金協議会	30
10 / 29	国立歴史民俗博物館友の会	21
11 / 8	南会津町文化財保護審議会	9
12 / 21	ベラルーシ共和国大使ほか	8
3 / 1	弘前市立博物館ほか	3

10. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第

一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき
（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

- 一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき
- 二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

- 一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき
- 二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。

3 協議会の委員の定数は、10人とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
(経過措置の原則)
- 2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平24、3・改正)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平28、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年10月1日から施行する。
(使用料に関する経過措置)
- 2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則 (平31、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)
- 2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。
- 3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表第一 (第三条関係)

(平28、3・改正)

区 分		金額 (1人につき)
常 設	個人利用	一 般 460円
		高 校 生 230円
		小学生・中学生 110円
展	団体利用	一 般 360円
		高 校 生 180円
		小学生・中学生 90円
特 別 展		1,700円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

（平3、12・平9、3・平28、3・平31、
3・改正）

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,500円	7,200円
ギャラリー	3,900円	4,800円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 六 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

※上記の条例は、令和元年10月1日施行の改正後のものであり、別表第二（第四条、第五条関係）について、改正前の令和元年9月30日までは、下表のとおりとなっている。

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,400円	7,100円
ギャラリー	3,900円	4,800円

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日
（平17、3・平27、3・改正）

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者
- 二 でい酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者(観覧券)

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。(使用許可の手続)

第七条 条例第四条第一項の許可(以下「使用許可」という。)を受けようとする者は、使用しようとする日(以下「使用日」という。)の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第七条の三 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規

定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
- 二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料(以下「従前の使用料」という。)の額の五割に相当する額(その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額)。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零
- 三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

(使用者の遵守事項)

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

(観覧料等の返還)

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の

返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額

二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（付帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額と同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。

ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平27、3・改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表第一（第十一条関係）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホ ー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市博物館資料取扱要綱

（平成29年1月12日教育長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、仙台市博物館（以下「博物館」という。）における、美術工芸品や歴史資料等の文化財（以下「文化財」という。）の購入、寄贈、寄託、貸出および借用等に関する取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱における博物館資料とは、博物館が購入、寄贈等により所蔵している文化財を指す。

2 寄託資料とは、所蔵者からの寄託の申し出を受け、博物館が展示活用等のため受託した文化財を指す。

3 借用資料とは、博物館における展示や調査研究等のため、所蔵者から一時的に借用する文化財を指す。

（博物館資料等の収集方針）

第3条 博物館資料の購入、寄贈は博物館資料の収集方針（別紙1）に沿って行うものとする。また寄託についても博物館資料の収集方針に準じて行うものとする。

（購入）

第4条 仙台市博物館長（以下「館長」という。）は資料の購入にあたり、1件につき100万円以上に相当する場合、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の審議を経るものとする。

2 1件につき100万円以上に相当しない場合でも、館長が必要と認める場合は、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の意見を聴取することができる。

3 館長は、博物館資料を購入したときは、仙台市博物館資料購入台帳および仙台市が定める備品台帳に登載するものとする。

（寄贈）

第5条 館長は、文化財を寄贈しようとする者（以下「寄贈者」という。）から、資料寄贈申込書（様式1）の提出を受け、審査するものとする。

2 館長は、文化財の寄贈を受納したときは、資料寄贈受納書（様式2）を発行し、これを仙台市博物館資料寄贈台帳に登載するものとする。

3 館長は、文化財の寄贈者に対し、感謝状等によ

り感謝の意を表することができる。

(寄託)

第6条 館長は、所蔵者から文化財の寄託の申し出があった場合は、これを受託することができる。

- 2 館長は、文化財を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）から、資料寄託申込書（様式3）の提出を受け、審査のうえ可否を決する。
- 3 館長は、文化財を寄託者から受領したときは、寄託者に資料受託書（様式4）を発行するとともに、仙台市博物館寄託台帳に登載するものとする。
- 4 寄託資料の受託期間は原則として1年度以内とし、寄託者から特に申し出がない限り、必要に応じて更新できるものとする。
- 5 寄託の更新手続きは年度ごとに行ない、原則として前年度末の3月末日までに寄託者に更新通知を行うものとする。
- 6 寄託資料の受け入れ時および返還時の輸送または修理については、寄託者の負担とする。ただし、館長が展示および保管のため緊急に輸送または修理する必要があると認めるときは、寄託者と協議のうえ、博物館の負担で行うことができる。
- 7 館長は、寄託資料の保管について博物館の所蔵資料と同等に扱い、その責を負う。ただし、災害その他不可抗力によって汚損、破損および亡失等があった場合はこの限りではない。

(寄託の変更等)

第7条 館長は、寄託資料の全部を返還するときは、資料受託書と引き換えに文化財を引き渡し、その際、寄託者は受領書（様式5）を館長へ提出するものとする。

- 2 館長は、寄託資料の一部を返還するときは、寄託者から寄託一部解除願い書（様式6）の提出を受け、新たな資料受託書を発行するものとする。
- 3 館長は、寄託者が相続または譲渡等により変更となり、かつ引き続き寄託を希望する場合は、新寄託者から寄託者変更届（様式7）の提出を受けるものとする。また寄託者の住所が変更となった場合も寄託者変更届の提出を受けるものとする。
- 4 上記1項から3項までの届出を受けた場合は、仙台市博物館寄託台帳を更新し管理するものとする。
- 5 寄託資料の特別利用および展覧会等への一時貸出については、それを行おうとする者が寄託者の承諾を得たうえで、必要な手続きを行わなければ

ならない。

(借用)

第8条 館長は、博物館における展示、調査研究等のため、所蔵者から一時的に文化財を借用する場合、資料借用書（様式8）を発行し、資料借用書の控えを保管する。

- 2 借用資料は、借用目的が達せられた場合、すみやかに資料借用書と引き換えに所蔵者に返納する。
- 3 借用期間は1年以内とし、借用期間を延長する場合は、あらためて資料借用書を発行するものとする。
- 4 所蔵者が資料借用書を紛失した場合は、借用資料の返納の際、所蔵者から受領書の提出を受けるものとする。

(博物館資料の貸出)

第9条 館長は、博物館資料の借用依頼があった場合は、審査のうえ貸し出すことができる。

- 2 館長は、博物館資料の貸出を承諾したときは、出品承諾書（様式9または資料の貸出に当たって承諾を受けた者（以下「借用者」という。）の定めるもの）を発行し、仙台市博物館資料貸出台帳に登載するものとする。
- 3 貸出資料の件数は、貸出依頼のあった展覧会等1件につき20件以内とし、貸出期間は60日以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、この限りではない。

4 館長は、資料の貸出を行うときは、借用者から借用書を受け取るものとする。

5 館長は、貸し出した資料の返還を受けるときは、資料の汚損、破損等の有無を確認し、借用書を借用者に返還するものとする。

(博物館資料の特別利用)

第10条 館長は、博物館内において博物館資料の閲覧や撮影を行おうとする者から、仙台市博物館資料特別閲覧・撮影申込書兼承認書（様式10）の提出を受け、これを承認する場合は承認書として発行するものとする。

(写真等の利用)

第11条 館長は、博物館資料の写真等（フィルム、電子データ、映像を含む）の貸出および掲載等を求める者から、仙台市博物館写真利用・減免申込書（様式11）の提出を受け、これを承認する場合は仙台市博物館写真利用・減免承認書（様式12）を発行するものとする。

2 写真の利用については別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、資料の取り扱いについて必要な事項は館長が別に定める。

附則

この要綱は、平成29年1月12日から施行する。

※仙台市博物館資料取扱要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ 制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置目的)

第2条 仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。
ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

- 2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。
- 3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

- 2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

- 2 博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。
- 3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年4月1日改正)

この改正は、平成31年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

- 1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。
- 2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

※ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行
38年 7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年 3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月～47年 3月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年 3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了
22年 4月	リニューアルオープン
23年 3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
24年 7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年 6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ記憶遺産に認定

仙台市博物館年報

第46号 平成30年度

編集・発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印刷 新生印刷株式会社
仙台市若林区伊在二丁目4番地の2
Tel.022(762)6244

令和元年6月30日発行

©Sendai City Museum 2018

再生紙を使用しています